

平成 29 年度

佐賀県国際化の現況

佐賀県国際課

目 次

国際化の現況

1. 現 況

(1) 海外渡航者の状況

ア 日本人出国者数の推移	1
イ 外国人入国者数の推移	1
ウ 年次別旅券発給件数	1
エ 佐賀県の年代別発給件数	2

(2) 在留外国人数の状況

ア 年次別在留外国人数の推移	3
イ 在留外国人数(国籍・地域別)	4
ウ 在留外国人数(在留資格別)	5

(3) 外国人留学生の受入状況

ア 外国人留学生数の推移	6
イ 県内外国人留学生の受入状況(学校別)	6

(4) 経済交流の状況

ア 佐賀県貿易額の推移

(ア) 輸出入額	7
(イ) 品目別輸出額	8
(ウ) 地域別輸出額	8
(エ) 品目別輸入額	9
(オ) 地域別輸入額	9

佐賀県の国際展開

1. 佐賀県国際ビジョン概要説明資料

11

2. 国際化推進事業概要

(1) 佐賀県の事業	13
(2) 公益財団法人佐賀県国際交流協会の事業	20
(3) 市町の事業	22
(4) 県関連の県民海外派遣事業	31
(5) 外国語によるパンフレット等の作成状況	33

3. 国際交流の推進

(1) 姉妹・友好提携交流

ア 姉妹友好提携について	40
--------------	----

イ	全国の状況	41
（ア）	全国自治体別友好姉妹提携数	41
（イ）	全国相手国別友好姉妹提携数	42
ウ	佐賀県の状況	43
（ア）	相手国別友好姉妹提携一覧	43
（イ）	県の状況	44
（ウ）	市町の状況	44
（エ）	その他友好団体	48
エ	教育機関等の姉妹友好等提携交流	49
（ア）	大学・短期大学	49
（イ）	高等学校	53
（ウ）	中学校	54
（エ）	小学校	55
（オ）	幼稚園	55
（カ）	その他の交流状況	56
（２）	世界の諸地域との交流	
ア	市町別移住者数	57
イ	在外県人会	58
4.	国際化推進のための環境づくり	
（１）	人材育成	
ア	語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）	59
（ア）	年度別招致状況	59
（イ）	外国青年招致事業による招致青年の配置状況	60
イ	外国語教育	61
（ア）	県立高校における留学生受入校及び受入人数	61
（イ）	県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況	61
（ウ）	県立高校における英語以外の外国語の取組状況	62
（エ）	県立高校における海外修学旅行の実施状況	62
（オ）	海外との交流状況（姉妹友好等提携交流を除く）	63
5.	国際協力	
（１）	国際協力の推進	
ア	佐賀県海外技術研修員受入状況	67
イ	独立行政法人国際協力機構（JICA）研修員受入状況	68
ウ	独立行政法人国際協力機構海外技術専門家派遣状況	70
エ	青年海外協力隊等派遣状況	71

(ア) 年度別派遣者数	71
(イ) 国別・地域別派遣者数	71
(ウ) 青年海外協力隊員派遣状況	72
オ シニア海外ボランティア派遣状況	72
カ 日系社会青年ボランティア派遣状況	72
キ 日系社会シニア・ボランティア派遣状況	72
ク 短期ボランティア派遣状況	72
ケ アセアン青年・青年研修等受入状況	73

国際交流関係諸機関

1. 市町国際交流担当課(室)	74
2. 佐賀県庁の機関	74
3. その他関係機関	75

国際化の現況

1. 現況

(1) 海外渡航者の状況

佐賀県の日本人出国者数は、平成12年の76,297人をピークに減少傾向となっている。平成29年は58,515人で前年に比べ2,898人（5.2%）増加と、平成28年から2年連続の増加となったが、ピーク時の平成12年と比べると17,782人（23.3%）少ない。

全国でみると日本人出国者数は、平成24年に18,490,657人と過去最高となった。その後3年間は減少したものの、平成29年は17,889,292人で、前年に比べ772,872人（4.5%）増加となり、2年連続の増加となった。

一方外国人入国者数は、平成29年は27,428,782人で、前年に比べ4,209,870人（18.1%）増加し、過去最高となっている。

旅券の発給件数は、佐賀県では平成24年までは2万件前後で推移していたが、平成25年以降は不安定な国際情勢や円安等の影響から減少した。平成29年の発給件数は17,766件と前年に比べ1,186件（7.1%）増加し、平成28年から2年連続の増加となった。

ア 日本人出国者数の推移

年次	佐賀県		全国	
	人数(人)	前年比%	人数(人)	前年比%
2	41,971	108.7	10,997,431	113.8
3	41,301	98.4	10,633,777	96.7
4	47,883	115.9	11,790,699	110.9
5	50,130	104.7	11,933,620	101.2
6	57,557	114.8	13,578,934	113.8
7	65,835	114.4	15,298,125	112.7
8	67,777	102.9	16,694,769	109.1
9	70,653	104.2	16,802,750	100.6
10	66,561	94.2	15,806,218	94.1
11	71,456	107.4	16,357,572	103.5
12	76,297	106.8	17,818,590	108.9
13	66,287	86.9	16,215,657	91.0
14	69,029	104.1	16,522,804	101.9
15	48,337	70.0	13,296,330	80.5
16	65,888	136.3	16,831,112	126.6
17	63,286	96.1	17,403,565	103.4
18	60,941	96.3	17,534,565	100.8
19	59,688	97.9	17,294,935	98.6
20	55,213	92.5	15,987,250	92.4
21	56,494	102.3	15,445,684	96.6
22	58,342	103.3	16,637,224	107.7
23	60,369	103.5	16,994,200	102.1
24	69,039	114.4	18,490,657	108.8
25	59,875	86.7	17,472,748	94.5
26	57,006	95.2	16,903,388	96.7
27	50,207	88.1	16,213,789	95.9
28	55,617	110.8	17,116,420	105.6
29	58,515	105.2	17,889,292	104.5

イ 外国人入国者数の推移

年次	人数(人)	前年比%
2	3,504,470	114.4
3	3,855,952	110.0
4	3,926,347	101.8
5	3,747,157	95.4
6	3,831,367	102.2
7	3,732,450	97.4
8	4,244,529	113.7
9	4,669,514	110.0
10	4,556,845	97.6
11	4,901,317	107.6
12	5,272,095	107.6
13	5,286,310	100.3
14	5,771,975	109.2
15	5,727,240	99.2
16	6,756,830	118.0
17	7,450,103	110.3
18	8,107,963	108.8
19	9,152,186	112.9
20	9,146,108	99.9
21	7,581,330	82.9
22	9,443,696	124.6
23	7,135,407	75.6
24	9,172,146	128.5
25	11,255,221	122.7
26	14,150,185	125.7
27	19,688,247	139.1
28	23,218,912	117.9
29	27,428,782	118.1

法務省入国管理局

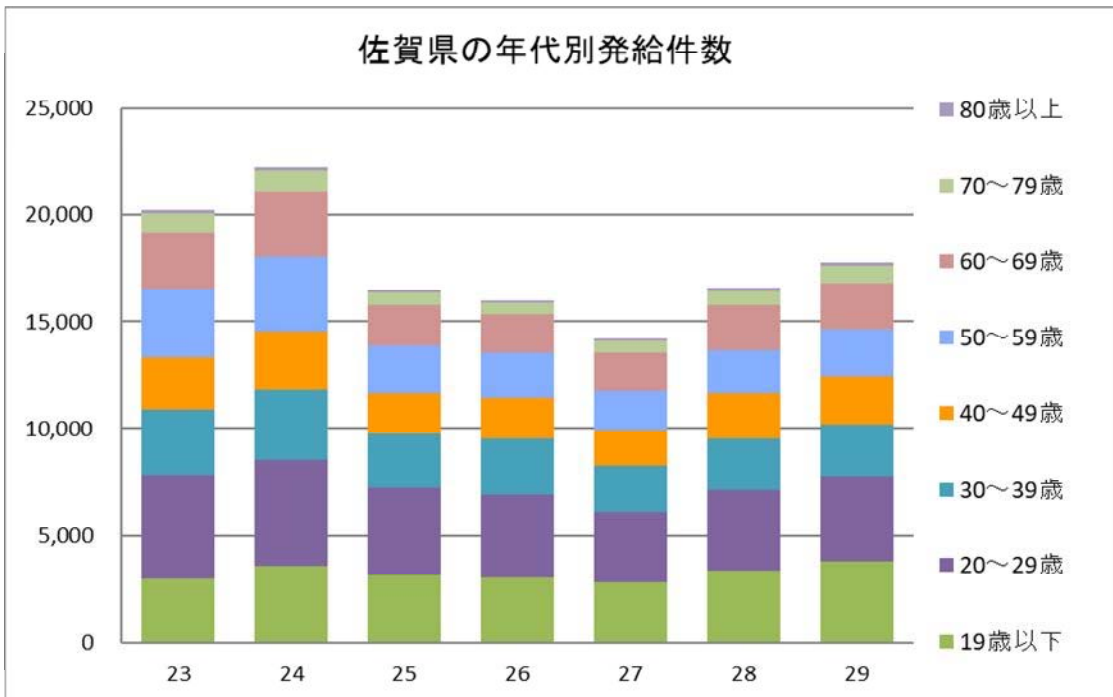
ウ 年次別旅券発給件数

年次	22	23	24	25	26	27	28	29
佐賀県 発給数	20,050	20,239	22,225	16,471	16,021	14,230	16,580	17,766
全国 発給数	4,185,080	3,961,382	3,924,008	3,296,805	3,210,844	3,249,593	3,738,380	3,959,468

工 佐賀県の年代別発給件数

次	年	23	24	25	26	27	28	29
	19歳以下	2,981	3,546	3,143	3,027	2,820	3,327	3,782
	20～29歳	4,852	5,011	4,112	3,893	3,290	3,812	4,010
	30～39歳	3,075	3,286	2,513	2,614	2,190	2,412	2,400
	40～49歳	2,421	2,704	1,889	1,895	1,627	2,077	2,282
	50～59歳	3,198	3,498	2,205	2,138	1,859	2,052	2,192
	60～69歳	2,649	3,061	1,930	1,783	1,752	2,094	2,169
	70～79歳	893	954	568	563	578	668	773
	80歳以上	170	165	111	108	114	138	158
合	計	20,239	22,225	16,471	16,021	14,230	16,580	17,766

外務省



(2)在留外国人数の状況

佐賀県における在留外国人数は、平成30年（2018年）1月1日現在5,666人で、前年同期に比べると526人の増加となっており、佐賀県の総人口823,050人（2018年1月1日現在）に対する構成比は約0.7%となっている。

在留外国人の国籍数は75となっており、国籍別内訳を見ると、ベトナムが1,295人（約23%）ともっとも多く、次いで中国1,236人（22%）、韓国・朝鮮722人（13%）、フィリピン625人（11%）、インドネシア511人（9%）の順となっている。

在留資格別で見ると、「技能実習」が2,153人（38%）と最も多く、次いで「永住者」が978人（17%）、「留学」871人（15%）、「特別永住者」の482人（9%）の順となっている。

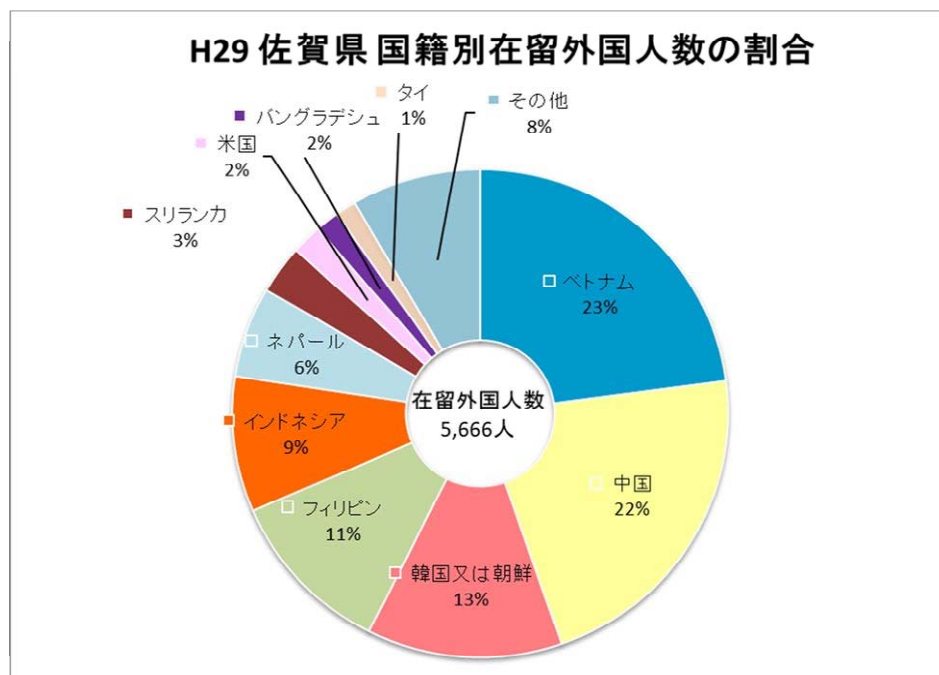
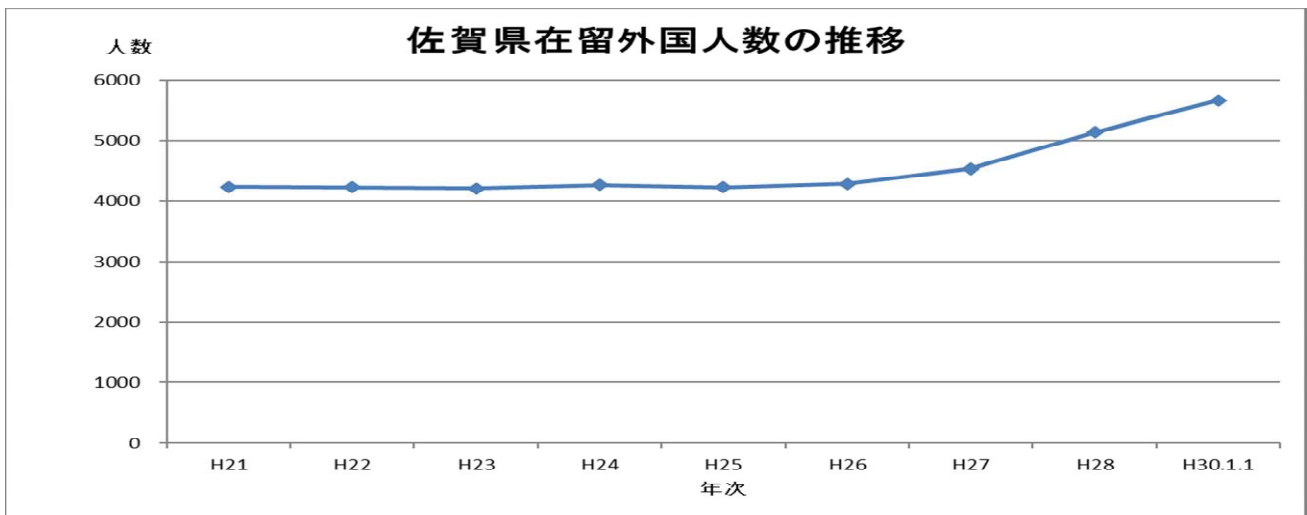
ア 年次別在留外国人数の推移

年次	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H30
佐賀県	4,233	4,226	4,208	4,268	4,229	4,285	4,536	5,140	5,666
全国	2,186,121	2,134,151	2,078,508	2,033,656	2,066,445	2,121,831	2,232,189	2,382,822	2,497,656

佐賀県 H21～H28は12月末現在、H30年は1月1日現在。佐賀県：国際課調

全国 H21～H28は入国管理局のデータ（12月末現在）。H30は総務省 住民基本台帳のデータ。

平成23年までは「外国人登録者数」として統計を作成。



ウ 在留外国人数（在留資格別）

平成30年11月1日現在

区 分	佐賀市	唐津市	鳥栖市	多久市	伊万里市	武雄市	鹿島市	小城市	嬉野市	神埼市	吉野ヶ里町	基山町	上峰町	みやき町	玄海町	有田町	大町町	江北町	白石町	太良町	計	区 分
総 計	1,633	659	1,060	153	565	176	145	175	170	115	105	163	37	129	3	113	34	50	141	40	5,666	総 計
教 授	15	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	教 授
芸 術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	芸 術
宗 教	3	1	0	0	8	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	宗 教
報 道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	報 道
高度専門職	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	高度専門職
経営・管理	10	1	7	2	3	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	29	経営・管理
法律・会計業務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	法律・会計業務
医 療	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	医 療
研 究	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	研 究
教 育	18	14	5	0	1	7	4	0	1	1	1	0	1	0	1	1	1	1	2	0	59	教 育
技術・人文知識・国際業務	83	16	42	9	18	13	1	5	30	3	5	11	0	0	0	7	1	2	0	1	247	技術・人文知識・国際業務
企業内転勤	1	0	1	1	7	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	15	企業内転勤
興 行	5	0	7	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	興 行
技 能	27	13	17	1	4	4	6	0	0	0	3	0	0	2	0	0	1	0	0	0	78	技 能
技能実習	302	372	225	95	337	68	73	82	49	65	55	90	22	67	0	65	15	37	102	32	2,153	技能実習
文化活動	7	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	13	文化活動
留 学	383	3	448	0	0	1	1	11	1	6	0	13	0	2	0	2	0	0	0	0	871	留 学
研 修	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	研 修
家族滞在	115	22	39	13	12	8	6	5	7	0	6	0	0	1	0	1	5	0	0	0	240	家族滞在
特定活動	13	2	8	0	31	1	13	2	4	3	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	81	特定活動
永住者	370	102	154	16	53	35	16	39	30	27	23	20	8	41	1	13	4	3	17	6	978	永住者
日本人の配偶者等	68	41	29	4	22	15	8	7	7	5	3	10	0	4	0	4	1	1	7	0	236	日本人の配偶者等
永住者の配偶者等	6	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	永住者の配偶者等
定住者	37	12	15	2	15	4	4	5	0	0	1	5	1	4	0	1	0	1	1	0	108	定住者
特別永住者	165	55	58	10	49	12	10	19	35	4	8	10	4	6	1	13	6	5	11	1	482	特別永住者
その他（未取得等）	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	その他（未取得等）

*「その他」は、出生による経過滞在者で法務省通知があるまで国籍名が空欄になっている者

*平成26年「出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律」が公布され、平成27年4月から在留資格が改正となり33種類になりました。なお、高度専門職（1号イ～ハ、2号イ～ニ）及び技能実習（1号イ～ロ、2号イ～ロ）については、それぞれ1つにまとめています。

(3) 外国人留学生の受入状況

平成 29 年の佐賀県における外国人留学生数は、621 人と前年に比べ 54 人の増加となっている。

学校種別で見ると、大学・短大・日本語教育機関のいずれも昨年度に引き続き増加傾向にある。学校別で見ると、大学・短大では佐賀大学の 224 人が最多であり、日本語教育機関では弘堂国際学園の 181 人が最も多くなっている。

国籍別で見ると、スリランカの 118 人とネパールの 117 人が多く、大学では中国、日本語教育機関ではネパールとスリランカが多数を占めている。

ア 外国人留学生数の推移

(平成 29 年 5 月現在)

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
大 学	302	297	282	269	240	216	229	252
短 大	31	20	17	18	19	14	19	27
日 本 語 教 育 機 関	87	118	146	178	199	222	319	342
県 内 計	420	435	445	465	458	452	567	621
全 国 計	175,040	163,697	161,848	168,145	184,155	208,379	239,287	267,042

県内：佐賀地域留学生等交流推進協議会調

全国：独立行政法人日本学生支援機構調

イ 県内外国人留学生の受入状況（学校別）

(平成 29 年 5 月現在)

	ネパール	バングラ	中国	マレーシア	タイ	スリランカ	台湾	韓国	インドネシア	その他	計
佐賀大学	1	15	74	15	19	6	8	17	11	58	224
西九州大学	0	1	11	0	3	0	7	5	0	1	28
九州龍谷 短期大学	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3
佐賀女子 短期大学	2	8	6	0	0	0	0	0	0	1	17
西九州大学 短期大学部	1	1	0	0	2	1	0	1	0	1	7
弘堂国際 学園	61	59	0	0	3	47	1	0	0	10	181
日本文化 教育学院	38	7	1	0	0	58	0	0	0	4	108
ヒューマン アカデミー	14	19	1	0	0	6	1	0	2	10	53
合 計	117	110	95	15	28	118	17	23	13	85	621

佐賀地域留学生等交流推進協議会調

(4) 経済交流の状況

平成28年の本県の貿易合計額については、輸出入合計では3,002億円（対前年比97.3%、85億円減）となった。

輸出については、金属加工製品（135億円減）などの減少により、輸出総額は2,532億円（同94.7%、142億円減）となった。

輸入については、化学品・医薬品（66億円増）などの増加により輸入総額は471億円（同114.1%、58億円増）となった。

貿易相手国・地域については、輸出での上位3か国はアメリカ、台湾、韓国となっており、これらの国で輸出額全体の40.9%を占めている。

輸入での上位3か国は、カナダ、中国、アメリカとなっており、これらの国が輸入額全体の58.5%を占めている状況であった。

ア 佐賀県貿易額の推移（注）小数点以下は四捨五入のため、合計値が合わないことがある。

(ア) 輸出入額

（単位：億円、％）

年	輸 出		輸 入		合 計	
	金 額	対前年比	金 額	対前年比	金 額	対前年比
12	2,198		568		2,766	
13	1,845	83.9	556	97.9	2,401	86.8
14	1,885	102.2	624	112.2	2,509	104.5
15	2,188	116.1	655	105.0	2,843	113.3
16	2,328	106.4	673	102.7	3,001	105.6
17	2,732	117.4	606	90.0	3,337	111.2
18	3,247	118.9	689	113.7	3,936	118.0
19	3,457	106.5	706	102.4	4,163	105.8
20	3,148	91.1	529	75.0	3,677	88.3
21	2,206	70.1	352	66.6	2,558	69.6
22	2,744	124.4	341	96.9	3,086	120.6
23	2,457	89.5	378	110.8	2,836	91.9
24	2,273	92.5	363	96.0	2,636	92.9
25	2,470	108.7	407	112.2	2,877	109.1
26	2,436	98.6	411	100.9	2,847	99.0
27	2,674	109.8	413	100.4	3,087	108.4
28	2,532	94.7	471	114.1	3,002	97.3

一般財団法人佐賀県貿易協会

「平成28年佐賀県貿易白書」

(イ) 品目別輸出額

(単位：億円、%)

年次 品目別	24		25		26		27		28	
	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比
農水産物・飲食料品	1.9	0.1	4.8	0.2	2.8	0.1	5.0	0.2	7.6	0.3
調味料・その他	71.4	3.1	60.5	2.5	45.7	1.9	41.6	1.6	34.5	1.4
木竹材・紙製品	0.3	0.0	0.8	0.0	12.7	0.5	19.7	0.7	2.7	0.1
化学・医薬品	1.7	0.1	3.7	0.2	2.3	0.1	1.9	0.1	2.1	0.1
石油・ゴム製品	391.2	17.2	427.2	17.3	428.8	17.6	426.2	15.9	390.1	15.4
一般陶磁器	0.3	0.0	0.5	0.0	1.6	0.1	1.6	0.1	1.3	0.1
工業用陶磁器	4.6	0.2	2.1	0.1	3.3	0.1	1.4	0.1	1.8	0.1
金属加工製品	823.6	36.2	761.7	30.8	893.8	36.7	1,029.3	38.5	894.4	35.3
電気・電子機器	289.7	12.7	307.4	12.4	315.3	12.9	306.0	11.4	413.9	16.3
一般機器	106.7	4.7	96.4	3.9	92.9	3.8	111.1	4.2	90.9	3.6
船舶	565.4	24.9	774.3	31.3	622.1	25.5	716.9	26.8	676.7	26.7
その他	16.1	0.7	30.4	1.2	14.6	0.6	13.3	0.5	15.6	0.6
合計	2,273.0	100.0	2,470.0	100.0	2,436.0	100.0	2,674.1	100.0	2,531.5	100.0

一般財団法人佐賀県貿易協会

「平成28年佐賀県貿易白書」

(ウ) 地域別輸出額

(単位：億円、%)

年次 地域別	24		25		26		27		28	
	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比	輸出額	構成比
北米	397.8	17.5	372.5	15.1	386.2	15.9	417.9	15.6	375.6	14.8
西欧	301.2	13.2	409.1	16.6	336.5	13.8	330.9	12.4		
欧州									347.4	13.7
オセアニア	30.6	1.3	34.6	1.4	29.4	1.2	145.1	5.4	126.7	5.0
アジア	1,038.6	45.7	964.2	39.0	1,093.8	44.9	1,269.5	47.5	1,318.3	52.1
中近東	42.8	1.9	48.0	1.9	43.4	1.8	42.3	1.6		
中東									40.7	1.6
アフリカ	317.9	14.0	291.1	11.8	303.7	12.5	203.0	7.6	33.8	1.3
中南米	120.4	5.3	322.8	13.1	230.0	9.4	253.4	9.5	289.2	11.4
ロシア・東欧諸国他	23.7	1.0	27.6	1.1	12.9	0.5	11.9	0.4		
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
不明									0.0	0.0
県計	2,273.0	100.0	2,470.0	100.0	2,436.0	100.0	2,674.1	100.0	2,531.5	100.0

一般財団法人佐賀県貿易協会

「平成28年佐賀県貿易白書」

(工) 品目別輸入額

(単位：億円、%)

年次 品目別	24		25		26		27		28	
	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比
農水産物	194.4	53.5	211.0	51.8	205.6	50.1	214.9	52.1	174.3	37.0
飲食料品	16.7	4.6	14.2	3.5	13.1	3.2	14.1	3.4	13.2	2.8
石材	0.5	0.1	0.5	0.1	0.4	0.1	0.3	0.1	0.4	0.1
木竹材	3.0	0.8	1.5	0.4	1.2	0.3	1.7	0.4	1.7	0.4
衣料品・その他	10.7	3.0	28.4	7.0	34.3	8.4	6.8	1.6	24.0	5.1
化学・医薬品	30.2	8.3	53.9	13.2	72.6	17.7	55.6	13.5	121.2	25.7
金属加工製品	43.4	12.0	49.2	12.1	35.8	8.7	53.4	12.9	65.6	13.9
電気・電子機器	25.4	7.0	17.0	4.2	13.7	3.3	31.7	7.7	35.0	7.4
一般機械	18.5	5.1	8.8	2.2	14.3	3.5	15.4	3.7	19.3	4.1
玩具・レジャー用品	0.1	0.0	0.1	0.0	0.8	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0
家具・調度品	7.2	2.0	5.7	1.4	5.0	1.2	5.0	1.2	4.0	0.9
雑貨・その他	12.9	3.5	16.9	4.2	13.7	3.3	13.5	3.3	12.0	2.5
合計	363.0	100.0	407.2	100.0	410.9	100.0	412.6	100.0	470.7	100.0

一般財団法人佐賀県貿易協会

「平成28年佐賀県貿易白書」

(オ) 地域別輸入額

(単位：億円、%)

年次 地域別	24		25		26		27		28	
	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比	輸入額	構成比
北米	133.3	36.7	165.2	40.6	184.7	45.0	186.1	45.1	201.9	42.9
西欧	8.1	2.2	14.1	3.5	11.6	2.8	15.2	3.7		
欧州									20.1	4.3
オセアニア	11.9	3.3	12.1	3.0	8.3	2.0	18.2	4.4	23.6	5.0
アジア	163.2	45.0	162.9	40.1	161.5	39.3	152.0	36.8	186.1	39.5
中近東	0.2	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1		
中東									0.3	0.1
アフリカ	0.8	0.2	1.0	0.2	0.6	0.1	0.9	0.2	0.6	0.1
中南米	45.5	12.5	51.4	12.6	43.6	10.6	39.6	9.6	38.1	8.1
ロシア・東欧諸国他	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0		
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
不明									0.0	0.0
県計	363.0	100.0	407.2	100.0	410.9	100.0	412.6	100.0	470.7	100.0

一般財団法人佐賀県貿易協会

「平成28年佐賀県貿易白書」

図5 平成28年度 佐賀県地域別輸出額

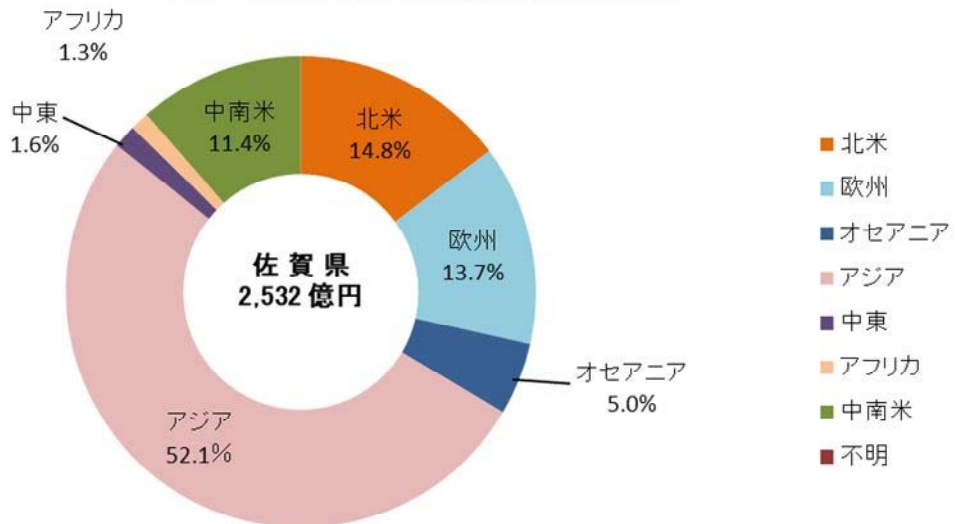
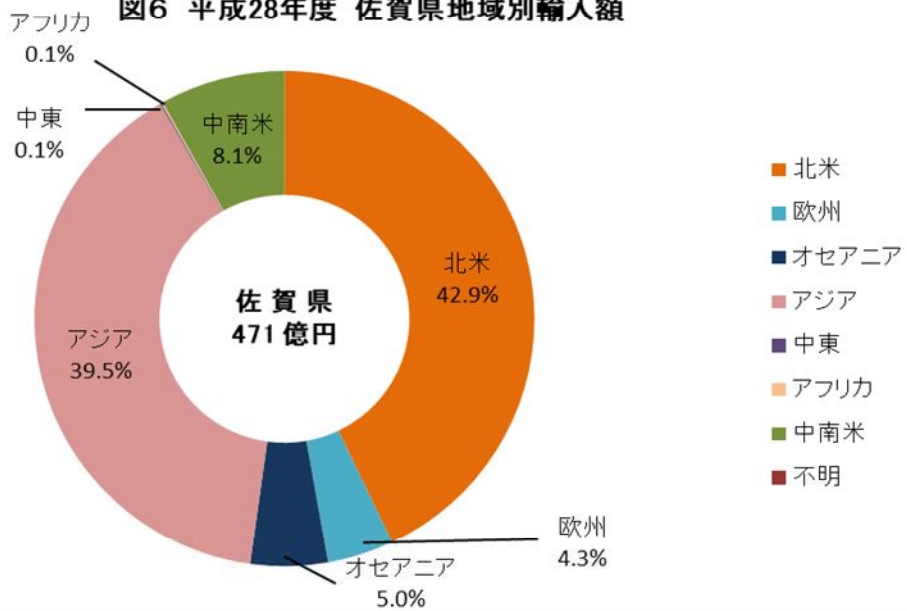


図6 平成28年度 佐賀県地域別輸入額



II 佐賀県の国際展開

1. 佐賀県国際ビジョン 「Excellent SAGA」

2017年6月9日

佐賀県国際ビジョン ～ Excellent SAGA ～ ①

国際展開の目的

国際展開によって、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」の実現に資する。

ビジョンの位置づけ

佐賀県総合計画2015における将来（2025年）の姿を見据えたうえで、2018年の明治維新150年を経て、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを迎えるに当たり、目的に向け、佐賀県の各分野が共通の方向性を持って国際展開に取り組むためのもの。

これまでの成果と課題

これまで、地域と地域、人と人など様々な分野での交流が基盤であるという前提のもと、

- ・観光客誘致（その基盤の九州国際佐賀空港の国際線拡充）
- ・佐賀牛、有田焼などの県産品輸出促進と企業の海外展開支援
- ・多文化共生の地域づくりやグローバルな視野を持つ人材の育成

などに取り組んだ結果、観光客数の増加、県産品の輸出の増加、県内に住む外国人住民の増加などの成果がみられた。

一方、世界では更なるグローバル化が進展し、世界中で人、モノ、情報の行き来が盛んになり、海外と接することが日常となっている。

そうした中、これまでの取組の成果を踏まえ、更に発展進化させ、「世界に誇れる佐賀づくり」を実現するためには、幕末維新期の「志」を受け継ぎ、世界基準でものごとを考え、海外の視点や技術等を取り入れ、更なる佐賀の魅力向上を図り、加えて、その魅力を世界へ発信していくことが必要となっている。

これからの取組の基本姿勢

「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を実現するため、150年を迎える幕末維新期の「志」を受け継ぎ、次の基本姿勢を持って国際展開を図る。

◆「創造的豊かさ」による佐賀の魅力向上

- ・幕末の佐賀は、藩主自らがオランダ船に乗り込むなど、西洋の科学技術等を精力的に受け入れ、佐賀が持つ人材と資源を活用し、最先端のものを生み出していった。
- ・このようなことを成し得たのは、当時の佐賀人が、進取の精神によって異国の文化や技術等を受け入れ、受け入れたものと佐賀独自のものを組み合わせ、より優れたものを生み出していき、言わば「創造的豊かさ」を持ち合わせたことにある。
- ・これからのグローバル社会においては、このような「志」を受け継ぎ、海外の文化、視点、発想、考え方、技術等との接触によって、県民一人ひとりが「創造的豊かさ」を養い、佐賀の本物に磨きをかけ、新しい「佐賀らしさ」を生み出し、佐賀の魅力向上につなげていく。

◆佐賀の魅力の総合展開

- ・「観光」「物産」「食」など、複数の取組がバランスよく連携した佐賀の魅力づくりと発信を行うことで、佐賀への注目を増す。
- ・佐賀への注目の拡大は、県民の佐賀への誇りと愛着の深まりにつながり、より佐賀県の魅力向上につながっていく。
- ・また、佐賀の魅力が「人」にあることにも留意する。

◆相互理解とWin-Winの関係づくり

- ・お互いが相手のことを知り、価値観を認めあう「相互理解」の意識を高め、日本人と外国人がともに住みやすい「多文化共生」の地域づくりにつなげていく。
- ・海外との連携・交流については、お互いの特長を提供・補完しあい、双方にとって有益な関係を構築していく。

■ 目的 ■

幕末維新期に世界を見据えた「志」を受け継ぎ、刻々と変化する国際情勢を的確にとらえ、「創造的豊かさ」を持って、佐賀にある本物の資源に磨きをかけ、世界基準でものごとを考え、あらゆる機会を有効に活用しながら、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を目指す。

■ 基本姿勢 ■

これまでの取組の成果を踏まえ、更に発展進化させるため、次の基本姿勢を持って、国際展開を図る。

「創造的豊かさ」による佐賀の魅力向上

佐賀の魅力の総合展開

相互理解とWin-Winの関係づくり

■ 考え方 ■

(海外の視点・発想等を取り入れた)
新たな佐賀の「魅力づくり」

- ◇ 海外の文化、視点、発想、考え方、技術等に触れることによる新たな発想の獲得や、それを取り入れた商品開発など、佐賀の本物の磨きあげや再発見による新たな魅力づくり。
- ◇ 佐賀を訪れる人の目的や嗜好にあわせ、複数の佐賀の魅力を組み合わせた提供。
- ◇ 海外からの評価を得ることを通じた佐賀への誇りと自信の醸成による自発的な魅力の創出。

(佐賀の魅力を効果的に伝える)
総合的・柔軟な「海外展開」

- ◇ 展開先の特性を理解し、現地の嗜好にあわせたプロモーションや商品販売などの現地展開。
- ◇ 空港路線、ロケ誘致や農産物輸出など、相手先に向けた適切な分野の組み合わせと、適切なタイミングでのプロモーション。
- ◇ 佐賀の魅力を組み合わせた、ストーリーのある情報発信。
- ◇ 佐賀の魅力を生み出す「人」による高い共感を呼ぶ情報発信とコミュニケーションの創出。
- ◇ 民間、県の取組のPR。

(人・モノ・情報が行き来する)
国際展開の「基盤づくり」

- (人的基盤)
- ◇ 国際感覚をもつ人材づくり
- ◇ 多文化共生の地域づくり
- ◇ 外国人が活躍できる地域づくり
- ◇ 相手先とのWin-Winの関係づくり
- ・信頼関係づくり
- (施設等基盤)
- ◇ アジアへの拠点として優位な地理的条件を生かした交流拡大のための施設基盤づくり(空港・港湾充実等)
- ◇ 多言語化等コミュニケーションの基盤づくり

- ・「国際戦略本部会議」や庁内会議等を活用し、共通の基本姿勢、考え方によって、各施策分野が連携した効果的な国際展開を行う。
- ・民間の取組と情報共有・連携をしながら、効果的な事業実施を行う。

2. 国際化推進事業概要

(1) 佐賀県の事業(平成29年度)

課名	事業名	内 容
国際課	韓国交流推進事業	県の重点交流地域(全羅南道)とのスポーツ交流等を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県小学生サッカーチーム受入(日韓小学生サッカー交流):小学生他44名 ・全羅南道知事退任式派遣(H29.5):職員2名 ・2017莞島国際海藻類博覧会「招聘への職員派遣(H29.4):職員5名派遣 ・焼き物交流(H29.5):職員5名受入 ・ラグビー交流(H29.8):選手等29名受入 ・全羅南道公務員研修事業:職員1名派遣 ・佐賀県議団全羅南道訪問(H29.9):県議10名 ・「2017国際水墨画交流展」へ派遣(H29.9):画家他11名 ・「韓国地方自治博覧会」へ派遣(H29.10):副知事他5名 ・全羅南道知事権限代行来佐(H29.11):知事他8名 ・さが桜マラソン選手団受入(H30.3):全羅南道選手他4名
	日韓海峡沿岸交流事業	九州北部三県(福岡、佐賀、長崎)、山口県及び韓国南岸一市三道(釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道)との広域的かつ多様な交流を目指し、日韓海峡沿岸県市道交流知事会議を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・日韓海峡沿岸県市道交流知事会議(H29.11.21~11.22 山口県)
	中国交流推進事業	県の重点交流地域(遼寧省、貴州省)とのスポーツ、文化、青少年の分野等における交流事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・貴州省青少年派遣(H29.8):高校生10名 ・日中韓地方政府三農フォーラム参加6名(H29.9) ・大連日本商品展出演(H29.9) ・佐賀インターナショナルバルーンフェスタ貴州省民族舞踊団招聘19名(H29.10) ・さが桜マラソン選手団受入(H30.3):遼寧省選手3名、貴州省選手3名 引率3名
	世界とつながる佐賀県青少年国際交流推進事業	佐賀県が持つ中国・韓国のネットワークを活用して、重点交流地域での姉妹校等を目指した学校交流を支援した。交流実施校:18校
	JICAボランティア支援事業	佐賀県出身JICAボランティアの活動報告「とびだそう!世界へ」を佐賀県ホームページに掲載し、広く県民の国際協力への理解や関心を高め、ひいては、協力隊参加の促進を図った。また、派遣中の隊員へ佐賀県情報等を送付し活動を支援した。
	地球発見隊事業	青年海外協力隊帰国隊員等を県内の学校に派遣し、児童・生徒のJICAボランティアへの関心を高めると共に、海外への興味を喚起し、国際交流や国際協力への関心を高めることを目的として実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・派遣回数:9回(小学校7回、中学校2回) ・参加者数:391名
	自治体職員協力交流事業	本県と友好関係のある国・地域(中国貴州省、遼寧省及び韓国全羅南道)との交流を促進するため、職員の派遣・受入を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県職員を全羅南道に派遣:1名(H29.4~H30.3)
	私費留学生支援事業	経済的に苦しい状況にある私費留学生に対して、県民協働で支援金を支給し、支援金提供者である県民と留学生の顔の見える関係を構築し、お互いの交流が進むように支援を行った。 支援金受給者:15名 支援者:3団体、6企業、2個人
	国際交流支援拠点の運営	多文化共生推進の拠点である国際交流プラザの管理と運営を行った。
	留学生受入拡大事業	外国人と共生する地域づくりを加速し、海外から見て魅力・特色ある県になるとともに、県民や県内企業の海外展開、外国人活用の機運を醸成する契機とするため、外国人留学生を県内に呼び込む取り組みを行った。 日本語学校教師育成への支援 日本語学校教師人件費に対する補助・養成講座補助 日本語学校外国人留学生に対する奨学金の支援 日本語学校施設整備支援
国際交流員の設置事業	「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」により国際交流員4名(英語圏1名、韓国2名、中国1名)を招致し、外国賓客の接遇・通訳、外国語刊行物等の編集・翻訳・監修など県の国際交流関係事務の補助、地域における語学指導への協力、イベントへの参画・助言など地域の国際交流活動支援を行った。	
外国語指導助手(ALT)、国際交流員(CIR)の設置補助事業	「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」により、日本と諸外国の人々の相互理解を深め、外国語教育を推進するため、外国語指導助手(Assistant Language Teacher:ALT)、国際交流員(Coordinator for International Relations)の設置のサポートを県内の市町に実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・JETプログラムによるALT・CIR・SEA(スポーツ国際交流員)数 県及び10市町に47名(国籍:アメリカ、イギリス、オーストラリア、アイルランド、カナダ、ジャマイカ等) 	
県の認知度向上のための情報発信	施策上重要な地域において、佐賀県の認知度向上やキーパーソンとの関係構築を図るため、外務省や在外日本国公館と連携し、佐賀県全体の情報発信を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・オランダの日蘭交流イベントや日本のクラフト展示即売会での佐賀県PR ・オランダのダッチ・デザイン・ウィークへのブース出展 ・県内企業等との共催による台湾プロモーション(H30.2)の実施 	

課名	事業名	内 容
国際課	創造的プラットフォーム事業	<p>オランダとの連携により推進している海外クリエイター（デザイナー、アーティストなど）の創作活動のための受入を通じて、クリエイティブな人材が集積するプラットフォームの形成を推進する。そのことにより、世界に発信できる魅力的な地域づくりを行う。</p> <p>クリエイターを受け入れることで、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有田の事業者が新たな創作の発想を得る ・クリエイターが絶えず訪れることで、そのクリエイターや関係者によって、世界に「ARITA」という場所や技術力の高さを世界に発信 <p>有田焼産地のブランディングなどの長期的な効果を目指すものであり、行政が産地とともに推進する。</p> <p><平成29年度受入実績></p> <p>第1期：6月～8月 2名（オランダ） 第2期：9月～11月 2名（オランダ） 第3期：2月～3月 2名（ベルギー、中国）</p>
	オランダハウス事業	<p>肥前さが幕末維新博覧会のパビリオンの一つとして、オランダのことを知ってもらい、佐賀とオランダの交流の拠点となるよう、アート・食・水辺をテーマにしたオランダハウスをオープンした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストインレジデンス：オランダのクリエイターが佐賀に滞在し、地域の人々とふれあひながら創作活動を行う。 ・ギャラリー：佐賀とオランダの交流の歴史の紹介や、クリエイターの作品展示等。 ・カフェ（シュガーロードマーケット）：オランダの伝統菓子等を販売。
観光課	外国人観光客誘致対策事業（（一社）佐賀県観光連盟事業費補助）	<p>(1) 外国人観光客誘致対策事業</p> <p>韓国人観光客誘致</p> <p>旅行博、商談会等への参加3件（ハナツアー旅行博覧会、MODE TOUR旅行博覧会） 観光説明会、商談会の開催2件（佐賀、ソウル、釜山） セールスプロモーション19回（ソウル、釜山及び光州の旅行会社等） 旅行会社やメディアの招聘20件（ソウル及び釜山の旅行会社やメディア等） 旅行会社とのタイアップ17社 視察団体の受入れ7件（農業視察、加工食品メーカー、行政視察、教育機関等） 韓国語版ホームページ・facebook・インスタグラムの運営、ガイドブックの掲載 メディアミックスプロモーション（テレビ、新聞、ネット等による情報発信） 旅行会社への宿泊補助（県内宿泊商品対象） 個人旅行者向けの交通アクセス補助</p>
		<p>中国人観光客誘致</p> <p>香港・広州における九州観光商談会への参加2件（広州、香港） 国内でのインバウンド向け商談会への参加1件 佐賀県観光商談会の開催1回（上海） 海外旅行博覧会への出展5回（上海世界旅行博覧会、中国（広東省）国際旅游産業博覧会等） セールスプロモーション25回（上海及び広州等の旅行会社等） 旅行会社やメディアの招聘23件（上海及び北京等の旅行会社やメディア等） 修学旅行受入・学校交流5件 旅行会社とのタイアップ20社 簡体字版ホームページ及び微博（ウェイボー）の運営 メディアミックスプロモーション（テレビ、新聞等による情報発信） ○広報支援（機内誌をはじめとする業界紙での商品掲載など）</p>
		<p>台湾人観光客誘致</p> <p>旅行博への参加3件（高雄市旅行公会国際旅展、台北国際旅行博等） 九州観光商談会への参加3件（台北、台中、高雄） 佐賀県観光商談会の開催2件（台北、高雄） セールスプロモーション13回（台北市、高雄市の旅行会社等） 旅行会社やメディアの招聘10件（旅行会社やメディア等） 現地スタッフの配置、現地セールス（13件） 旅行会社とのタイアップ9件 旅行会社への宿泊補助（県内宿泊商品対象） 繁体字版ホームページの運営、Facebookによる情報発信 メディアミックスプロモーション（テレビ、新聞等による情報発信）</p>
		<p>東南アジア地域観光客誘致</p> <p>バンコク観光プロモーション（佐賀県観光説明会・商談会）、観光イベントの開催 九州観光商談会等への参加2件（タイ、シンガポール） セールスプロモーション10回（バンコク、シンガポール） 旅行会社とのタイアップ7件 旅行会社への宿泊補助（県内宿泊商品対象） 旅行会社やメディアの招聘10件（タイ、インドネシア、ベトナム） タイ語版ホームページの運営、Facebookによる情報発信 観光博への出展4回（タイ、シンガポール、ベトナム） タイ語ガイドブック増刷、個人向けデジタルガイドブック作成</p>
		<p>欧州地域観光客誘致</p> <p>セールスプロモーション（イギリス、フランス） 現地プロモーションに参加（イギリス、フランス） 旅行会社やメディアの招聘3件（フランス、ランド社） トラベルライターによるオンラインでの記事発信 英語版ホームページ及びfacebookの運営 「ミシュラン・グリーンガイド・佐賀」のWebサイト更新 英語版デジタルガイドブック発行 東京都と連携したモデルルート開発及びメディア招聘</p>

課名	事業名	内 容
観光課	外国人観光客誘致対策事業((一社) 佐賀県観光連盟事業費補助)	<p>(2) 受入環境整備事業</p> <p>観光客受入環境整備支援事業：多言語化ほか 観光施設や宿泊施設などの受入施設において、外国人へのサービスを充実させるため、外国語での案内表示、パンフレット、HPでの案内などの経費の一部を助成し、外国人観光客受入の環境整備を促進した。(35団体が整備)</p> <p>国際会議開催経費補助 国際会議等のコンベンション開催経費の一部を助成することにより、コンベンションの誘致を促進した。(4件)</p> <p>言語コミュニケーションの問題により円滑な旅行が困難な外国人観光客等をサポートするために、通訳サービスが可能なコールセンターと目的地や店舗情報などを外国語で検索ができる観光アプリ「DOGAN SHITATO?」を提供した。</p> <p>・コールセンター(24時間365日対応) 対応言語：英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語・インドネシア語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・スペイン語・ポルトガル語・ロシア語・ネパール語・タガログ語 ・観光アプリ「DOGANSHITATO?」 対応言語 英語、中国語(簡体字、繁体字)、韓国語、タイ語、日本語</p>
	日韓海峡沿岸広域観光協議会事業	<p>《日韓海峡沿岸広域観光協議会事業》</p> <p>北部九州3県及び山口県と韓国1市3道(釜山広域市、慶尚南道、済州道、全羅南道)で日韓広域観光ルート及び事業計画の検討等を行うため、第24回日韓海峡沿岸観光交流会議を開催するとともに、日韓海峡沿岸地域の観光振興のため、欧州メディアの招聘事業、東南アジア(ベトナム)メディアの招聘事業、欧米向け情報発信事業を日韓共同で実施した。</p> <p>日韓海峡沿岸広域観光交流会議 課長会議：6月8日 韓国 全羅南道 欧州メディアの招聘事業 事業内容：日韓海峡沿岸地域の観光地を情報発信し誘客を促進するため、イギリスのYoutuber招聘を実施 開催時期：11月18日～11月24日 場 所：佐賀県、長崎県、慶尚南道、釜山広域市 東南アジア(ベトナム)メディアの招聘事業 事業内容：答案アジアへ日韓海峡沿岸地域の観光情報を発信し誘客を促進するため、ベトナムのテレビ局や旅行雑誌社等の招聘を実施 開催時期：10月19日～10月25日 場 所：済州特別自治道、全羅南道、山口県、福岡県 欧米向け情報発信事業 事業内容：外国人目線での4県の観光スポット等を特集しWEBサイトに掲載、情報発信を実施 掲載期間：1か月間 対象国：フランス、イギリス等</p>
産業人材課	産業人材ステーション事業	<p>知識や技術を持った求職者と即戦力、あるいは将来的に事業の中核を担う人材(UJIターン人材、グローバル人材)を求める企業とのマッチング支援を行うことで、県内企業の人材確保を支援している。平成29年度は留学生1名が就職。</p> <p>グローバル人材とは、外国人留学生または、留学・海外でのビジネス・ボランティア活動等の経験があり、外国語に堪能な求職者。</p>
流通・通商課	Oishii!SAGA 輸出チャレンジ事業((公財)佐賀県地域産業支援センター さが県産品流通デザイン公社事業費補助)	<p>県内加工食品事業者の海外市場への輸出を促進するため、海外販路拡大へ向けた取り組みに必要な経費に対する補助などの支援を実施した。</p> <p>補助事業実施 ・補助金交付企業数 32社(申請企業数 40社) 事業報告会及び海外情勢研修会の開催 ・H29.4月、7月、10月 食品グローバル研究会開催(計3回) 事業者の輸出拡大へ向けた国内外における取組への側面支援 ・H29.8 Food Expo香港への県内メーカー出展支援 県内事業者6社出展</p>
	県産品海外リサーチ・アンド・トライ事業((公財)佐賀県地域産業支援センター さが県産品流通デザイン公社事業費補助)	<p>前年に実施した県産品輸出可能性等調査事業の成果を基に、同事業のフォローアップと県産品の海外への販路拡大の更なる促進を図るための取組を実施した。</p> <p>前年度の輸出可能性等調査事業で発掘した海外バイヤー等の招へい ・ブラジル酒バイヤー ・香港ECサイト運営企業バイヤー ・ベトナム加工食品バイヤー 輸出可能性のある地域の商談会、見本市への出展 ・ブラジル日本酒イベント 新たな国や、商流が確立していない品目の市場調査 ・アメリカ、EU 等</p>
	海外拠点の運営	<p>中国や東南アジアにおける各種事業を効果的に展開していくことを目的として、最前線で業務を行う海外拠点(香港代表事務所)を運営した。</p> <p><海外拠点における主な取組み> ・県産品の販路拡大・開拓の支援・企業取引・進出の支援・「佐賀県」の認知度向上のための活動 ・佐賀県に観光客を誘致するための活動・現地における人脈づくり</p>
	貿易振興事業	<p>本県における貿易の振興を図るため、佐賀県貿易協会及びジェット口佐賀と連携し以下を実施した。</p> <p>佐賀県国際ビジネスサポートオフィスの運営 ・県内企業からの貿易投資相談対応・企業ホームページ等の英語化支援 佐賀県貿易白書の作成 佐賀県ものづくりグローバル研究会の開催 ・セミナー4回開催・台湾への経済視察団の派遣 貿易スキルアップ講座の開催 ・セミナー4回開催・港湾見学会(博多港)の開催</p>

課名	事業名	内 容
流通・通商課	中小企業海外展開チャレンジ促進事業	県内中小企業の海外展開（海外販路開拓、海外進出）を促進するため、採択した県内企業の海外展開へのチャレンジを支援し、取組事例（モデルケース）を広く県内企業と共有することにより、海外展開に向けた機運醸成を図った。 ・対象業種：製造業（食品を除く）、サービス業 ・平成29年度採択企業：5社 ・対象事業：市場調査、商談会・展示会などへの出展、バイヤー招聘、輸送・通関（販売品を除く）、海外進出など
水産課	日韓海峡沿岸水産関係交流事業	西日本4県（山口県・福岡県・佐賀県・長崎県）と韓国1市3道（釜山広域市・全羅南道・慶尚南道・済州特別自治道）で、資源管理の取組や養殖技術研究など海洋水産共同発展に関する情報交換等を行うことにより、日韓両地域間の相互理解と友好を深めるため、交流会議が開催された。 日 時：H29.10.25～27
	日韓海峡沿岸水産関係交流事業	日韓漁業者による漁業現状の理解と親睦を図るため、漁業者親睦交流を実施した。 日 時：H29.11.15～11.17 場 所：佐賀県 唐津市 参加者：13名（佐賀県4名） 日韓の水産資源維持増大のため、日韓共同・双方で共通の有用な回遊性魚種（トラフグ、クロダイ等）の種苗を放流した。 日 時：H29.10.26 場 所：福岡県 福岡市 放流数：トラフグ 2,000尾
男女参画・女性の活躍推進課	県民グループ派遣・招へい支援事業（県立男女共同参画センター）	男女共同参画の推進に必要な知識を深め、リーダーとしての資質を高めるための海外研修や会議等への参加、または海外民間グループの先進活動事例の調査や海外民間グループとの交流を行う県内民間グループに対して助成を行った。 助成グループ：1グループ（調査国：アイスランド）
	韓国全羅南道女性団体との交流支援事業（県立男女共同参画センター）	県が友好協定を締結し、多様な分野における交流を促進している韓国全羅南道と男女共同参画分野においても交流促進を図るため、今後継続した交流を予定している団体に対し、公募により、全羅南道との交流促進を支援した。 助成グループ：1グループ
法務私学課	私立中学校・高等学校運営費補助事業（教育改革推進加算）	私立中学校・高等学校における運営費の中で、「次世代を担う人材育成の促進」に関する経費について補助額の加算を行った。1校あたり600千円を上限に加算。 ・外国人指導員の配置 ・外国の学校等との交流 ・外国への研修旅行費等
環境課・環境センター	日韓海峡沿岸環境技術交流事業	韓国南岸1市3道（釜山広域市、全羅南道、慶尚南道、済州特別自治道）と北部九州3県（佐賀県、福岡県、長崎県）及び山口県において、環境技術、公害防止対策等に関する共同事業を実施した。 「大気中の揮発性有機化合物調査」の実施（H28～29年度） 平成30年度以降の共同事業に係る協議 平成29年7月26日～28日（山口県） 「大気中の揮発性有機化合物調査」の実施等に係る協議 平成29年5月24日～26日（慶尚南道）
空港課	上海便の運航	九州佐賀国際空港と上海浦東国際空港との間で国際定期航空路線を運航し、佐賀県と中国との交流拡大を図った。 運航路線：九州佐賀国際空港 上海浦東国際空港 運航会社：春秋航空 運航便数：週3往復（月・水・土曜日） 利用者数：49,801人
	ソウル便の運航	九州佐賀国際空港と仁川国際空港との間で国際定期航空路線を運航し、佐賀県と韓国との交流拡大を図った。 運航路線：九州佐賀国際空港 仁川国際空港 運航会社：ティーウェイ航空 運航便数：H29.3.26～H29.5.10 週5往復（月・火・水・金・日曜日） H29.5.11～H30.3.24 週7往復（毎日） H30.3.25～H30.10.27 週9往復（水・金曜日は1日2往復、それ以外は1往復） 利用者数：104,919人
	国際チャーター便（台湾）の運航	九州佐賀国際空港と台湾桃園国際空港との間でプログラムチャーター便を運航し、佐賀県と台湾との交流拡大を図った。 運航路線：九州佐賀国際空港 台湾桃園国際空港 運航会社：タイガーエア台湾 運航便数：H29.6.12～H29.8.1 週2往復（月・木曜日） H29.8.2～H29.10.28 週4往復（月・水・木・日曜日） H29.10.29～H29.12.15 週2往復（月・木曜日） H29.12.16～H30.10.25 週2往復（木・日曜日） 利用者数：31,957人
港湾課	港湾振興事業	【伊万里港】国際コンテナ貨物を扱う国際貿易港 航路の充実や利用拡大を図るため上海の船会社や荷主企業等を訪問しポートセールスに取り組んだ。 国際定期コンテナ航路：5航路週7便（H30.3現在） （華南・韓国航路 大連・青島航路 上海航路 釜山航路（3便/週） 国際フィーダー航路（神戸港経由）） H29コンテナ取扱実績数：36,700TEU 【唐津港】物流・水産・観光レクリエーションの複合港 外国クルーズ客船の誘致の為、米国船社の担当者を唐津市に招へいし唐津市内の視察を行って頂いた。

課名	事業名	内 容
教育振興課	グローバル社会で生きぬくSAGA人材づくり事業	グローバル化の進展に対応するため、中学生及び高校生に国際的視野と外国語によるコミュニケーション能力を身に付けさせることにより、国際社会で活躍する人材の育成事業を実施した。 中、高校生の海外留学等への助成 専門高校（農業、工業、商業、家庭、福祉）を対象にした未来のスペシャリスト海外研修事業の実施 中学校英語暗唱大会及び高等学校英語スピーチコンテスト等参加者を対象にした海外研修の提供 イングリッシュ・デイ、英会話体験プログラム、英会話・国際理解合宿セミナー等の体験的英語活動の実施 県が主催する中高校生を対象とした海外研修の実施
学校教育課	語学指導等を行う外国青年招致事業	本県英語教育の充実、改善のため、アメリカ、カナダ、オーストラリアから16人の青年を招致し、外国語指導助手として学校での英語指導に活用した。
	外国語指導助手指導力等向上研修	外国語指導助手を対象に、効果的な語学指導ができるような知識・指導技術を習得させるため、日本人英語教師とともに合同の研修会を実施した（H29.11）
文化財課		○台湾十三行博物館との交流事業 台湾新北市十三行博物館が主催する考古文化資産教育実務ワークショップ及び考古生活フェスティバル2017への参加。 日時：平成29年4月20日（木）～24日（月） 会場：台湾十三行博物館
佐賀県立博物館・美術館	台湾十三行博物館との交流事業	内容：考古文化資産教育実務ワークショップでは、国営吉野ヶ里歴史公園で行っている体験学習を発表した。また、考古生活フェスティバル2017では、吉野ヶ里歴史公園で実施している銅鐻（青銅器）の鋳造体験を行った。2日間でのべ200名を超える希望者に体験事業を実施した。
佐賀城本丸歴史館	外国語おもてなし事業	佐賀城本丸ボランティアによる来館者への展示解説の中国語、韓国語通訳 館内表示についてのアドバイス 佐賀城本丸ボランティア及び職員を対象とした中国語、韓国語講座（月1回ずつ 参加者各5名程度）
	広報誘客事業	外国語版ホームページによる情報発信及び外国語版館内イラストマップの配布（英語、中国語{簡体字、繁体字}、韓国語） 外国語音声案内ガイドシステムの運用（英語、中国語、韓国語）40台
自治修習所	県職員外国語習得支援	グローバル人材の育成と、語学力向上に取り組む職員の支援のため、以下を実施した。 国際派養成スクール（語学教室：英語・中国語・韓国語） （ベーシックコース：26名、アドバンスコース：19名） 自己啓発活動支援事業（外国語検定試験受験経費助成：16名） 自己啓発活動支援事業（英会話スクール受講等経費助成：2名） TOEIC大会（エントリー数：58名） TOEIC大会エントリー者のTOEIC検定受験経費助成（52名）
スポーツ課	佐賀県大規模国際スポーツ大会キャンプ誘致推進協議会事業（パートナーシップ戦略事業）	ラグビーワールドカップ2019、2020東京オリンピック・パラリンピックなどの事前合宿誘致に向け、海外の選手及び関係者とスポーツを通じた交流を積極的に行いパートナーシップを形成するため、スポーツ交流等を実施した。 フィジーラグビー交流事業 フィジーからクイーン・ヴィクトリア・スクール（QVS）を迎え入れ、ラグビー交流を実施（受入数：34名） オランダ・ドイツ空手交流事業 オランダ・ドイツから空手ジュニア選手団を派遣し、空手交流を実施（受入数：オランダ8名、ドイツ9名）
	佐賀県大規模国際スポーツ大会キャンプ誘致推進協議会事業（事前キャンプ受入）	ラグビーワールドカップ2019、2020東京オリンピック・パラリンピックなど世界規模のスポーツイベントの開催に向け、経済波及効果のみならず、世界への情報発信、県民の夢・感動など、スポーツのチカラによるレガシーを構築することを目的とした協議会を設立し、佐賀県内へのキャンプ誘致活動を展開。 陸上ニュージーランド選手団・ユニバーシアード競技大会事前キャンプ受入 第29回ユニバーシアード競技大会に出場する陸上ニュージーランド選手団の事前キャンプを実施（受入数：15名） ラクロスU23男女豪州代表・アジアパシフィック選手権大会事前キャンプ受入 第8回APLUアジアパシフィック選手権大会に出場するラクロスU23男女豪州代表の事前キャンプを実施（受入数：約50名） オランダ空手選手・空手1シリーズA2017沖縄大会事前キャンプ受入 空手1シリーズA 2017沖縄大会に出場するオランダ空手選手の事前キャンプを実施（受入数：2名）

課名	事業名	内 容
名護屋城博物館	国際学術・文化交流事業	<p>○韓国国立晋州博物館との交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当館は平成24年度に国立晋州博物館との学術協定を更新した。展覧会・協働調査・文化財の貸与など互いの自主事業に対して協力し合い、文化事業においても協力し合うことを目的としている。 ・平成29年7月 晋州博物館 特別企画展「丁酉倭乱」への出品協力 <p>韓国語講座 日時：前期 平成29年5月13日～7月15日 初級29名 中級20名 後期 平成29年9月30日～12月16日 初級36名 中級27名 会場：本館 図書閲覧室・鎮西町公民館 講師：本館 国際交流員 李 敬賢（イ・キョンヒョン）</p> <p>○韓国語スピーチコンテストinなごや 内容：「第13回 韓国語スピーチコンテストin なごや」 日時：平成29年10月21日(土)13:00～16:00 会場：本館ホール 出場者：49名 スキット部門：高校生の部15組30名、一般の部6組12名 スピーチ部門：7名 [協賛] カメリアライン株式会社、JR九州高速船株式会社、株式会社ティーウェイ航空、韓国観光公社 [後援] 駐福岡大韓民国領事館</p>
	地元における 日韓交流事業への協力	<p>名護屋小学校・韓国萬徳初等学校のホームステイ事業への協力 国際交流員がホームステイへの随行・事前学習を担当。</p> <p>名護屋小学校における韓国文化学習の指導 国際交流員が名護屋小学校で韓国語・韓国文化に関する出張授業を担当。 対象は1年生～6年生、年間30時間。</p> <p>武寧王生誕祭への協力 加唐島（唐津市）において韓国・公州市の関係者を招いて開催されている武寧王生誕祭に職員を派遣し、通訳等の協力をを行った。 日時：平成29年6月3日（日）</p>
		<p>県立唐津青翔高等学校との博学協働授業「日韓交流史」</p> <p>[概要] ・県立唐津青翔高等学校2年の地理歴史科に設定された学校設定科目（2単位） ・本館と学校との協働により年間を通じた授業を運営。</p> <p>[対象] 環境文化系列2年生（29年度は19人） [授業回数] 計25回 [平成29年度の授業内容] ・名護屋城跡の発掘調査や遺物整理を体験。 ・名護屋城跡について紹介するパネル展示の開催。 ・日韓交流史に係る近隣の遺跡を見学。</p>
文化課	オランダJAZZ in SAGA2017の開催	<p>佐賀県が、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるオランダのホストタウンに登録されたことを契機として、オランダとの文化交流を深めるために、オランダからジャズ・ミュージシャンを招いたジャズ・ライブを開催した。 また、ジャズ・ミュージシャンが県内の学校を訪問し、学生との音楽交流を実施した。</p> <p>【概要】 <ジャズライブ> 平成29年8月31日（木） ・場所 浪漫座（佐賀市歴史民俗館・旧古賀銀行内） ・アーティスト The Quartet NL.（カルテット エヌエル） ・料金 一般・大学生2,000円、高校生以下1,000円 ・参加人数 150名 平成29年9月1日（金） ・場所 佐賀城本丸歴史館 ・アーティスト The Quartet NL.（カルテット エヌエル） Opening Act 佐藤和哉 ・料金 一般・大学生2,000円、高校生以下無料 ・参加人数 150名</p> <p><学校との文化交流> 平成29年9月1日（金） ・場所 龍谷高等学校 ・内容 龍谷高校吹奏学部による歓迎演奏 アーティストによるワークショップ セッション演奏 ・参加人数 50名</p>
	「伝統的有田焼」再認識プロモーション事業（海外学芸員の招聘事業、九州陶磁文化館学芸員の海外派遣事業、ドレスデンプロジェクトへの協力）	<p>海外学芸員の招聘事業 有田焼を所蔵するヨーロッパ等の主要博物館から学芸員を招聘し、県民や子どもたちとの交流事業を実施することで、有田焼のすばらしさ、佐賀のやきもの文化の魅力を再認識してもらい、多くの外国人観光客が佐賀を訪れることを目的に実施した。</p> <p>【概要】 招聘者数 4か国から5名（招聘国：アメリカ、タイ、ドイツ、フランス） 平成29年11月11日（土） ・国際学芸員サミット2017「世界の学芸員が語る有田焼・佐賀の魅力」 会 場：九州陶磁文化館 講堂 参加者：約100名</p>

課名	事業名	内 容
文化課		<p>平成29年11月8日（水）、10日（金） 海外学芸員5名が、県内の小学校、中学校、高等学校、佐賀大学を訪問し、交流事業を実施。（実施学校数：9校） 平成29年11月7日（火）～10日（金） 海外学芸員による、窯元や博物館施設等の視察。 九州陶磁文化館学芸員の海外派遣事業 ヨーロッパ等の主要博物館を九州陶磁文化館の学芸員が訪問し、整理・鑑定や助言を行うことで、有田焼の展示機会の促進やより正確な情報発信に寄与し、海外における有田焼や九州陶磁文化館のプレゼンス向上につなげることを目的に実施した。</p> <p>【概要】 調査実績 ドイツ（ドレスデン美術館）調査期間：H29.8.5-14、H30.1.8-13 フランス（ギメ東洋美術館）調査期間：H30.2.19-24 ドレスデンプロジェクトへの協力 ドレスデンプロジェクト（ドイツ_ドレスデン美術館のコレクションの調査研究・目録作成事業）に対し、負担金や、九州陶磁文化館学芸員の現地派遣による資料解説等の作業に協力することで、有田焼や九州陶磁文化館のプレゼンス向上につなげることを目的に実施した。</p>
	海外映画ドラマ等の口ケ誘致	<p>映画やドラマなどの映像を通じた佐賀県の情報発信及び観光振興を目的として、海外映画ドラマ等の口ケ誘致を行った。</p> <p>【誘致実績】 タイドラマ「Project S」（H29.8撮影） フィリピン情報番組「CHINATOWN TV」（H29.11撮影）</p>
	東京オリパラ文化プログラム推進事業	<p>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、県内で文化プログラムを推進し、その機運醸成を図るとともに、佐賀県と海外各国との文化交流を促進することにより、佐賀県の文化的な魅力を国内外に発信し、同時に、お互いの文化に対する相互理解・愛着を深めることにより、交流人口の拡大、地域の活性化等を図ることを目的に、海外との文化交流イベントを実施した。</p> <p>【概要】 オランダclassic in SAGA 2017 オランダと日本のアーティストを招聘し、コンサートやトークショーを開催するとともに、オランダのアーティストが、学校に訪問し、子どもたちとの交流も実施した。</p> <p>（1）コンサート・トークショー ・日程 平成29年11月22日（水） ・場所 嬉野市社会文化会館【リパティ】 ・アーティスト ムジカ・レアーレ、川井郁子 ・参加者 400名</p> <p>（2）学校交流 ・日程 平成29年11月22日（水） ・場所 佐賀県立うれしの特別支援学校、嬉野市立塩田小学校 ・アーティスト ムジカ・レアーレ ・入場料 無料 ・参加者 全校生徒及び教諭（計476名）</p> <p>タイフェアin SAGA 2017 タイ及び県内文化団体による伝統芸能の公演や伝統工芸体験ワークショップ、展示、マルシェ、タイと日本の有名人によるトークショー等を実施した。</p> <p>・日程 平成29年10月21日（土）～22日（日） 台風のため、10月22日は、一部イベントを中止 ・場所 国立佐賀大学本庄キャンパス ・入場料 無料 ・参加人数 5,500名</p> <p>日露交歓コンサート2017 ロシアの音楽院の関係者らを招聘し、コンサートを開催した。なお、開催地域の合唱団とのコラボ演目や、観客も参加しての合唱も実施した。</p> <p>・日程/場所（参加者数） 平成29年10月3日（火）/鹿島市生涯学習センター・エイブル（294名） 平成29年10月4日（水）/鳥栖市民文化会館（750名） ・入場料 無料</p>

(2) 公益財団法人 佐賀県国際交流協会の事業 (平成29年度)

事業名	内容
情報収集・提供 高度化事業	インターネットとEメールを利用した情報の収集・提供を行うとともに、ホームページやフェイスブックを活用して、日本語・英語・中国語・韓国語での情報を発信した。
国際交流・協力情報誌 発行	民間国際交流団体等のイベントの広報、県内で活躍する外国人住民の紹介、国際交流・協力を実践している県内の団体の紹介、各種研修会のお知らせ等を掲載し、国際交流・協力に関する情報の提供を行った。 全カラー6ページ 2,500部 年6回発行
国際理解講座事業	<p>国際理解講座 学校、公民館、団体、PTA等の依頼に応じて留学生や県内外国人住民の方を講師として派遣し、さまざまな国の文化や習慣などを紹介した。 ・派遣件数：48件(63名) 受講者数：3,609名</p> <p>ランチタイムセミナー 昼休みを利用し、国際交流プラザ研修室にて佐賀県国際交流課に所属している国際交流員や佐賀県在住外国人等により多彩なトピックを簡単な英語で紹介した。 ・受講者数160名</p> <p>Let's go abroad! 留学・ワーホリ交流会 留学・ワーキングホリデーに関する交流会・相談会を実施した。 ・参加者6名</p> <p>国際交流料理交流会 外国出身の方に本場の美味しい料理を習い、食を通して国際交流を深めた。 ・参加者9名</p> <p>あそなまぶ 様々な国の遊び、料理、本の読み聞かせ、歌などを通して、子供達に多文化に触れてもらい、楽しみながら学べる機会を設けた。 ・全2回 参加者108名</p>
2017さが国際フェスタ 月間	国際理解・啓発イベントとして、1か月を通して民間国際交流団体や在住外国人と共に様々なイベントやパネル展示等を実施した。また、10月1日(日)は佐賀商工ビル駐車場を貸し切りステージイベントやブース出展を行った。月間としては延べ3,368人の来場。(H29.10.1~10.29)
国際交流団体等助成 事業	民間団体等が行う国際交流・協力事業の活性化を図るため、事業経費の一部を助成した。 内訳：多文化共生2団体、国際交流7団体、国際協力事業2件
日本語グループ支援 事業	地域で活動している日本語指導のボランティアグループに対して会場費や教材費等の活動費の補助や広報協力等を行い、その運営を支援した。また、外部講師によるボランティア養成講座を実施した。
国際交流ボランティア 啓発・推進事業	<p>歴史文化紹介、ホストファミリー、ことば多言語、医療通訳、ことば日本語、子ども支援、国際交流・協力の分野でボランティア登録を実施 登録者 計528名</p> <p>在住外国人の生活支援ボランティア養成講座の実施 ・日本語支援ボランティア養成講座 外国につながる子ども支援セミナー(H29.10.17) 参加者計36名</p>
ボランティア養成のため のマルチリンガル養成 講座	<p>国際社会で活躍できる人材を育成するため韓国語、中国語、インドネシア語、フランス語、スペイン語、英語、タイ語を学ぶ機会を提供するとともに、在住外国人との交流の場を提供。</p> <p>・韓国語講座 全4期(40回) ・中国語講座 全4期(40回) ・インドネシア語講座 全4期(40回) ・フランス語講座 全3期(35回) ・スペイン語講座 全4期(37回) ・英会話講座 全4期(85回) ・タイ語講座 全4期(42回)</p>
海外使節団派遣事業費 補助	<p>南カリフォルニア県人会が実施した佐賀県出身の大学生をアメリカ西海岸に派遣し、国際的な人材を育成する事業に対して経費の一部を助成した。</p> <p>・派遣先：サンフランシスコ、ロサンゼルスなど ・研修内容：現地で活躍する起業家、実業家、技術者等によるセミナー/現地企業・NPO団体、現地大学の訪問(研究者や学生との意見交換) ・派遣人数：10名 ・派遣期間：平成30年3月5日~3月18日 ・報告会：平成30年3月25日 ・参加人数：約50名</p>

<p>在住外国人支援体制整備事業（佐賀県からの委託事業）</p>	<p>多文化共生セミナー ・日本人住民を対象とした多文化共生の啓発セミナー 『自転車世界一周！「坂本達(たつ)さんの異文化体験から学ぶ多文化共生」』 日程：平成29年10月29日（日） 会場：佐賀県国際交流プラザ研修室 講師：株式会社ミキハウス社長室 坂本 達 氏 参加者：91名</p> <p>・留学生を対象とした就職支援に関するセミナー 「留学生のための就活セミナー」 日程：平成26年5月13日～6月15日(全6回) 会場：佐賀県国際交流プラザ研修室 講師：福岡国際大学准教授 占部 匡美 氏 参加者：延べ80名（日本人ボランティア等含む）</p> <p>・在住外国人を対象とした防災に関するセミナー 「外国人のためのすぐに役立つ体験型防災セミナー」 協力機関：佐賀県消防学校 日程：平成29年9月30日（日） 会場：佐賀県消防学校 講師：佐賀消防学校教官 参加者：48名</p> <p>医療通訳ボランティア派遣事業 ボランティア活動の中でも特に専門的な知識を必要とする医療通訳ボランティアの養成講座を実施するとともに、在住外国人や医療機関からの依頼に対しサポーターの派遣を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通訳派遣数 136回 ・医療通訳サポーター養成講座 スキルアップコース 全5回（H29.5.31～6.28）参加者：英語8名、中国語1名 初心者コース 全10回（H29.10.6～12.15）参加者：英語15名、中国語2名 <p>在住外国人相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活相談：県内に在住する外国人からの相談に随時対応。 相談件数：延べ20カ国266件 ・健康相談：済生会唐津病院の協力を得て実施。年3回
----------------------------------	---

(3) 市町の事業(平成29年度)

市町名	事業名	事業の概要
佐賀市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・留学生奨学金給付事業 ・グレンズフォールズ市との交流 ・釜山広域市蓮堤区との交流 ・クサク村との交流 ・連雲港市との交流 ・友好都市等職員交流事業 【民間団体等の主催事業】 佐賀市国際交流協会 ・バルーンホームステイ事業 ・国際家庭料理講座 ・ボランティア講演会 ・スポーツ交流会 ・子育て支援事業 ・国際理解講座 ・初級日本語集中講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員(CIR)1名 ・私費留学生に対し、月額20,000円を助成(20名) ・奨学生講演会を開催(H30.1.22 16名) ・教育交流訪問団受入 (H29.6.28~7.6 25名) ・教育交流訪問団派遣 (H30.3.24~4.3 25名) ・新栄小児童訪問団派遣支援 (H29.9.16~9.18 21名) ・友好親善訪問団受入 (H29.8.1~8.7 10名) ・友好訪日団受入(H29.8.23~8.25 5名) ・研修員受入(1名) ・2017佐賀インターナショナルバルーンフェスタ開催時に、11か国・地域からの海外選手54名のホームステイ受入(H29.10.26~11.5)を行い、日本の日常生活を体験してもらいながら交流を図った。 (H29.11.1~11.5 18か国・地域111チーム参加 観客動員数88万6千人) ・様々な国の家庭料理講座を4回開催し、料理を作りながら交流を深めた。(参加者数92名) ・ボランティア登録者の意識啓発、交流を目的としたボランティア講演会を開催した。(参加者数34名) ・バドミントン大会を開催し、スポーツを通しての親睦を図った。(参加者数41名) ・世界の歌と遊び体験、夏休みバーベキュー、クリスマス会、お花見会を開催した。(参加者数149名) ・多文化理解・多文化共生の推進を目的とした講座を3回開催した。(参加者数68名) ・日本語学習をスムーズに進めてもらうため、在住外国籍市民の方を対象に、日本語集中講座を3回開催した。(受講者数17名)
唐津市	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市職員相互派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・麗水市からの派遣職員受入 1名1年 (H29.6.23~H30.6.21) ・麗水市への職員派遣 1名9ヶ月 (H29.6.30~3.30) ・西歸浦市からの派遣職員受入 1名11ヶ月 (H29.2.6~12.27) ・西歸浦市からの派遣職員受入 1名10ヶ月 (H30.2.22~12.21)

市町名	事業名	事業の概要
唐津市	・韓国麗水市との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・第51回麗水鎮南亀甲船祭りへの招請参加 (H29.5.4~5.7) 参加者：5名 ・唐津市・麗水市姉妹都市締結35周年記念式典に伴う訪問 (H29.9.26~9.28) 参加者：34名 ・麗水副市長代表団唐津くんち視察来唐に伴う受入 (H29.11.1~11.4) 訪問者：5名 ・麗水市屯徳洞住民自治委員訪問団の唐津市公民館運営研修に伴う受入 (H29.11.24) 訪問者：20名 ・麗水美術協会訪問団の美術交流協議に伴う受入 (H29.11.24) 訪問者：4名
	・韓国西歸浦市との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・日本姉妹都市ゴミ・交流業務担当者会議への招請参加 (H29.5.22~5.25) 参加者：4名 ・西歸浦市職員的生活環境分野視察来唐に伴う受入 (H29.5.30~5.31) 訪問者：26名 ・西歸浦市里長訪問団のゴミ処理施設・サザエのつぼ焼き等視察来唐に伴う受入 (H29.7.19~7.20) 訪問者：20名 ・西歸浦市学生の九州オルレ教育旅行に伴う受入 (H29.7.25) 訪問者：64名 参加者：40名 ・西歸浦市漁村組合訪問団のサザエのつぼ焼き施設視察来唐に伴う受入 (H29.8.25~8.26) 訪問者：6名 ・西歸浦をテーマとした個人旅行商品開発のための関係者招請に伴う渡韓 (H29.8.25~8.27) 参加者：2名 ・西歸浦市代表団唐津くんち視察来唐に伴う受入 (H29.11.2~11.4) 訪問者：6名 ・第8回済州国際青少年フォーラムの招請に伴う参加 (H29.11.2~11.6) 参加者：4名
	・中国揚州市との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・揚州市訪問団の唐津市視察及び友好締結35周年記念事業打合せに伴う受入 (H29.8.19~20) 訪問者：5名 ・唐津市・揚州市友好締結35周年記念事業に伴う受入 ((H29.10.24~25) 訪問者：6名
	・三都市交流囲碁大会 (唐津市、揚州市、麗水市)	<ul style="list-style-type: none"> ・第19回日中韓友好姉妹都市囲碁交流大会参加 (揚州市で開催) (H29.11.6~11.9) 参加者：11名
	・韓国公州市との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・百濟歴史探訪への招請に伴う加唐島小中学生及び関係者の渡韓 (H29.8.25~27) 参加者：18名 ・第63回百濟文化祭及び公州市長表敬訪問 (H29.9.28) 参加者：4名
	・韓国唐津(クヅン)市との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・唐津(クヅン)市行政視察来唐に伴う受入 (H29.6.21) 訪問者：17名
	・韓国扶余郡との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国扶余郡訪問団の加唐島及び名護屋城博物館視察来唐に伴う受入 (H29.7.18) 訪問者：7名
	・韓国始興市との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・始興市職員訪問団の唐津市税制度視察来唐に伴う受入 (H29.9.22) 訪問者：15名
	・韓国錦山市との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・日韓少年少女合唱団交流事業に伴う受入 (H29.9.2) 訪問者：42名、参加者：27名

市町名	事業名	事業の概要
唐津市	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国との交流 ・中国との交流 【民間団体等の主催事業】 まつろ・百済武寧王国際ネットワーク協議会 一般社団法人唐津青年会議所 唐津市国際交流協会 唐津ボランティアガイド 	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国海洋水産関係者訪問団の視察来唐に伴う受入 (H29.5.16) 訪問者：16名 ・2017年多文化青少年グローバルキャンプでの唐津東中学校訪問に伴う受入 (H29.8.8) 訪問者：31名、参加者：27名 ・中国大学生訪問団第2陣の「日中植林・植樹国際連帯事業」に伴う受入 (H29.10.30) 訪問者：96名 ・第16回百済武寧王生誕祭歓迎会 (唐津市虹の松原ホテル) (H29.6.2) 訪問者：33名、参加者：27名 ・第16回百済武寧王生誕祭 (唐津市鎮西町加唐島) (H29.6.3) 訪問者：33名、参加者：約70名 ・麗水青年会議所との家族ホームステイ交流 (H29.8.19) 訪問者：34名 参加者：22名 ・麗水青年会議所との新年行事打合せ及び新年交流会の訪問に伴う受入 (H30.1.9) 訪問者：13名 参加者：打合せ20名、交流会160名 ・かもめ交流：日米学生かもめ交流派遣ホームステイ事業 (受入) (H29.6.10～6.19) ・市内各種イベント時におけるボランティア通訳等
鳥栖市	<ul style="list-style-type: none"> ・ツァイツ市1050年祭公式訪問団派遣事業 ・鳥栖ツァイツ子ども交流事業 ・国際交流団体との懇談会 ・こくさいカフェ ・「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 (文化庁事業) ・語学ボランティアの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ツァイツ市1050年祭に副市長ほか11名を派遣。(H29.6.7～6.13) ・鳥栖市の学生7名と引率2名を派遣。ホームステイを通じて交流を図った。(H29.7.23～8.7) ・市内の国際交流団体との会議を開催(6回) ・市内の国際交流団体や鳥栖市グラウンド・ゴルフ協会との共催で、こくさいカフェ「グラウンド・ゴルフ」を開催(日本人及び海外6カ国から114名が参加)(H29.11.5) ・市内の国際交流団体との共催で、「こくさいカフェ」を開催(日本人及び海外6カ国から373名が参加)(H30.1.20) ・市内の国際交流団体との共催で「こくさいカフェ」(大交流会)を開催(日本人及び海外9カ国から127名が参加)(H30.2.18) ・にほんごパートナーを募集し、オリエンテーションと養成講座を開催。(21名) ・「生活者としての外国人」のための日本語教室開講に向け、試行を実施。(全8回、外国人延べ43名参加) ・語学ボランティアを活用し、日本語が不自由な外国人への支援や国際交流活動などで必要な通訳、翻訳を実施(5件)

市町名	事業名	事業の概要
多 久 市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 【民間団体等の主催事業】 ・早稲田大学留学生地方訪問文化インターンシップ ・ボブ・ホーク スカラシップ 中学生海外派遣研修事業 ・多久日本語教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手（ALT）2名の活用 ・早稲田大学外国人留学生3名受入 （H30.2.5～3.9） ・(株)オニザキコーポレーションの協力により中学生2名をオーストラリアの一般家庭にホームステイ （H29.7.30～8.20） ・地域に居住された外国人に日本語の教室 週1回
伊 万 里 市	<ul style="list-style-type: none"> ・公務研修生受入事業 ・中国大連市友好訪問事業 ・中国大連市訪問団受入事業 【民間団体等の主催事業】 伊万里市国際交流協会 ・初級中国語教室 ・国際交流ひろば ・多文化交流事業 日本語教室いまり ・日本語教室いまり いまりSGG(善意通訳者の会) ・民際交流の夕べ 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国大連市より1名（H28.10.5～H29.9.28） ・伊万里市・大連市友好交流30周年を記念し、市民ランナー4名が大連市国際マラソンに参加。（H29.5.11～5.14） ・市長を団長とした市民60名の大連市友好交流訪問団を大連市に派遣。大連市アカシア祭りウォーキング大会、中日観光大連ハイレベルフォーラムに参加。（H29.5.20～5.24） ・日中国交正常化45周年事業「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」に市内の中学生2名と伊万里市日中友好協会会員等4名を派遣。（H29.8.3～8.8） ・伊万里市内の中学生16名を大連市へ派遣。日系企業を視察、大連市第九中学校とのホームステイ交流。（H29.11.23～11.26） ・大連市外事弁公室代表団一行6名が友好交流のため来訪。（H29.4.5～4.6） ・大連市訪問団（温雪瓊副市長一行）及び大連市少年宮訪問団（児童47名）が来訪。大連市少年宮と市内の小学生が大川内山での絵付け体験、ニュースポーツ、うちわ作り等を通して交流。（H29.7.30～8.1） ・大連市の市民ランナー3名が伊万里ハーフマラソン大会に参加。（H30.1.6～1.9） ・「初級中国語講座」開講。夜の部：H29.2.14～半年間、昼の部：H29.2.15～半年間。市民20名が参加。 ・「国際交流ひろば」を開催。伊万里市内の小学生41名が参加。各国の紹介、遊び体験などを通して交流。講師：佐賀大学留学生6名（カンボジア2名、台湾1名、リトアニア1名、バングラデシュ2名）（H30.2.18） ・多文化交流事業「多文化防災ロールプレイ」を開催。外国人8名、市民26名が参加。（H30.2.25） ・「にほんごきょうしつ いまり」開催。在住外国人20名、日本人ボランティア15名が参加。（H29.4.9～、月2回程度） ・市内、近郊在住外国人と「民際交流の夕べ」開催。外国人16名と日本人26名が参加。（H29.12.2）

市町名	事業名	事業の概要
伊万里市	伊万里ライオンズクラブ ・冬季留学生交換事業 佐賀県日本語学習支援カス タネット ・日本語教室活性化フォローア ヅップ講座 ・初級日本語教室 佐賀県国際交流協会 ・日本語スピーチコンテスト	・ライオンズ冬季交換留学生 1 名がマレーシアより来日し、市長へ表敬訪問。(H29.12.4) ・日本語教室活性化フォローアップ講座(全6回)を開催。(H29.12.3~H30.1.28) ・初級日本語教室集中講座(全6回)を開催。(H30.2.3~H30.2.23) ・外国人による佐賀さいこう!日本語スピーチコンテストを伊万里市民図書館で開催し、県内の在住外国人13名が参加。伊万里市内から4名の在住外国人が参加。(H29.12.17)
武雄市	・外国青年招致事業 ・インバウンド 【民間団体等の交流事業】 たけおワールドフレンズ (TWF) ・姉妹都市交流事業 ・在住外国人との交流事業 ・カリフォルニア火災募金活動 たけお日本語教室/交流事業	・外国語指導助手(ALT)5名の活用 ・「ハナツアー旅行博覧会」、「釜山国際観光展」、「モードツアー旅行博覧会」など韓国を中心とした国外展示会への参加。 ・九州観光推進機構との「九州オルレ」事業で、「済州オルレフェスティバル」などの視察をはじめとした団体アテンド等を随時行った。 ・シンガポールを対象とした「さがびよりオーナー制」を展開した ・佐賀県・佐賀県観光連盟と共に上海・タイ商談会に参加。 ・北九州市、下関市、武雄市、鹿島市、佐世保市、5市連携してタイを対象とした招聘事業を実施した。 ・セバストポール市からの派遣団(28名)が武雄市を訪問(H30.3.23~4.1) ・たけおワールドフレンズ主催による「武雄市在住外国人交流事業」(食文化を通じた交流事業)開催(H29.11.26)参加者37名(在住外国人17名、武雄ワールドフレンズ会員20名) ・たけおワールドフレンズによる募金活動を行い現地へ義捐金を送った ・たけお日本語教室主催による外国人向けの日本語教室などを開催
鹿島市	・韓国全羅南道高興郡との交流 ・釜山外国語大学校との交流	・第33回鹿島ガタリンピックに参加 ・鹿島市・高興郡友好結縁20周年記念式典の実施 高興郡交流団13名(H29.6.9~6.12) ・第33回鹿島ガタリンピックに参加 釜山外国語大学校教授・学生32名 (H29.6.9~6.12)

市町名	事業名	事業の概要
鹿島市	<ul style="list-style-type: none"> ・第43回高興郡民の日 ・高興郡新庁舎開庁式への参加 ・第33回鹿島ガタリンピック ・外国青年招致事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国全羅南道高興郡から「第43回高興郡民の日式典」への招待を受け行政・議会・民間団体14名で訪問 (H29.10.31~11.2) ・韓国全羅南道高興郡から新庁舎開庁式の招待を受け、行政3名で訪問 (H30.3.5~3.7) ・佐賀大学の外国人留学生在が、ホームステイや地元高校生との交流会を実施 (26名) ・外国語指導助手 (ALT) 2名の活用 (H29.7.27~1年間) 1名、(H29.7.31~1年間) 1名
小城市	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校外国語講師活用事業 (教育総務課) ・小城市公民館体験講座 (生涯学習課) ・市内保育園、幼稚園における国際交流事業 (保育幼稚園課) ・中国浙江省海鹽県との交流事業 (企画政策課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手 (ALT) の活用、民間講師 6名 小・中学校の英語教育及び英語活動実施 ・マイネームスタンプづくり！ ～消しゴムスタンプで国際交流～ 外国の方々と一緒にお話しながら、消しゴムでネームスタンプづくり (H29.10.14 参加人数 26名) ・ANTONIO'S Spanish Kitchen ～アントニオさんの楽しいスペイン料理教室～ スペイン出身のアントニオさんによるスペイン料理教室 (H29.10.15 参加人数 20名) ・外国語指導助手 (ALT) の活用、民間講師 3名 幼稚園、保育園の英語活動実施 ・海鹽県への訪問団派遣 (H29.10.18~10.21) 8名 (海鹽県人民政府表敬訪問、海鹽県実験中学校・武原中学校視察) ・海鹽県の中学生と市内中学生の絵画・書道による交流 (海鹽県の中学生の作品を市内中学校、公共施設で巡回展示)
嬉野市	<ul style="list-style-type: none"> ・外国青年招致事業 ・遼寧省との学校交流 ・在住外国人向け日本語教室 ・多文化共生講座 【民間団体の交流事業】 嬉野市日韓親善協会 ・接客研修事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手 (ALT) 1名の活用 ・「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」において、嬉野高校訪問団が中国遼寧省遼陽市の学校及び遼陽市政府等を訪問する際の職員同行 (H29.10.17~10.20) ・文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育スタートアッププログラム 実施 (日本語教室開催、地元会議、ヒアリング調査) ・嬉野発！「世界に開く地域づくり」 開催 (佐賀県・佐賀県国際交流協会・嬉野市 共催事業) (H30.3.4、嬉野市公会堂) ・韓国馬山大学学生が、市内旅館及びホテルにて、日本語、文化及びホテル業、接客業の実務研修を実施 (H29.7.28~8.11 学生12名、教授1名)

市町名	事業名	事業の概要
神 崎 市	国際交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・友好姉妹都市の関係にある、フランス共和国・ボーケール市の小学校と市内小学校による学校交流（作品の交換等） ・脊振中学校と山西大学附属中学校（中国）が訪中と訪日を相互に実施し、交流を深めている。 （H29.7.2～7.5 山西大学附属中学校の生徒 6 名、随行者 5 名（計 11 名）が訪日） ・神崎中学校と朗州中学校（韓国）が訪韓と訪日を相互に実施し、交流を深めている。（H29.11.13～11.16 校長、教師 4 名、生徒 15 名（計 20 名）が訪韓） ・千代田中学校と三湖西中学校（韓国）が訪韓と訪日を相互に実施し、交流を深めている。（H29.11.2～11.5 校長、教師 4 名、生徒 15 名（計 20 名）が訪韓） ・神崎町竹原地区にある「王仁天満宮」が、日本に漢字を伝えたとされる「王仁博士」と何らかの関係があるのではないかと考え、王仁博士の生誕地である大韓民国霊岩郡を平成 4 年から訪問し、また、霊岩郡からの訪問団の受入など交流を重ねている。 王仁博士春享大祭 王仁博士生誕地訪問 (H29.4) 田東平郡守らが来日 (H29.11)
基 山 町	【民間団体の交流事業】 ・多文化共生シンポジウム ・スパイスで健康になるタイ料理づくり ・国際交流もちつき大会・交通マナー教室	11月19日開催 参加者 56 名 活躍できる基山町を目指して～ と題し、外国人、男性、女性、高齢者、子ども達と国籍も年齢も性別も越え、誰でもが住みやすく活躍できるまちづくりをテーマにシンポジウムを開催した。 10月28日開催 外国人と日本人合わせて 22 名 タイ料理を一緒に作って楽しむ交流イベントを実施した。 1月21日開催 外国人 11 名を含む総勢 80 名以上 国際交流もちつき大会及び交通マナー教室を開催した。
上 峰 町	平成 29 年度驪州市青少年 上峰町訪問事業 驪州市	<ul style="list-style-type: none"> ・上峰中学校と姉妹校協定を締結している驪州市大神中・高等学校の生徒 18 名が上峰中学校を訪問。（H29.5.18～5.20） ・驪州市訪問団 10 名が上峰町を訪問。（H29.10.31～11.3）
み や き 町	・国際交流講座 【民間団体等の主催事業】 ・国際交流食文化交流会	<ul style="list-style-type: none"> ・県国際課、国際交流協会と共同で外国人とやさしい日本語で交流しようというテーマの講座を開催した。参加者 53 名（うち外国人 11 名）（H30.3.18） ・民間団体の国際交流会主催により、共同でジャマイカ料理を作り、その後会食を通して交流会を行った。参加者 50 名【参加国：ジャマイカ・日本他】（H30.2.11）
玄 海 町	・外国青年招致事業 ・釜山外国語大学校表敬訪問 ほか	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手（ALT）1 名の活用 ・官学国際交流協定を締結している釜山外国語大学校を表敬訪問した。 期日：H29.7.2～4 参加者：4 名

市町名	事業名	事業の概要
<p>玄海町</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国釜山外国語大学校生徒のインターンシップ受入 ・ニューサウスウェールズ州ヘーゼルブルック町コロワルスクール(オーストラリア)との姉妹友好等協定 【民間団体の交流事業】 玄海町国際交流協会 ・韓国釜山広域市機張郡訪問事業 ・ホームステイ受入事業 ・釜山外大ホストファミリー派遣事業 ・韓国釜山広域市機張郡訪問受入 ・合同国際理解体験「かんこくデー」 	<ul style="list-style-type: none"> ・釜山外国語大学校との今後の相互交流を更に深めていくため官学国際交流協定書を平成25年8月に締結した。その一環で、日本に係る職業を希望している釜山外国語大学校生徒をインターンシップ生として役場に受入れ、3か月間の研修を実施した。 期日:H29.9.11~12.8 研修生2名 ・生きた英語の習得と国際的感覚の養成を目的とし、玄海みらい学園と姉妹友好等協定をH29.8.10に締結。学校見学、交流協定締結、学校行事(オープンデー:学校開放日)への参加、ホームステイを実施した。 期日:H29.8.10~12 参加者:10名 ・民間団体の玄海町国際交流協会が機張郡イワシ祭りにあわせ訪韓し、交流を行っている外食業組合の表敬訪問を行った。 期日:H29.4.22~4.24 参加者:2名 ・玄海町花火大会開催時、釜山外国語大学校の学生を受け入れ、ホームステイ、唐津青翔高校の学生との交流を実施した。 期日:H29.7.21~7.24 訪問団:22名 ・釜山外国語大学校生ホームステイのホストファミリーとなった方を韓国に派遣し、韓国の生活環境や文化を体感し、相互の理解を深めた。 期日:H29.11.26~11.28 訪問団:11名 ・玄海町産業文化祭開催時、韓国外食業機張支部の出店を支援し、町民等に向けて韓国文化の紹介をした。 期日:H29.11.21~11.22 出店者等訪問団:19名 ・青翔高校と小高連携として青翔高校生による韓国紹介、国際交流員による韓国文化紹介(韓国の学校行事や給食、歌や手遊び)、韓国の遊び、民族衣装の試着等を行った。 期日:H29.12.8 参加者:75名
<p>有田町</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(社)韓国陶磁文化協会をはじめとする韓国との交流事業 ・外国青年招致事業 ・外国青年招致事業 ・ドイツ学教室 ・英会話教室 ・保育園・ドイツふれあいタイム ・外国人対応セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・「陶祖祭」に韓国陶磁文化協会長ら関係者参列(H29.5.4) ・外国語指導助手(ALT)1名活用 ・国際交流員(CIR)1名の活用 ・ドイツ語に興味がある有田町民などにドイツ学教室を開催(毎月2回) ・有田町民などを対象に英会話教室を開催(毎月4回) ・町立保育園で、年長児、年中児を対象に毎月1回ドイツのことば、文化を紹介(H29.4~H30.3) ・有田へ来られる外国人のお客様への対応のスキルアップを図るために有田観光協会が主催した英語講座に、CIRを講師として派遣(H30.1月~3月 8回)

市町名	事業名	事業の概要
有田町	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員による来訪者案内 【民間団体の交流事業】 陶都有田国際交流協会 ・英語ツアーの開催 ・ドイツ親子でふれあい教室開催 ・多国籍料理教室の開催 ・国際交流団体の集い 有田マイセン友好協会 ・青少年訪問団派遣事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツなどからの来訪者へ町内観光案内等を行う。 ・「有田雛のやきものまつり」期間中に日本在住の外国人を対象に国際交流員による英語ツアーを行った。 ・国際交流員により、親子を対象にドイツのアドベントカレンダー作り及びドイツの習慣などの紹介を行った。 ・多国籍料理教室料理教室を実施した。(年2回、中国・ミャンマー) ・町内外にて外国人の方を招待し、町民の方々との交流を図った。 ・姉妹都市であるドイツ・マイセン市の青少年訪問団がH29.10に有田町を訪問し、またH30.3には有田町の青少年訪問団がマイセン市を訪問した。
大町町	外国青年招致事業	・外国語指導助手(ALT)1名の活用
江北町	外国青年招致事業	・外国語指導助手(ALT)1名の活用
白石町	外国青年招致事業 【民間団体の交流事業】 しろいしWA!WA!WA!日本語交流教室	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)3名の活用 ・在住外国人への日本語交流教室の開催。日本人ボランティア26名、H29.1月～3月までで外国人延べ65名が参加(H29.1月から毎月2回開催)
吉野ヶ里町	外国青年招致事業	・外国語指導助手(ALT)2名の活用

(4) 県関連の県民海外派遣事業

平成29年度実施事業

事 項	人員	派 遣 先
高校物理教師セルン派遣	1	スイス
農業大 学 校 生 海 外 派 遣 研 修	28	オーストラリア
中学生・高校生海外留学等助成事業	148	アメリカ、カナダ、オーストラリア等
未来のスペシャリスト海外研修	47	オーストラリア、台湾、タイ
英語コンテスト等参加者向け海外研修	18	オーストラリア
アメリカ西海岸イングリッシュ・スタディ・ツアー	21	アメリカ

平成28年度までの実施事業

事 項	年次(平成)	延人員	派遣先
高校物理教師セルン派遣	21~28	8	スイス
有田窯業大 学 校 中 国 研 修 旅 行	23、24	18	中国
佐賀県中学生・高校生海外研修旅行	23	8	オーストラリア
日韓海峡沿岸青少年交流事業	12、14、16、18	48	韓国
日韓海峡沿岸住民親善イベント	7、9、13、15 16、19	149	韓国(全羅南道、済州特別自治道、慶尚南道、釜山広域市)
南米友好訪問団派遣事業	12、17	79	ブラジル、アルゼンチン
南米県人会訪問青年交流事業	14、16	10	ブラジル、ペルー
佐賀県女性の翼	7~11、13~15	95	中国、オーストラリア、ニュージーランド、スウェーデン、ドイツ、ハンガリー、アメリカ、カナダ、イギリス、ノルウェー
佐賀県男女共同参画の翼	16~18	35	スウェーデン、ドイツ、アメリカ、カナダ、オーストラリア
ふれ愛の翼	7~14	801	タイ、台湾、中国、香港、インドネシア
ヤングネットワークウィング事業	9~14、16、17	268	中国、韓国
佐賀青年出合いの旅事業	9~11	104	シンガポール、マレーシア
佐賀県アジア経済ミッション	7~11	77	中国、ベトナム、フィリピン、マレーシア
日中女性友好交流事業	12	6	中国(北京・貴陽・上海)
有田窯業大 学 校 中 国 研 修 旅 行	7~17	308	中国、韓国
佐賀県農村青年等海外派遣研修	7~16	206	欧州、オーストラリア、ニュージーランド、中国、タイ、マレーシア、韓国、アメリカ
農業大 学 校 生 海 外 派 遣 研 修	7~28 (13,23 ~25除く)	868	アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、オランダ、ドイツ

事 項	年次(平成)	延人員	派遣先
済州道へのみかん調査・交流団派遣事業	14	30	韓国(済州道)
林業後継者海外派遣	6、7、10	3	欧州、アメリカ、カナダ
日韓海峡沿岸水産関係交流事業	7~20、22	43	韓国(全羅南道、済州特別自治道、慶尚南道、釜山広域市)
佐賀県漁業青年海外派遣研修	7~15	10	アイルランド、イタリア、フランス、ノルウェー、イギリス、スウェーデン、ドイツ、ベルギー、スペイン、オランダ、ポルトガル、スイス、ロシア、ギリシャ
翔べ!さがっ子アジアへの未来飛行	9~13	500	マレーシア、シンガポール
日韓少年文化交流事業	6、9、11、13、15、17	119	韓国
日韓海峡沿岸地域振興団体交流支援事業	10、12	18	韓国
2000年女性会議補助事業	12	20	アメリカ
高校生海外留学研修事業	12~14	30	アメリカ
ミャンマー・タイ・カンボジア経済 ミ ッ シ ョ ン	25	23	ミャンマー(ヤンゴン)、タイ(バンコク)、カンボジア(プノンペン、シアヌークビル)
中学生・高校生海外留学等助成事業	25~26	152	アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ等
世界にはばたく未来のスペシャリスト 派 遣 団	25~26	38	オランダ、ベルギー、米国カリフォルニア州
英語コンテスト等優秀者向け 海 外 研 修 旅 行	25~26	19	オーストラリア、シンガポール、米国ハワイ州
スポーツパートナーシップ戦略事業	27~28	29	トルコ、イタリア、ドイツ
中学生・高校生海外留学等助成事業	27~28	219	アメリカ、カナダ、オーストラリア等
未来のスペシャリスト 海 外 研 修	27~28	86	オーストラリア、シンガポール、タイ、台湾
英語コンテスト等参加者向け 海 外 研 修 旅 行	27~28	34	オーストラリア
アメリカ西海岸イングリッシュ・スタ ディ・ツアー	28	21	アメリカ

(5) 外国語によるパンフレット等の作成状況

(平成30年3月現在)

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
佐賀県	在住外国人のための生活ガイド	生活ガイドリーフレット	日、英、中、韓、ベトナム、インドネシア、ネパール、タガログ、シンハラ、タイ	A6 16	佐賀県国際交流協会
	医療通訳サポーター派遣案内	リーフレット	日、英、中	A5 4	佐賀県国際交流協会
	「We♥Saga」	観光・物産PRのパンフレット	中(繁)		佐賀県香港代表事務所
	Guide to SAGA	県内ガイド	英、韓、中(簡・繁) 日本語併記	A4 24	(一社) 佐賀県観光連盟
	YOUKOSO SAGA	県内マップ	英	A4 16 (八つ折)	(一社) 佐賀県観光連盟
	佐賀九州梦开始的地方	県内ガイド	中(簡)	A4 20	(一社) 佐賀県観光連盟
	佐賀牛 和牛的骄傲	佐賀牛の紹介	中(簡)	A4 12	(一社) 佐賀県観光連盟
	温泉特辑	温泉の紹介	中(簡)	A4 33	(一社) 佐賀県観光連盟
	疗愈之乡 美食之城 佐贺县	県内ガイド	中(簡)	A5 94	(一社) 佐賀県観光連盟
	佐賀慢旅行	県内ガイド	中(簡)	B5 40	(一社) 佐賀県観光連盟
	SAGA 佐賀	県内ガイド	中(繁)	A5 30	(一社) 佐賀県観光連盟
	玩日本 佐賀	県内ガイド	中(繁)	A5 72	(一社) 佐賀県観光連盟
	佐賀観光手帖	県内ガイド	タイ	A4 4	(一社) 佐賀県観光連盟
	ADVENTURE SAGA	ロケ地の紹介等 Vol.5・6	タイ	スクエア 18	(一社) 佐賀県観光連盟
SAGA SWEET THERAPY	シュガーロードを テーマとしたパンフレット	タイ	A5 22	(一社) 佐賀県観光連盟	

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
佐賀県	Welcome to Saga	県内ガイド	タイ	A4 14	(一社) 佐賀県観光連盟
	SAGA, JAPAN TOURISM GUIDE	県内ガイド	英	A4 (三つ折)	(一社) 佐賀県観光連盟
	Saga Trip Genius	県内ガイド	英	B5 57	(一社) 佐賀県観光連盟
	SAGA「佐賀」	県内ガイド	英	A5 128	(一社) 佐賀県観光連盟
	SAGA「佐賀」	県内ガイド	タイ	A5 100	(一社) 佐賀県観光連盟
	Omotenashi Saga	県内ガイド	韓	A5 98	(一社) 佐賀県観光連盟
	佐賀牛	商品紹介	英、タイ、 中(繁)	1 (両面)	(財)さが県産品 流通デザイン公社
	佐賀海苔	商品紹介	英、 中(簡・繁)	1 (両面)	(財)さが県産品 流通デザイン公社
	プレキャンプ佐賀県招 致ガイド	キャンプ地ガイド	英、仏、西	A4 8	スポーツ課
	THE SPIRIT OF THE SAMURAI	海外キャンプ誘致プ ロモーション動画	英、西		スポーツ課
	Training Camps in SAGA	海外キャンプ誘致ガ イド	英	46 (A5両面)	スポーツ課
	STOP the Domestic Violence	D V 防止リーフレッ ト	英、中、韓、 タイ、タガロ グ	4	男女参画・女性の 活躍推進課
	九州国際重粒子線がん 治療センタープロジェ クト	プロジェクト紹介	英、韓、 中(簡・繁)	6	公益財団法人 佐賀国際重粒子線 がん治療財団
	九州佐賀国際空港ホー ムページ	九州佐賀国際空港に 関する情報を掲載	英、中、韓		空港課
	特別史跡 「吉野ヶ里遺跡」	吉野ヶ里遺跡紹介 リーフレット	英、韓、中	リーフレット	吉野ヶ里公園 管理センター
佐賀県吉野ヶ里遺跡 「北墳丘墓」	吉野ヶ里遺跡紹介 リーフレット	英、韓、中	リーフレット	吉野ヶ里公園 管理センター	

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
佐賀県	名護屋城博物館案内	施設案内	英、韓	2 (四つ折)	名護屋城博物館
	名護屋城跡探訪マップ	城跡マップ	英、韓	2 (四つ折)	名護屋城博物館
	名護屋城博物館展示案内	展示案内	英、韓	31	名護屋城博物館
	名護屋城博物館音声ガイドシステム	音声ガイド	英・韓・中 (簡・繁)		名護屋城博物館
	佐賀県立宇宙科学館	施設紹介	英、韓、 中(簡・繁)	リフレット	宇宙科学館
	佐賀城本丸歴史館館内イラストマップ	館内マップ	英、韓、 中(簡・繁)	A4 (三つ折)	佐賀城本丸歴史館
	-	館内案内音声ガイドシステム	英、韓、中		佐賀城本丸歴史館
	佐賀県窯業技術センター紹介	案内パンフレット	英	A4 10	窯業技術センター
	佐賀県立九州陶磁文化館	館案内パンフレット	英、韓、独、 中(簡・繁)	三つ折	九州陶磁文化館
	佐賀県立九州陶磁文化館	館案内パンフレット	英	A4 9	九州陶磁文化館
	佐賀県立九州陶磁文化館	図録「土と炎」 (販売用)	英	A4 31	九州陶磁文化館
	佐賀県立九州陶磁文化館	館内案内システム (タブレット)	英、韓、 中(簡・繁)		九州陶磁文化館
	佐賀県立博物館・ 佐賀県立美術館 案内	館内案内	英、中、韓	A3両面 (八つ折)	佐賀県立博物館 佐賀県立美術館
	唐津港 (Port of Karatsu)	唐津港(物流)紹介 (改訂)	英	A4 8	佐賀県唐津港 利用促進協議会
伊万里港 (Port of Imari)	伊万里港(国際コンテナ定期航路)紹介 (改訂)	英、中	A4 6	佐賀県伊万里港 振興会	

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
佐賀市	SAGA MAP	佐賀市の観光地図	英、韓 中(簡・繁) 日本語併記	A3	佐賀市観光振興課
	佐賀市大隈重信記念館	大隈重信記念館の紹介	英、韓、 中(簡・繁) 日本語併記	A4両面 (三つ折)	佐賀市観光振興課
	SAGA BALLOON MUSEUM	佐賀バルーン ミュージアムの紹介	英	A4両面 (三つ折)	佐賀市観光振興課
	佐賀バルーンミュージアム	佐賀バルーン ミュージアムの紹介	英、韓、 中(簡・繁) 日本語併記	観音折り	佐賀市観光振興課
	佐賀市歴史民俗館	歴史民俗館の紹介	英、韓、 中(簡・繁) 日本語併記	外6つ折り	佐賀市観光振興課
	柳町	佐賀市柳町散策 マップ	英 日本語併記	A3両面 (8つ折)	佐賀市観光振興課
	TAX FREE MAP	市内免税店の紹介	英、韓、中	外6つ折り	佐賀市商業振興課
	ラムサール条約湿地 東よか干潟	ラムサール条約湿地 東よか干潟の 紹介	英、韓、 中(簡・繁)	A5 内開き6ページ	佐賀市環境政策課
	SAGA CITY GUIDE MAP	佐賀市内の地図及 び 各種情報	英、韓、中	1	佐賀市国際交流協会
	メディカルハンドブック	医療関係のハンド ブック	英、韓、中	28	佐賀市国際交流協会
	佐賀城下ひなまつり	ひなまつりの紹介	英、韓、中	A4両面	(一社) 佐賀市観光協会
	SAGA MAP	佐賀市の観光地図	英、韓、 中(簡・繁) 日本語併記	A3	(一社) 佐賀市観光協会
	#SAGA_CITY	佐賀市観光案内パ ンフレット	中(簡・繁)	A4 (16ページ)	(一社) 佐賀市観光協会
	佐賀錦	佐賀錦の紹介	英、韓、中	A4両面 (三つ折)	佐賀錦振興協議会
	肥前通仙亭	肥前通仙亭の紹介	英、韓、中	A4両面 (三つ折)	高遊外壳茶翁 佐賀地域協議会
	EBISU GUIDE BOOK	恵比須の紹介	英、韓、中	B5 (15ページ)	恵比須DEまちづくり ネットワーク
	SAGA Internaitonal Balloon Fiesta (当日パンフレット)	バルーンフェスタ の紹介	英	A3両面 (二つ折)	熱気球大会佐賀運営 委員会

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
唐津市	唐津焼マップ	唐津焼の案内マップ	日、英	A2両面 (八つ折)	唐津市文化振興課
	九州オルレ唐津コースパンフレット	オルレコースの案内	日、日・韓併記	A3両面 (八つ折)	唐津市観光課
	A MAP OF Karatsu Town Walk	クルーズ観光客に配布する唐津市観光案内	日、英	A3両面 (二つ折)	唐津市みなと振興課
	Karatsu City Map	唐津市観光案内マップ	英、タイ、中(簡・繁)	A2両面 八つ折 観音開き	(一社) 唐津観光協会
	唐津観光案内マップ	唐津市観光案内マップ	日、英、韓、中(簡・繁)	A1両面 (八つ折)	(一社) 唐津観光協会
	唐津ウォーキングマップ	唐津市観光マップ	日、韓	A2両面 (四つ折)	(一社) 唐津観光協会
	唐津城	施設案内	英、韓、中(簡・繁) 日本語併記	1	(公財) 唐津市文化事業団
	曳山展示場	展示物の解説	英、韓、中(簡) 日本語併記	1	(公財) 唐津市文化事業団
	旧高取邸	館内用	英、韓、中(簡) 日本語併記	1	(公財) 唐津市文化事業団
	唐津くんち曳山説明	曳山の解説	日、英、韓、中(簡)	A5変形 (18ページ)	唐津ボランティアガイド
鳥栖市	2016鳥栖市勢要覧	市勢要覧	英、韓、中、独 (一部見出しのみ日本語と併記)	32	情報政策課
	How to dispose of garbage and natural resources	ゴミの出し方パンフレット	英	8	環境対策課
	鳥栖市地震防災マップ	防災マップ	英、中、韓	1	総務課
	図書館利用案内	施設案内	中	1	生涯学習課
	上下水道手続き	手続き案内	英	1(A5)	上下水道局
多久市	多久聖廟MAP 西溪公園MAP	多久聖廟周辺案内 西溪公園周辺案内	英、韓、中	A3両面 (二つ折)	商工観光課 多久市観光協会 公益財団法人 「孔子の里」

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
多久市	taku city sightseeing guide map	市内観光案内	英、韓、中	A3両面 四つ折観音開	商工観光課
	「龍孫の郷」肥前多久	多久城下散歩道	英、韓、中	B4 Z-CARD	商工観光課
伊万里市	旅のはじまり	観光案内リーフレット	英、韓、 中(簡・繁)	1(両面)	観光課
	旅伊万里	観光パンフレット	英、韓、 中(簡・繁)	22	観光課
	大川内山みて歩きマップ	大川内山窯元案内 地図	英、韓、 中(簡・繁)	1(両面)	観光課
武雄市	武雄ガイドブック	武雄市観光案内ガ イドパンフレット	英、韓、 中(簡・繁) タイ	B3中折入式 8分割	観光課
	九州オルレ武雄コース	ウォーキングマッ プ	韓	両面ジャバラ 4山折り	観光課
	武雄TAKEO.SPA	観光マップ	英、韓、 中(簡・繁)	A3両面	武雄市観光協会
	武雄の匠たち	体験プログラムパ ンフレット	英	A5	武雄市観光協会
鹿島市	鹿島佐賀 ようこそ鹿島へ	観光案内パンフ レット	英、韓、中 (簡・繁)、 タイ	A4両面 観音開き	商工観光課
	鹿島グルメマップ	市内グルメガイド	英	50ページ	商工観光課
	鹿島酒蔵ツーリズム GUIDE BOOK	酒蔵紹介	英	18ページ	商工観光課
神崎市	国の名勝 九年庵	九年庵リーフレット	英、中、台	A4両面 (三つ折)	商工観光課 神崎市観光協会
小城市	小城公園マップ	小城公園 観光案内地図	英、中	A3 (A4・2枚)	商工観光課
嬉野市	嬉野 ぶらりまっぷ	観光パンフレット	英、韓、中	A2 12面 屏風折り	うれしの温泉 観光課
	嬉野 ランチ&カフェマップ	観光案内	英、韓、中	14面 屏風折り	うれしの温泉 観光課
	嬉野 Happy Trip	観光パンフレット	英、韓、中	6面 屏風折り	うれしの温泉 観光課

団体名	タイトル	種類	使用言語	ページ数	担当部署
嬉野市	日本三大美肌の湯 佐賀・嬉野温泉 ご宿泊ガイド	観光パンフレット	英	両面 12面	うれしの温泉 観光課
	九州オルレ嬉野コース	ウォーキングマッ プ	韓	A4両面 (観音開き)	うれしの温泉 観光課
	広川原キャンプ場	キャンプ場パンフ レット	英、韓、中	A4両面 (三つ折)	農林課
	うれしの茶	うれしの茶につい ての解説	英、韓、中	A4両面 (観音開き)	うれしの茶 振興課
有田町	有田観光ガイドブック	有田観光案内地図 観光地の紹介	英、韓、 中(簡・ 繁)、タイ	14	商工観光課 有田観光協会
	有田散策マップ	有田観光案内地図	英、韓、 中(繁)	A3(片面)	商工観光課 有田観光協会
基山町	みんなで守ろう 交通ルールとくらしの ルール	カレンダー	英、中、タ イ、ベトナム	A3(片面)	まちづくり課 (まちづくり基金活用 団体 第7区自治会)
太良町	太良町Travel	観光パンフレット	英、韓、タイ 中(簡・繁)	12	企画商工課 商工観光係

3. 国際交流の推進

(1) 姉妹・友好提携交流

ア 姉妹友好提携について

姉妹友好提携

姉妹友好提携交流とは、国境を越えた都市と都市、学校と学校、あるいは団体と団体が、姉妹縁組みをすることにより、多様な分野で、厚みのある交流を進め、友好親善を深めると共に相互発展を図ることを目的としています。

姉妹都市交流は、第2次世界大戦後、戦争で荒廃したヨーロッパを救おうという機運がアメリカで高まり、ニューヨーク市とヨーク市のように、お互いに縁のある欧米の都市間に友好関係が結ばれたのが始まりとされています。

その後この運動は、幅広く国際親善、文化交流、相互理解をも含めるようになり世界的に普及発展しました。

「姉妹都市」と「友好都市」

「姉妹都市」と類似した用語として、「友好都市」が使われる場合があります。そもそも「姉妹都市」は英語の“Sister City”の訳語として使われるようになった言葉ですが、「姉妹」という言葉には上下があるということで、主に中国との交流において、互惠平等を尊重する立場から、「姉妹都市」の用語を敬遠して、「友好都市」という言葉を用いる場合が多くみられます。

提携の手続

提携のきっかけ

姉妹友好提携に至るきっかけや、相手方の選定については、一定の基準のようなものがあるわけではありません。過去の実例を見ても、その選定の理由は様々です。

歴史的結び付き

地理的・風土的な類似性

経済・技術交流

文化・スポーツの交流

各種人的交流

合意書への調印を急ぐことはなく、まず相互訪問や情報の交換等を通じてお互い相手を知り合うことです。その上で可能な交流分野を見極めながら、長期にわたる交流の見通しを持つことが重要で、この間の交流実績が息の長い交流の成否を決するといえます。

提携の手順

姉妹友好提携に至る手順についてもそのきっかけが様々であるように、様々な形態があります。一般的な手続の手順は次の通りです。

相手と市との各種交流の積み重ね及び情報の収集

姉妹都市提携の意向打診

交流の基本方針について相手方との協議

提携協議書の内容確定
合意書への署名・調印式
姉妹提携に基づく交流開始

提携を行う際、議会の議決または承認を必要とするかについては、法的にはこれを義務付ける規定はありません。しかし、姉妹友好提携は重要な政策決定であり、あらかじめ議会の承認を得て、手続きを進めた方が望ましいでしょう。

提携書の作り方

姉妹友好提携の手続きは、合意書の署名、調印という形式がとられるのが一般的です。合意を証する文書の名称は、提携書、盟約書、協定書、議定書、共同声明、コミュニケなど様々な用語が使われています。

提携書の内容

姉妹友好提携は、地方自治体あるいは各団体の自主的事業として行うものですから、合意書の内容については、自由に作成して構いません。一般的にはあまり詳細、具体的な表現はせず、ごく抽象的に友好親善・相互理解の増進を謳ったものが多いようです。交流を長続きさせるためにも、なるべく概括的、弾力的な対応ができる内容にしておいた方が良いと思われます。

交流の進め方

- ・ 姉妹友好提携を形式だけではない息の長いものとするためには、提携当初は行政が主導して交流を進めていきながらも、次第に民間レベルでの交流へと移行させていくことが重要です。
- ・ 友好親善交流のみならず、自らの地域、学校、団体や相手の地域、学校、団体の抱える諸問題を共に考え、協力して解決していこうという両地域の相互発展を図る交流に取り組むことが大切です。
- ・ 双方の経費の負担区分をはっきりさせると共に、できるだけ経費のかからない工夫をすることが重要です。

イ 全国の状況

(ア) 全国自治体別友好姉妹提携数

・ 都道府県	43 都道府県	162 組
・ 市町村	市・区	1,260 組
	町・村	303 組
	合計	1,725 組

(イ) 全国相手国別友好姉妹提携数

(平成30年3月31日現在) (単位:件)

地域名	国・地域名	都道府県	市 区	町 村	合 計
北米	アメリカ	25	355	71	451
	カナダ	2	42	27	71
中南米	コスタリカ		2		2
	ジャマイカ	1			1
	チリ		1		1
	パナマ		1		1
	パラグアイ		2		2
	ブラジル	11	35	11	57
	ペルー		1	3	4
	ボリビア	1			1
	メキシコ	3	5	3	11
	アイルランド		1		1
	欧州	イギリス	2	8	4
イタリア		5	25	7	37
ウクライナ			2		2
エストニア			1		1
オーストリア			27	5	32
オランダ			10	2	12
ギリシア			5	3	8
クロアチア			3		3
スイス		1	9	2	12
スウェーデン			2	3	5
スペイン		3	8		11
スロバキア				1	1
スロベニア			1		1
セルビア			1		1
チェコ			2	2	4
デンマーク			5	2	7
ドイツ		5	40	9	54
ノルウェー			2	1	3
ハンガリー			4	1	5
フィンランド			2	3	5
フランス		7	39	8	54
ブルガリア			1		1
ベラルーシ			1		1
ベルギー			8		8
ポーランド				1	1
ポルトガル			7		7
ラトビア			1	1	2
リトアニア		1		1	
ルーマニア		2	1	3	
ロシア	11	31	3	45	

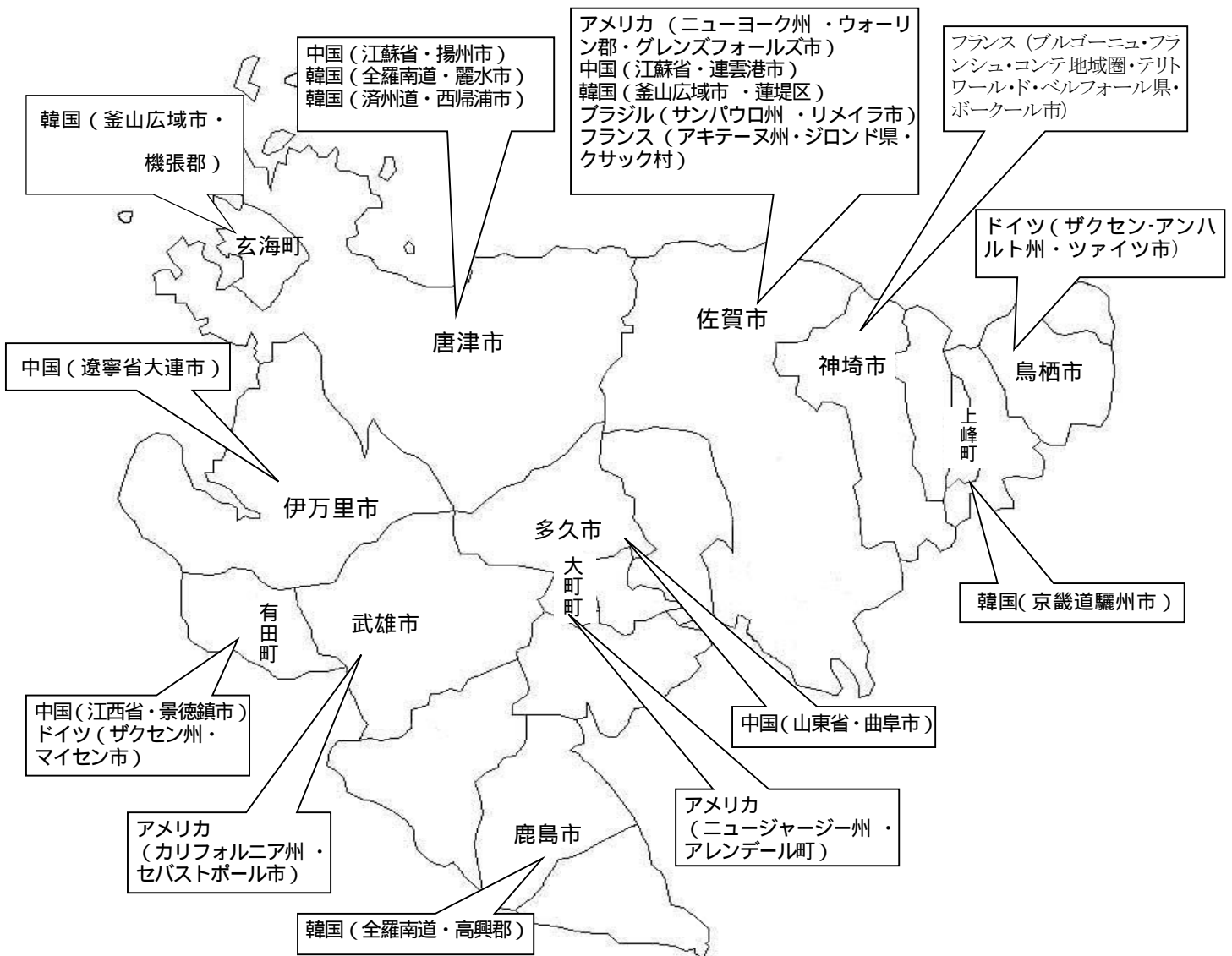
地域名	国・地域名	都道府県	市 区	町 村	合 計	
大洋州	オーストラリア	6	79	24	109	
	ニュージーランド		29	14	43	
	パプアニューギニア		1		1	
	パラオ	2			2	
	マーシャル諸島			1	1	
アジア	アラブ首長国連邦	1			1	
	イスラエル		1		1	
	インド	3	3		6	
	インドネシア	4	2	1	7	
	カンボジア		1	1	2	
	スリランカ		3		3	
	タイ	2	4		6	
	トルコ		5	2	7	
	ネパール		3	1	4	
	フィリピン	1	13	5	19	
	ブータン		1		1	
	ベトナム	2	1		3	
	マレーシア		2	1	3	
	モンゴル	2	5		7	
	韓国	19	116	27	162	
	台湾		17	10	27	
	中国	42	279	42	363	
	アフリカ	エジプト	1			1
		カメルーン		1		1
チュニジア			1		1	
合計		162	1,260	303	1,725	

□ 相手国・地域数 67か国・地域 (うち都道府県提携分 25か国)

ウ 佐賀県の状況

(ア) 相手国別友好姉妹提携一覧

相手国	佐賀県	市町											計	
		佐賀	唐津	鳥栖	多久	伊万里	武雄	鹿島	神埼	上峰	玄海	有田		大町
アメリカ		1					1						1	3
中国		1	1		1	1						1		5
韓国	1	1	2					1		1	1			7
フランス		1							1					2
ドイツ				1								1		2
ブラジル		1												1
計	1	5	3	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	20



(イ) 県の状況

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成29年度の主な交流状況
佐賀県	韓国 全羅南道 2011年1月25日	平成4年から日韓海峽沿岸県市道知事会議において関わりがあり、平成8年から職員の相互派遣による交流を開始し、同年には友好訪問団を派遣。これまで佐賀県から14名の職員を全羅南道に派遣し、全羅南道の職員を15名受入れている。こうした関係を踏まえ、幅広い分野での交流を目的として、友好交流協定を締結した。	朝鮮半島南西端に位置し、西は黄海に面している。入り組んだ地形に2,000余りの島々が存在する。温暖な気候で干潟があるなど自然が豊か。農業、カキや海草の海産物の生産が盛んである。	・佐賀県小学生サッカーチーム受入 小学生他44名(H29.5) ・全羅南道知事退任式派遣 職員2名(H29.5) ・莞島国際海藻類博覧会職員派遣 5名(H29.4) ・焼き物交流 職員5名(H29.5) ・ラグビー交流 選手等29名(H29.8) ・全羅南道公務員研修事業職員派遣 1名 ・佐賀県議会全羅南道訪問 県議10名(H29.9) ・国際水墨画交流展派遣 画家他11名(H29.9) ・韓国地方自治博覧会派遣 副知事他5名(H29.10) ・全羅南道知事権限代行来佐知事他4名(H29.11) ・さが桜マラソン選手団受入 全羅南道選手他4名(H30.3)
佐賀県 (参考)	*中国 遼寧省 2011年10月25日	平成7年から交流を開始。平成11年からは職員交流を開始し、佐賀県から8名の職員を遼寧省政府に派遣、遼寧省から12名の職員の受入を行っている。こうした取組みにより、両者間の強固な関係が構築されてきたことを受け、友好協力パートナーシップの確立に関する協定を締結した。	中国東北地域の南部に位置している。省都である瀋陽市は東北第1最大の都市であり、南部には港湾都市の大連市がある。主産業は重工業。	・さが桜マラソン選手団受入 選手3名(H30.3)
	*中国 貴州省 2012年2月13日	平成11年から交流を開始し、これまで佐賀県側から農業分野での技術協力を中心に行ってきた。平成24年からは職員交流を開始し、佐賀県から2名の職員を貴州省政府に派遣、貴州省から2名の職員の受入を行っている。また、訪問団の相互派遣を行うなどして両者間の信頼関係を築いてきたことを背景とし、さらなる交流発展を目的として、友好交流に関する覚書を交わした。	中国南部の内陸に位置し、平均海拔は1,100mで平地が少なく、独特の地形を成す。主産業は農業で、茅台酒(マオタイ酒)は全国8大名酒として有名。鉱工業も盛んである。	・貴州省からCIRを佐賀県に受入1名(H29.4~H30.3) ・青少年訪問団派遣10名(H29.8) ・日中韓地方政府三農フォーラム出席6名(H29.9) ・佐賀インターナショナルバルーンフェスタ中国貴州省民族舞踊団招聘19名(H29.10) ・さが桜マラソン選手団受入 選手3名、引率3名(H30.3)

*中国(遼寧省)については「友好パートナーシップの確立に関する協定」の締結であり、中国(貴州省)については、「友好交流に関する覚書」を交わしている。

(ウ) 市町の状況

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成29年度の主な交流状況
佐賀市	アメリカ ニューヨーク州 グレンズフォールズ市及びウォーリン郡 1988年9月23日	1986年(S61)年、佐賀インターナショナルバルーンフェスタに、アメリカ・グレンズフォールズ市のチームが参加したのを機に、バルーンが盛んであるという共通点に加えて、自然・歴史・文化面でも共通点が多いことから姉妹提携がなされた。	ニューヨーク州の北部に位置する、人口約7万人の美しいリゾート地	・教育交流訪問団受入25名(H29.6.28~7.6) ・教育交流訪問団派遣25名(H30.3.24~4.3)
	韓国 釜山広域市・蓮境区 1998年10月9日	民間のゲートボール交流が始まりで、10年来の交流が続いている。行政や青少年の交流の深まりを受けて、真の隣人としての友好と相互理解を期して姉妹都市の締結をした。	釜山広域市中央部に位置する人口約24万人の行政区。区庁、市庁がある。	・新栄小児童訪問団派遣支援21名(H29.9.16~9.18)

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成29年度の主な交流状況
佐賀市	中国 江蘇省・連雲港市 1998年11月27日	徐福がきっかけで、1988年以来相互交流を続けてきた。アジアの隣人としての市政レベルでの友好促進を目指して友好都市の締結をした。	江蘇省北部・黄海に面し、上海と青島の間接地に位置する港湾都市。徐福の生誕地とされている。人口460万余り。	・友好訪日団受入5名 (H29.8.23~8.25)
	ブラジル サンパウロ州 リメイラ市 1981年4月16日	双方に工場を持つ「味の素(株)」が仲介役となり、姉妹都市提携に至った。リメイラ市、I諸郡共に農業を中心とした商工都市であるという点から、お互いに多面的交流をすることにより、お互いの交流にも役立つということから姉妹都市提携した。	サンパウロ市の北方約250kmの内陸地にあり、人口28万人で主産業はオレンジ、コーヒーなどの農業が主。	
	フランス アキテーヌ州 ジロンド県 クサク村 1988年4月19日	良質なワインの産地として知られるフランスのクサク村と「どんぐり村」の開発により地域の活性化を図る三瀬村との姉妹都市提携がなされた。	フランス共和国ポルドー市の北西37km、ジロンド川沿いのメドック地方に広がるぶどう園地帯の真ん中に位置し、面積20km ² 、人口約1,200人、面積の約4割がぶどう園で、ワイン生産を中心とした農業が展開されている。	・友好親善訪問団受入10名 (H29.8.1~8.7)
唐津市	中国 江蘇省・揚州市 1982年2月22日	1972年の日中国交正常化以来、日中両国の友好促進に寄与するため、中国のいずれかの都市と友好関係を結ぶ計画がなされ、1978年の第1次から1981年の第4次まで、市、市議会、市民の各界代表を中国に派遣し、古き文化遺産と風光美の中にも生産都市としての跡跡を図りながら、今後一層の発展が期待される揚州市を選定し、友好都市締結に至った。	南京から長江に沿って100キロ下流にある人口約460万人の古都、鑑真和尚のゆかりの地。	・揚州市訪問団の唐津市視察及び友好締結35周年記念事業打合せに伴う受入 (H29.8.19~20) ・唐津市・揚州市友好締結35周年記念事業に伴う受入 (H29.10.24~25)
	韓国 全羅南道・麗水市 1982年3月5日	唐津市と麗水市は地理的にも密接な関係があり、昭和45年唐津ロータリークラブの姉妹結縁を皮切りに各種民間5団体が次々と姉妹結縁されたことにより、市民ぐるみの気運が高まり姉妹都市締結に至る。	韓国南海岸のほぼ中心に位置し、海上交通の拠点となっている美しい港町。人口約30万人。BIE認定2012麗水世界博覧会を開催。	・麗水市からの派遣職員受入1名 (H29.6.23~H30.6.21) ・麗水市へ職員派遣1名 (H29.6.30~H29.3.30) ・第51回麗水鎮南亀甲船祭りへの招請参加(H29.5.4~5.7) ・唐津市・麗水市姉妹都市締結35周年記念式典に伴う訪問(H29.9.26~9.28) ・麗水副市長代表団唐津くんち視察来唐に伴う受入(H29.11.1~11.4) ・麗水市屯徳洞住民自治委員訪問団の唐津市公民館運営研修に伴う受入(H29.11.24) ・麗水美術協会訪問団の美術交流協議に伴う受入(H29.11.24)
	韓国 済州特別自治道・西歸浦市 1994年9月14日	平成3年、西歸浦市が下水道建設の視察で唐津市を訪れたのが始まり。その後ハウスミカン施設、水産加工施設等視察や議員団の相互訪問で親善を深め合い、人口、農産業、観光など良く似た両市は姉妹都市締結に至る。	韓国西南端の済州島にある最南端の港町。国際的なリゾート地で人口15万8千人。	・西歸浦市からの派遣職員受入1名 (H29.2.6~12.27) ・西歸浦市からの派遣職員受入1名 (H30.2.22~12.21) ・日本姉妹都市ゴミ・交流業務担当者会議への招請参加(H29.5.22~5.25) ・西歸浦市職員の生活環境分野視察来唐に伴う受入(H29.5.30~5.31) ・西歸浦市里長訪問団のゴミ処理施設・サザエのつば焼き等視察来唐に伴う受入(H29.7.19~7.20) ・西歸浦市学生の九州オルレ教育旅行に伴う受入(H29.7.25) ・西歸浦市漁村組合訪問団のサザエのつば焼き施設視察来唐に伴う受入 (H29.8.25~8.26)

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成29年度の主な交流状況
唐津市				<ul style="list-style-type: none"> ・西歸浦をテーマとした個人旅行商品開発のための関係者招請に伴う渡韓（H29.8.25～8.27） ・西歸浦市代表団唐津くんち視察来唐に伴う受入（H29.11.2～11.4） ・第8回済州国際青少年フォーラムの招請に伴う参加（H29.11.2～11.6）
唐津市 (参考)	中国 大連市旅順口区 2004年4月27日	平成14年に唐津港関係者が旅順口区にポートセールスのため訪れたのがきっかけとなり、以降、経済・産業各分野の交流を中心とした活動を推進してきた両市は友好交流意向書締結に至る。	大連市の6つの区の1つで、遼東半島の最南端に位置し、自然の景観に恵まれ、観光地としても力を入れている。人口26万5千人。	
	アメリカ合衆国 グアム準州 2013年7月24日	平成24年1月から始まった唐津産石材のグアム輸出事業がきっかけとなり、以降、経済・教育・文化・スポーツ・観光などの広範な市民交流の推進に向けた友好交流意向書の締結に至る。	太平洋上にあるアメリカ合衆国の準州。人口18万5千人。年間116万人の観光客が訪れ、その収入の90%が日本。観光が主要経済となっている。	
鳥栖市	ドイツ ザクセン-アンハルト州・ツァイツ市) 友好交流都市協定 2012年5月18日	映画「月光の夏」のモデルとなった「フツベルのピアノ」をきっかけに、ドイツ国ツァイツ市との交流が始まり、ツァイツ市長をはじめとする公式訪問団5名が本市を訪れ、友好交流都市協定を締結した。(5.17～5.22)	ツァイツ市は、ザクセン-アンハルト州の南に位置し、人口約3万人。第2次世界大戦前は、乳母車やピアノの工場があり、また、東西ドイツ再統一以前は、中部ドイツの化学及び褐炭地域として栄えていた。現在は、整ったインフラ構造と交通の便によるツァイツ工業団地と南砂糖株式会社が地元経済での有力企業。	<ul style="list-style-type: none"> ・ツァイツ市1050年祭に副市長ほか11名を派遣。(H29.6.7～6.13) ・鳥栖市の学生7名と引率者2名を派遣。ホームステイの実施(H29.7.23～8.7)
多久市	中国 山東省・曲阜市 1993年11月23日	多久市は、儒学を学んだ多久邑主・多久茂文が1708年に孔子廟（現在呼称多久聖廟）を完成させた。孔子の誕生地である曲阜市との交流を図るため、1984年から市、市議会、市日中友好協会、市民の各界代表を中国に派遣し、文化交流を図るため、両市の友好都市締結に至った。	山東省南部に位置し、孔子の生まれ故郷とされる。人口61万人の都市。孔子を祭った孔廟や孔子一族の墓地である孔林などがある。	
伊万里市	中国 遼寧省・大連市 2007年5月26日	1987年の訪問を契機に代表団、友好訪問団等の相互訪問をはじめ、行政、水産、農業分野等の研修生受入などの交流を続けている。交流20周年の節目にあたり友好交流・協力関係のますますの強化を申し合わせ友好交流都市の締結をした。	遼東半島の南端に位置し中国東北部最大の港湾を有する。人口約600万人。	<ul style="list-style-type: none"> ・中国大連市より公務研修生1名(H28.10.5～H29.9.28) ・伊万里市・大連市友好交流30周年を記念し、市民ランナー4名が大連市国際マラソンに参加。(H29.5.11～5.14) ・市長を団長とした市民60名の大連市友好交流訪問団を大連市に派遣。大連市アカシア祭りウォーキング大会、中日観光大連ハイレベルフォーラムに参加。(H29.5.20～5.24) ・日中国交正常化45周年事業「日中友好交流都市中学生卓球交流大会」に市内の中学生2名と伊万里市日中友好協会会員等4名を派遣。(H29.8.3～8.8) ・伊万里市内の中学生16名を大連市へ派遣。日系企業を視察、大連市第九中学校とのホームステイ交流。(H29.11.23～11.26) ・大連市外事弁公室代表団一行6名が友好交流のため来訪。(H29.4.5～4.6) ・大連市訪問団(温雪瓊副市長一行)及び大連市少年宮訪問団(児童47名)が来訪。大連市少年宮と市内の小学生在が大川内山での絵付け体験、ニュースポ-

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成29年度の主な交流状況
伊万里市				ツ、うちわ作り等を通して交流。 (H29.7.30~8.1) ・大連市の市民ランナー3名が伊万里ハーフマラソン大会に参加。(H30.1.6~1.9)
武雄市	アメリカ カリフォルニア州 セバストポール市 1985年3月27日	「地球市民の会」古賀武夫氏とセバストポール市のウェンディ・グロイド氏(女性)との交流があり、その中で交流親善の話があり、似通った都市として旧山内町が選ばれ締結に至った。合併後も姉妹都市提携し、継続して交流を行っている。	カリフォルニア州の北東部に位置する人口7千人余りの市、気候は温暖でりんご・ブドウの産地として有名である。	・たけおワールドフレンズ(22名)がセバストポールからの派遣団を受入。ホームステイを実施(H30.3.23~4.1)
鹿島市	韓国 全羅南道・高興郡 1997年1月22日	鹿島市と高興郡は、同じ干潟を持つ縁で、1988年から「鹿島ガタリンピック」を通して毎年交流を重ね、友好結縁締結に至った。	高興郡は人口約7万人。自然の観光資源を活かした風光明媚な田園地域で、産業面では、ゆず、にんにく、キウイ、米、海苔、カキ、アゲマキなどの農水産業が盛んであり、観光面では多島海海上国立公園が有名。韓国の宇宙センターが建設されている。	・高興郡交流団13名が鹿島ガタリンピックおよび鹿島市・高興郡友好結縁20周年記念式典参加に伴う訪日(H29.6.9~6.12) ・鹿島市交流団14名が第43回高興郡民の日式典参加に伴う訪韓(H29.10.31~11.2) ・鹿島市交流団3名が高興郡新庁舎開庁式参加に伴う訪韓(H30.3.5~3.7)
神崎市	フランス ブルゴーニュ・フランシュ・コンテ地域 圏・テリトワール・ド・ペルフォール県 ポークール市 1996年10月27日	1936年フランスの飛行家アンドレ・ジャビー氏が脊振山中に墜落し、村民が救出したことから交流が始まり、1995年6月には、ポークール市を友好訪問、そして1996年10月27日に友好姉妹都市の提携を結んだ。	フランス東部のジュラ山脈の麓(標高500m)に位置する人口約5,000人、面積5km ² の市。近隣に自動車企業(プジョー)の工場がありベッドタウンとして繁栄している。	・友好姉妹都市の関係にある、フランス共和国・ポークール市の小学校と市内小学校による学校交流(作品の交換等)
上峰町	韓国 京畿道驪州郡 2004年11月11日 (再締結) 京畿道驪州市 2013年9月24日	日韓剣道文化交流事業を通して知り合った驪州郡出身の大学教授に驪州郡を紹介していただき、2001年から行政及び議会による相互交流を行い、親善を深めてきた。上峰中学校と大神中学校による学校間交流を推進し、親密な関係を築き上げ、2004年8月に姉妹校を締結した。数々の交流事業を重ね、相互理解と友好関係を深め2004年11月に友好都市締結。また、驪州郡防驪州市へ昇格したことを記念し、友好都市としての交流・協力をさらに促進させていくために交流増進協定を締結。	京畿道の南東部に位置し、人口約10万5千人、面積608km ² 。美しい自然と広い平野、文化芸術が調和をなして発展してきた都市。陶磁器、米、さつまいも、梨、椎茸等の産地として韓国国内でも有名。	・上峰中学校と姉妹校協定を締結している驪州市大神中・高等学校の生徒18名が上峰中学校を訪問。(H29.5.18~5.20) ・驪州市訪問団10名が上峰町を訪問。(H29.10.31~11.3)
玄海町	韓国釜山広域市 機張郡 2009年7月25日	10年続いた民間交流を通じて、これから多岐にわたり交流していこうということで友好交流協定を締結した。	韓国南東部に位置する海沿いの街。人口10万で水産資源、観光資源が豊富。	【民間団体の交流事業】 ・韓国釜山広域市機張郡訪問(H29.4.22~4.24) ・韓国釜山広域市機張郡訪問団受入(H29.11.21~11.22)
有田町	ドイツ連邦共和国 ザクセン州 マイセン市 1979年2月9日 (再調印) 1991年9月21日 2006年9月23日	マイセン市と有田町は、今日まで両国において代表的な磁器の産地として繁栄してきた。この両市が友好を深め、陶磁器文化の交流、技術の交流を通じて国際的な親善を期待し、姉妹都市の盟約を締結。また、統一ドイツ後の新しい体制のもと、新たな出発として更に友好交流を深めるために、1991年に姉妹締結。そして有田町と西有田町が合併し新有田町が発足した2006年に再調印した。	ザクセン州のエルベ川沿いに位置し、首都ベルリンより南へ約140kmの距離にある。ヨーロッパ陶磁器発祥の地としてその名は世界的に知られており、高級磁器の代名詞にもなっている。気候は温暖であり、12世紀初頭よりブドウ栽培が盛んでマイセンワインの産地としても有名な所である。マイセン周辺は、大聖堂など有名な建造物も多く、文化財保護世帯となっており、画家や写真家等の	・マイセン市へ2名視察訪問(H29.9) 【民間団体の交流事業】 ・マイセン市より青少年訪問団17名が有田町を訪問(H29.10) ・有田町より青少年訪問団10名がマイセン市を訪問(H30.3)

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成29年度の主な交流状況
有田町			恰好の対象となるほど美しく、緑豊かな町である。	
	中国 江西省・景德鎮市 1996年8月28日	景德鎮市と有田町については、磁器の産地として世界的に知られており、歴史的にも深いつながりがある。この両市が友好交流と経済、貿易従来をさらに強化し、科学技術、陶磁、文化、教育などの各分野の交流と協力を積極的に展開することを期待し、友好都市の盟約を締結する。	中国江西省の東北部に位置し、千数百年の陶磁器の歴史を持つ陶磁器の街、即ち陶都として知られている。14世紀初めに染付技法が景德鎮で完成され、景德鎮は世界の陶磁器の中心産地へと急成長を遂げた。	・景德鎮市へ2名視察訪問（H29.10）
大町町	アメリカ ニュージャージー州 アレンドール町 1996年8月2日	平成3年7月にアレンドール町出身のダニエル・モス氏がALTとして大町中学校に着任したことから、中・高校生のアレンドール町派遣が始まり、平成8年8月に友好都市提携の締結に至った。	アレンドール町は、ニュージャージー州にありニューヨークとは車で約1時間の距離。人口約6,000人、面積7.68 km ² で、緑豊かな清楚な住宅地である。	

（注）提携先は姉妹都市・友好都市以外を含む。

（エ）その他友好団体

自治体名	提携先・提携日	提携の経緯	提携先の概要	平成28年度の主な交流状況
鹿島市	韓国 釜山外国語大学 2003年10月30日	鹿島市と釜山外国語大学との交流は、第8回（1992）「鹿島ガタリンピック」に学生が参加したことに始まり、これまで、延べ800名以上の学生らが鹿島を訪れている。今後も相互の地域社会に貢献する交流を継続していくことを確認するため「官学国際交流協定」を締結した。	釜山広域市にある、4年生総合大学。1982年開校。外国語と外国文化に精通した人材を養成することにより、国際社会に貢献する学生を輩出することを目的とする。	・第33回鹿島ガタリンピック参加に伴う訪日。釜山外国語大学教授、学生32名が訪問（H29.6.9～H29.6.12） ・鹿島市交流団14名が表敬訪問（H29.10.31～11.2）
有田町	韓国 （社）韓国陶磁文化協会 1996年8月28日 （再訪問） 2007年5月3日	（社）韓国陶磁器文化協会と有田については、有田陶器市期間中に開催される陶祖李参平氏を讃える陶祖祭への参拝や、韓国忠清南道鷲龍山国立公園鷄龍寺に建立した李参平顕彰碑との関わり、協会の金会長が有田町の名誉町民であるなど深い交流をしており、今後とも陶磁器文化交流と日韓友好親善増進に相互協力するため友好団体の盟約を締結。		・「陶祖祭」に韓国陶磁文化協会長ら関係者参列（H29.5.4）

エ 教育機関等の姉妹友好等提携交流

(ア) 大学・短期大学

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
佐賀大学 (大学間)	アメリカ合衆国	アンダーソン大学	S53.12.27
	大韓民国	全南大学校	H3.3.8
	タイ王国	カセサート大学	H8.12.6
	アメリカ合衆国	カリフォルニア大学デイビス校	H9.7.24
	大韓民国	安東大学校	H9.12.11
	中華人民共和国	華東師範大学	H10.5.15
	英国	グラスゴー大学	H10.7.17
	タイ王国	コンケン大学	H10.9.28
	中華人民共和国	北京工業大学	H10.12.8
	大韓民国	国民大学校	H11.3.29
	中華人民共和国	首都師範大学	H11.4.12
	スリランカ民主社会主義共和国	ペラデニヤ大学	H11.11.30
	大韓民国	釜山大学校	H12.2.2
	大韓民国	木浦大学校	H12.8.3
	中華人民共和国	中国農業大学	H12.10.17
	ベトナム社会主義共和国	ハノイ農業大学	H12.12.7
	インドネシア共和国	ハサヌディン大学	H13.3.9
	バングラデシュ人民共和国	バングラデシュ工科大学	H13.4.27
	台湾	輔仁カトリック大学	H13.8.9
	ルーマニア	アレクサンドルイオンクザ大学	H13.9.11
	インドネシア共和国	ガジャマダ大学	H13.11.1
	中華人民共和国	遼寧師範大学	H13.11.6
	中華人民共和国	ハルビン工業大学	H13.11.12
	大韓民国	釜慶大学校	H14.4.18
	大韓民国	済州大学校	H14.8.9
	インドネシア共和国	サムラツランギ大学	H14.9.13
	大韓民国	韓国技術教育大学	H14.10.8
	中華人民共和国	華東理工大学	H15.4.1
	バングラデシュ人民共和国	ラジャヒ大学	H15.5.18
	フランス共和国	ブルゴーニュ大学	H15.7.1
	インドネシア共和国	リアウイスラム大学	H15.7.2
	オーストラリア	ラトロープ大学	H15.7.31
	バングラデシュ人民共和国	バングラデシュ農科大学	H16.8.28
	中華人民共和国	浙江理工大学	H16.9.6
	台湾	国立政治大学	H16.9.13
	台湾	国立中興大学	H16.9.14
	フランス共和国	オルレアン大学	H17.3.31
	大韓民国	光州女子大学校	H17.7.14
	カナダ	マニトバ大学	H17.8.8
	タイ王国	チェンマイ大学	H17.9.9
	台湾	国立台北大学	H17.10.6
ポーランド共和国	ルブリン工科大学	H18.3.3	
台湾	国立東華大学	H18.6.30	
大韓民国	培材大学校	H18.7.11	
ベトナム社会主義共和国	ノンラム大学	H18.11.9	
パキスタン・イスラム共和国	コハート科学技術大学	H19.4.27	
大韓民国	牧園大学校	H19.5.16	
インドネシア共和国	スリビジャヤ大学	H19.6.11	
大韓民国	大邱大学校	H19.6.26	
台湾	元培科技大学	H19.7.6	
ベトナム社会主義共和国	ハノイ国家大学外国語大学	H19.8.6	
カンボジア王国	プノンペン王立法経大学	H19.8.24	

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
佐賀大学 (大学間)	中華人民共和国	西南政法大学	H19.10.31
	パキスタン・イスラム共和国	ペシャワール大学	H19.11.10
	カンボジア王国	王立農業大学	H19.11.21
	タイ王国	アジア工科大学	H19.11.21
	中華人民共和国	浙江科技大学	H19.12.25
	タイ王国	モンクット王ラカバン工科大学	H20.1.3
	アメリカ合衆国	パシフィック大学	H20.2.29
	中華人民共和国	遼寧大学	H20.4.30
	台湾	国立連合大学	H20.8.8
	インドネシア共和国	ダルマプルサダ大学	H21.9.4
	台湾	文藻外語学院	H21.9.4
	ラオス	ラオス国立大学	H22.1.26
	カナダ	ウィルフリッド・ロリエ大学	H22.7.13
	バングラデシュ人民共和国	ジャハンギールナガール大学	H22.7.26
	バングラデシュ人民共和国	チッタゴン工科大学	H22.9.30
	ベトナム社会主義共和国	ビン大学	H23.2.21
	インドネシア共和国	セベラスマレット大学	H23.3.28
	インドネシア共和国	ジュアングダ大学	H23.7.15
	インドネシア共和国	マラン州立大学	H23.12.7
	インドネシア共和国	ボゴール農業大学	H23.12.27
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校自然科学大学	H24.3.13
	ベトナム社会主義共和国	ベトナム国家大学ハノイ校工科大学	H24.3.13
	アメリカ合衆国	スリッパリーロック大学	H24.4.4
	オーストラリア連邦	シドニー工科大学	H24.8.28
	カンボジア王国	王立プノンペン大学	H24.11.30
	タイ王国	タマサート大学	H25.2.13
	バングラディッシュ人民共和国	ダッカ工科大学	H25.2.20
	ベトナム社会主義共和国	アンザン大学	H25.3.11
	リトアニア共和国	ヴィタウタスマグヌス大学	H25.8.26
	フィンランド共和国	ユバスキュラ大学	H25.11.8
	インドネシア共和国	ジャカルタ国立大学	H26.2.11
	インドネシア共和国	ブラウィジャヤ大学	H26.4.14
	ベトナム社会主義共和国	カントー大学	H28.8.21
オランダ王国	デザインアカデミーアイントホーフェン	H28.10.19	
ドイツ連邦共和国	ブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学ハレ	H29.3.30	
フランス共和国	バイオ産業大学	H29.11.6	
佐賀大学 (学部間)	*教育学部		
	フランス共和国	NEMO国際共同研究グループ	H14.7.1
	*経済学部		
	中華人民共和国	中国社会科学院 世界経済政治研究所	H6.6.30
	*医学部		
	中華人民共和国	南昌大学 医学院	H5.2.22
	中華人民共和国	大連医科大学	H10.10.29
	中華人民共和国	第四軍医大学	H12.10.31
	アメリカ合衆国	ハワイ大学 医学部	H14.2.14
	中華人民共和国	浙江中医薬大学	H28.9.22
	*理工学部		
	英国	グラスゴー大学	H5.6.28
	タイ王国	カセサート大学 工学部	H8.12.2
	スリランカ民主社会主義共和国	モラツワ大学	H8.12.13
	英国	ベルファーストクイーンズ大学	H9.12.16
	英国	イースト・アングリア大学工学部	H10.1.22
	中華人民共和国	中国科学院 長春応用化学研究所	H10.6.23
チェコ共和国	プラハ化学技術大学	H10.7.20	

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日	
佐賀大学 (学部間)	スロバキア共和国	コメニウス大学 自然科学部	H11.6.17	
	スロバキア共和国	コメニウス大学 数学物理学部	H11.6.17	
	ポーランド共和国	ルブリン工科大学 衛生土木工学部	H11.10.5	
	バングラデシュ人民共和国	クルナエ工業技術大学	H12.3.1	
	大韓民国	慶北大学校 師範大学数学教育科	H18.10.30	
	カナダ	コンコルディア大学 工学情報科学部	H13.7.27	
	中華人民共和国	武漢大学 電気工程学院	H14.11.27	
	ネパール王国	トリブバン大学 理工学部	H15.3.2	
	大韓民国	大邱カトリック大学校自然科学大学・工科大学	H15.3.21	
	タイ王国	チュラロンコン大学 理学部	H15.3.28	
	バングラデシュ人民共和国	ジャフジャラル大学 応用科学技術学部	H15.5.25	
	中華人民共和国	浙江大学 建築工程学院	H15.9.11	
	インドネシア共和国	スラバヤ工科大学	H16.6.1	
	中華人民共和国	西北大学 化学学部	H16.12.24	
	大韓民国	延世大学理学部	H17.4.11	
	中華人民共和国	清華大学 理学院	H18.3.22	
	大韓民国	高神大学校 自然科学大学	H19.11.23	
	中華人民共和国	武漢大学数学与統計学院	H21.12.24	
	タイ王国	スラナリー工科大学 工学部	H25.2.19	
	インドネシア共和国	マラン国立ポリテクニクス	H25.11.29	
	ドイツ連邦共和国	ドレスデン工科大学 科学部	H27.3.27	
	中華人民共和国	同済大学土木工程学院	H27.5.7	
	ミャンマー	ヤンゴン工科大学	H27.6.22	
	大韓民国	韓国交通大学建築交通学部	H27.9.15	
	マレーシア	トゥン・フセイン・オン大学	H27.12.9	
	インドネシア共和国	ランブング・マンクラット大学	H28.1.20	
	台湾	国立勤益科技大学工学部	H28.2.22	
	フランス共和国	リール第1大学	H28.12.8	
	中華人民共和国	温州大学建築工程学院	H28.9.12	
	中華人民共和国	蘇州大学 材料与化学化工学部	H30.1.30	
	ベトナム社会主義共和国	チュイロイ大学	H30.3.7	
	*工学系研究科			
	中華人民共和国	中国科学院 長春応用化学研究所		H10.6.23
	*農学部			
	大韓民国	全南大学校 農科大学		S62.4.27
	タイ王国	コンケン大学 農学部		S63.6.29
	マレーシア	マレーシアプトラ大学 農学部		H1.3.16
	インドネシア共和国	ガジャマダ大学 農学部		H6.9.20
	タイ王国	カセサート大学 農学部、農工学部、理学部、工学部		H7.6.7
	カナダ	セントメリーズ大学 科学部		H8.7.23
	マレーシア	マレーシア科学大学 生物科学部		H8.8.7
	大韓民国	済州大学校 農科大学		H9.6.16
	大韓民国	木浦大学校 食品産業技術研究センター		H9.8.28
	大韓民国	牧園大学校 テクノ科学大学		H17.12.1
	タイ王国	チュラロンコン大学 理学部		H17.12.1
	ベトナム社会主義共和国	カントー大学農村開発学部		H27.3.16
	中華人民共和国	温州大学 生命環境科学学部		H28.9.12
	*農学研究科			
	英国	インペリアルカレッジロンドン大学生物学科		H5.7.26
	*海洋エネルギー研究センター			
	大韓民国	釜慶大学校 新環境先端エネルギー機械研究センター		H16.9.17
	マレーシア	マレーシア工科大学海洋温度差エネルギー研究センター		H26.2.20
	中華人民共和国	大連理工大学海洋科学技術学院		H27.1.21

学 校 名	相 手 国 名	提 携 先	提携年月日
	*産学・地域連携機構		
	中華人民共和国	上海交通大学 高度技術企業化室	H13.8.15
	*シンクロトロン光応用研究センター		
	中華人民共和国	上海交通大学 複合材料研究所	H14.4.1
	大韓民国	浦項工科大学校 浦項加速器研究所	H18.3.6
	英国	リバプール大学 物理学教室	H18.4.1
	ロシア連邦	ロシア研究センタークリャトフ研究所 クリャトフシンクロトロン放射光及び ナノテクノロジー研究センター	H22.9.9
	中華人民共和国	上海応用物理研 究所上海シンクロトロン光施設	H23.4.6
	*低平地沿岸海域研究センター		
	オーストラリア連邦	シドニー大学地盤工学研究センター	H16.06.21
	中華人民共和国	同済大学土木行程学院地盤工学科	H16.7.18
	中華人民共和国	上海交通大学 土木工学科	H18.7.7
	大韓民国	ソウル国立大学海洋研究所	H19.1.18
	*国際交流推進センター		
	台湾	文藻外語学院 日本語学科	H20.3.17
西九州大学	アメリカ合衆国	アラスカ大学	H22.8.25
西九州大学短期大学部	アメリカ合衆国	ニューヨーク州立大学アディロンダック学	H22.11.23
	大韓民国	モコン大学	H22.12.14
	大韓民国	大田科学技術大学	H23.10.7
	タイ王国	ブラパー大学	H24.8.27
	台湾	国立宜蘭大学	H24.11.7
	台湾	元培医事科技大学	H24.11.8
	スロベニア	リュブリャナ大学	H25.8.5
	大韓民国	社会福祉法人 蓮花村	H25.9.24
	台湾	義守大学	H25.10.11
	中華人民共和国	安徽三聯学院	H27.3.23
	中華人民共和国	廈門(アモイ)理工学院	H27.6.23
	大韓民国	建国大学グローバルキャンパス	H27.6.26
	ベトナム	ハノイ大学	H29.9.12
九州龍谷短期大学 * 大学間	大韓民国	善隣大学	H17.3.25
	大韓民国	釜山女子大学	H19.3.6
	中華人民共和国	凱里学院	H20.5.8
	中華人民共和国	貴州民族学院	H20.5.9
	中華人民共和国	盤錦職業技術学院	H20.7.12
	大韓民国	東義科学大学	H23.7.25
	大韓民国	釜山経商大学	H23.11.9
	中華人民共和国	遼寧師範大学国際教育学院	H24.12.17
	中華人民共和国	大連大学日本語言文化学院	H25.5.14
佐賀県立有田窯業大学校	ドイツ	ハレ芸術デザイン大学	H17.5.16
佐賀女子短期大学 * 大学間	アメリカ合衆国	アディロンダックコミュニティカレッジ	H8.8.9
	アメリカ合衆国	ウィスコンシン州立大学リバーフォールズ校	H10.12.18
	大韓民国	慶州大学校	H11.11.12
	中華人民共和国	南通農業職業技術学院	H15.10.26
	中華人民共和国	連雲港職業技術学院	H17.6.29
	英国	グロスタシャーカレッジ	H20.7.13
	大韓民国	蔚山科学大学	H22.1.15
	大韓民国	釜山外国語大学	H27.5.13
	中華人民共和国	江西外語外貿職業学院	H27.6.1
	アメリカ合衆国	ハワイ大学マウイ校	H27.8.11
	大韓民国	培林大学	H27.10.14
	大韓民国	翰林聖心大学	H29.4.21
	大韓民国	金浦大学	H29.6.13

(イ) 高等学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	H29年度の交流状況
唐津商業高等学校	2012(H24)年7月22日 麗水情報科学高等学校 (韓国 全羅南道)	2012年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に、国際交流協約書を締結した。	○本校からの訪問は、社会情勢等から中止した。 ○10月26日～27日 唐津市内観光、調理実習や授業体験、部活動体験等を通して交流を深めた。
佐賀農業高等学校	2014(H26)年8月 全南生命科学高等学校 (韓国 全羅南道)	2012年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、2014年度、国際交流協定締結に至った。	○10月31日～11月2日(交流日:11月1日) 生徒2名、職員2名が渡航。歓迎会や農場見学、生徒交流を通して親睦を深めた。 ○10月17日 生徒21名、職員5名を受入。和太鼓の披露、クッキー・トピアリー作り、簡単な農業実験等を通して交流を深めた。
嬉野高等学校	2014(H26)年5月 第一中東職業技術専門学校 (中国 遼寧省)	2013年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。2回目の訪問で、友好交流に関する覚書を締結した。	10月17日～10月20日(交流日:10月19日) 生徒5名と職員3名が渡航し、授業体験や夕食交流会を通して親睦を深めた。
牛津高等学校	2013(H25)年12月 リセ オテルリ (フランス)	生徒のフランスへの留学先として関係機関より紹介された。	
	2015(H27)年12月 上海現代職業技術学校 (中国 上海市)	2012年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、2015年度、国際交流協定締結に至った。	
佐賀工業高等学校	2015(H27)年10月 順天(スンチョン)工業高等学校 (韓国 全羅南道)	2013年度より、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、2015年度、国際交流協約を締結した。	10月25日 生徒25名(機械科6名、自動車科2名、電気科5名、化学工業科4名、土木科4名、建築科4名)、職員5名を受入。歓迎セレモニー、合同実習(機械科、電子情報科、建築科)、ランチ交流、スポーツ交流(サッカー)等を通して交流を深めた。
杵島商業高等学校	2015(H27)年12月23日 順天青岩(チョンアム)高等学校 (韓国 全羅南道)	2013年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を続ける中で3度目の訪問の際に国際交流協約書を締結した。	10月31日～11月2日(交流日11月1日) 生徒10名、引率3名が相手校を訪問。両校の出し物、パートナーとの制作活動や給食体験、韓国での礼儀作法講座などを通して交流を行った。
唐津西高等学校	2017(H29)年9月21日 貴州師範大学附属中学 (中国 貴州省)	2014年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、2016年度、国際交流協定締結に至った。	9月21日～24日 渡航人数:生徒10名、職員3名 交流内容:歓迎セレモニー、交流活動(学校紹介・出し物)、授業体験、ホームステイ
唐津南高等学校	2016(H28)年9月29日 三重高級商工職業学校 (台湾)	2015年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。相互交流を続ける中で、2016年度、国際交流協定締結に至った。	11月20日～22日 生徒10名と教職員3名が渡航し、グループ交流を通して、親睦を深めた。 ○歓迎セレモニー ・両校校長挨拶、両校学校紹介 ・生徒による出し物(中国語での唐津紹介) ・記念品交換、中国語による自己紹介 ○生徒交流 ・プレゼント交換、グループ交流、出し物披露 ・昼食会
佐賀東高等学校	1990(H2)年11月17日 クイーンズベリー高校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	6月28日～7月6日 高校生10名、引率3名受け入れ 本校生徒・職員宅でのホームステイ、学校紹介、意見交換会、異文化体験
佐賀北高等学校	1992(H4)年3月 グレンズフォールズ高校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	3月(春季休業中) 1年生1名がグレンズフォールズ市でホームステイを行った。
佐賀商業高等学校	1995(H7)年7月4日 ハードリー・ルザン高校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	3月24日～4月3日 グレンズフォールズ市に生徒5名を派遣。 現地高校への訪問、ホームステイを体験。
	2016(H28)年11月1日 筏橋商業高等学校 (韓国 全羅南道)	2014年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。3年間相互交流を続ける中で、2016年度、交流協約書を締結した。	○10月24日～10月27日 渡航人数:生徒12名、引率3名 交流内容:歓迎セレモニー、授業交流、韓国文化体験、交流夕食会 ○10月31日 受入人数:生徒15名、引率3名 交流内容:歓迎セレモニー、授業交流、ランチ交流
佐賀県立太良高等学校	2018(H30)年3月7日 台湾国立成功商業水産職業学校 (台湾 台東縣)	2016年度に「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。2017年度にかけて行き来をした後、本校2度目の訪問後に交流協約書を締結した。	○4月25日(火) 受入人数:生徒16名・引率4名 交流内容:歓迎セレモニー、授業体験、昼食交流、部活動体験、記念撮影 ○10月24日(火)～27日(金) 渡航人数:生徒12名・引率3名 交流内容:全体交流会、授業交流、昼食交流、学校外活動交流

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	H29年度の交流状況
北陵高等学校	1990(H2)年11月17日 サザンアディロンダック職業訓練学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	H29年度は交流実績なし。
龍谷高等学校	1998(H10)年3月27日 レイクジョージ高校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
有田工業高等学校	2005(H17)年8月2日 韓国陶芸高等学校	有田焼の祖とされる李参平は半島出身でもあり、日韓の陶芸を学ぶ高校生同士が交流することにより技術の向上を図る。	
唐津青翔高等学校	2008(H20)年1月14日 釜山外国語大学校 (韓国)	玄海町国際交流協会の活動を通じ、本校と釜山外国語大学校との交流が提案され、九州で初となる大学・高校間の姉妹締結協定が調印された。	7月下旬 釜山外国語大学から日本語学科学生20名 大学職員2名が来校。
佐賀学園高等学校	1981(S56)年4月1日 永登浦(ソンドンポ)工業高校 (韓国 ソウル特別市)	佐賀新聞社の紹介により締結	現在は交流を行っていない。
佐賀女子高等学校	2002(H14)年1月11日 善徳(ソンドク)女子高校 (韓国 慶州(キョンジュ)市)	佐賀女子短大の提携先である慶州大学から、同じ慶州市の善徳女子高校が本校との交流を希望されていると伝えられ、2001年3月に職員を派遣し視察。7月に善徳女子高校より来校され、提携協定を結ぶ予定であったが、教科書問題等で延期。2002年1月に来校。提携校協定を結ぶ。	8月7日(月)～10日(木) 善徳女子高校より、生徒20名・引率3名が来佐賀された。校舎内での和食の調理実習・浴衣の着付け体験を実施する。その後神野公園(隔林亭)にて抹茶体験を行う。交流会後、生徒達はホームステイする。本校生徒にも有意義な時間を過ごすことができた。
東明館高等学校	2015年(H27)年4月27日 信男教育学園上海文来高等学校国際部中日班 (中国 上海市)	2014(H26)年1月20日佐賀県国際・観光部おもてなし課から依頼があり文化交流会を実施。文化交流会をきっかけに本校への編入学に関する協定を締結。	

(ウ) 中学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	H29年度の交流状況
佐賀県立唐津東中学校	2017(H29)年11月6日 董玉娣中学校(香港)	2013年より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加した。29年度に交流5年目を迎え、11月に学校訪問を行った際に、友好協定を締結した。	11月5日～7日 交流日：11月6日 渡航人数：生徒11名(中学3年生)、校長1名、職員2名 交流内容：学校施設見学、学校紹介、日本文化の紹介、共同制作、学校周辺散策等
佐賀県立武雄青陵中学校	2015(H27)年3月4日 麗水華陽(ファヤン)中学校 (韓国 全羅南道)	2014年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加。相手校の受入に引き続き、同年度内に相手校を初めて訪問した際、協定締結を行った。	
神崎市立神崎中学校	2016(H28)11月15日 朗洲中学校(韓国 全羅南道)	2016年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。交流を開始した年に、姉妹校締結協議書を締結した。	11月13日(月)～16日(木) 交流日：11月14日(火) 交流人数：生徒15名、引率4名 交流内容：韓国式茶道体験、歓迎セレモニー(訪問校生徒による、伝統太鼓演奏、バンド演奏、フルート演奏など、神崎中学校によるソーラン節披露、佐賀、神崎紹介プレゼンテーション、両校による記念品交換など)、王仁博士遺跡地見学、染色体験、グループに分かれホームビジットを行った。 ホームビジットでは、韓国伝統衣装を着たり、韓国家庭料理の体験を経験した。
神崎市立千代田中学校	2016(H28)11月9日 三湖西中学校(韓国 全羅南道)	2016年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に応募し、採択された。神崎市にある王仁神社と韓国の王仁博士との関係で、神崎中学校と大韓民国の姉妹校締結を行うことになった。平成27年10月23日に神崎市から韓国事前訪問を行い、仮締結した。平成28年11月9日千代田中学校に、韓国から訪問され、本締結と交流を行った。	
佐賀大学教育学部附属中学校	2016(H28)年2月 香港聖公会林護中学校 (中国 香港)	2014年度に、「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」をに応募し、採択された。相互交流を続ける中で、2016年度、MOUを締結した。	交流日：11月16日(木) 渡航人数：生徒20名、職員3名 交流内容：歓迎レセプション、相互学校紹介・文化紹介、体験授業参加、生徒の自由交流
佐賀市立城西中学校	1989(H元)年5月22日 グレンズフォールズ中学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
佐賀市立昭栄中学校	1990(H2)年11月17日 ハードリー・ルザーレン中学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	3月24日～4月3日 グレンズフォールズ市を訪問(教師：1名、生徒5名)
佐賀市立鍋島中学校	1990(H2)年11月17日 クイーンズベリー中学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	・茶道、書道、華道の体験 ・学校生活についてのパネルディスカッション ・授業、部活動への参加 ・小学校訪問
佐賀市立成章中学校	1990(H10)年11月17日 ウォーレンズバーグ中学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	3月 生徒2人が、グレンズフォールズ市を含むウォーリン郡を訪問した。現地の学校で学びながら、中学生との交流会やホームステイを体験した。

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	H29年度の交流状況
佐賀市立城南中学校	1998(H10)年3月27日 レイクジョージ中学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
神埼市立春振中学校	1989(H元)年10月1日 山西大学附属中学校 (中国 山西省)	締結年度の前年度に、スッポン養殖研究で春振村(当時)に滞在していた3人の中国人研究者と中学校との交流がきっかけとなった。心温まる歓迎に感激された研究者が中国側の橋渡し役になり、また、本校においては、日本赤十字社佐賀県支部の協力を受けて姉妹校の締結及び相互の親善訪問が実現した。	○7月3日 山西大学附属中学校から生徒6名と職員4名が来校。春振中学校で交流会(学校紹介、合唱の交換、レクリエーション等)を開催して親睦を深めたあと、生徒宅3軒にホームビジットし夕食を共にした。 ○12月 総合的な学習の時間に、全校生徒が交流校の生徒への年賀状を作成して郵送し、交流を深めた。
武雄市立山内中学校	1993(H5)年3月 カリフォルニア州 セバストポール市 ブルックヘイブン中学校 (アメリカ)	1985(S60)年3月にセバストポール市と山内町が国際姉妹都市友好提携協定書を交わしたことをうけ、ブルックヘイブン中学校との姉妹校盟約書を交わす。山内町が武雄市と合併後の2011(H23)年4月16日に武雄市、セバストポール市との姉妹都市締結の再調印。	3月(学年末休業中) 平成29年度は、やまうちワールドフレンドで対応。ブルックヘイブン中から訪問団を受け入れている。武雄市内各中学校の関係生徒(セバストポール市を訪問した生徒)が交流に参加。本校からも3年生3名が参加。
唐津市立第一中学校	1996(H8)年11月16日 麗水中学校 (韓国 全羅南道)	1982年に唐津市と麗水市の姉妹都市締結をうけ、両市の教育発展と友好親善に寄与するため姉妹校締結。	
上峰町立上峰中学校	2004(H16)年8月27日 大神(テイシン)中学高等学校 (韓国)	1980年より県道愛好者による民間交流が始まる。2001年に上峰町長及び議員がヨジュ郡を表敬訪問。ヨジュ郡からの来町も繰り返された。2003年、日韓友好上峰町青少年ヨジュ郡訪問事業開始。2004年姉妹校締結。	5月19日(金) 生徒18名、引率2名、通訳1名 9:00～13:00交流・歓迎会 DVDによる双方の学校紹介、双方からの出し物、授業体験交流、給食交流、等で親睦を図った。生徒はホームステイによる宿泊。

(エ) 小学校

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	H29年度の交流状況
佐賀市立勸興小学校	1989(H元)年5月22日 サンフォード・ストリート小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	7月3日(月) 受入人数: 中学3年生3名、引率2名 交流内容: 5年児童と交流を行った。音楽の授業を合同で行った。また、日本文化の一端として、折り紙づくり、七夕飾りづくり、習字を行った。最後に親睦を深めるために、児童が選んだSSTを行った。
佐賀市立芙蓉小学校	1989(H元)年5月22日 ジャクソンハイツ小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	H29年度は交流実績なし。
佐賀市立金立小学校	1989(H元)年5月22日 ビッグクロス・ストリート小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	
佐賀市立久保泉小学校	1990(H2)年11月17日 レイクジョージES校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	交流日: 7月3日 交流人数: クイーンズベリー市から高校生5名と引率1名 (本校6年生児童26人が交流した) 交流内容: ①自己紹介②それぞれの国や文化、学校の紹介③折り紙や習字の紹介及び体験・交流
佐賀市立嘉瀬小学校	1990(H2)年11月17日 ハードリー・ルザーレン小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	7月3日 参加人数: グレンズフォールズ市内の女子高校生が3名、引率の教師が1名派遣 内容: 6年生教室で書道体験
佐賀市立鍋島小学校	1990(H2)年11月17日 クイーンズベリー小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	7月3日 10:30～12:00 交流人数: 4名の生徒と1名の指導者を受け入れた。 交流内容: ①校舎見学②ゲーム(外国語で自己紹介)③日本の文化を伝える。(鶴を折ってプレゼント)④うた(校歌)を歌う。
佐賀市立循誘小学校	1990(H2)年11月17日 ウォーレンズバーグ小学校 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	H29年度は交流実績なし。
伊万里市立 小中一貫校 滝野校	ダービースクール(アメリカンスクール) 長崎県佐世保市	1996(H8)年度に文部省の「英語活動」教育研究開発校指定を受けたのを機に、交流を始めた。	7月14日 交流人数: 本校児童11名・引率8名でダービー校訪問 交流内容: ①自己紹介②仲良しゲーム③佐世保独楽・パジャマゲーム④昼食⑤プレスレット作り⑥プレゼント交換
唐津市立名護屋小学校	1999(H11)年10月20日 萬徳初等学校 (韓国)	名護屋城博物館特別企画展「日韓ふれあい伝統芸能」の団員であった萬徳初等学校校長より相互訪問・ホームステイ交流の要請があり、翌年2000年より相互訪問の交流が始まった。名護屋小学校PTAの事業として交流を行っている。隔年で相互訪問を行っている。	平成29年度は、訪韓の年ではなかったため、5年生が韓国萬徳初等学校の5年生と手紙のやり取りをして友好を深めた。
鹿島市立北鹿島小学校	2010年8月4日 大西(デン)初等学校 (韓国 全羅南道高興(ゴフン)郡)	鹿島市と高興郡との協定に基づいた交流の一環として、子どもたちのホームステイなど相互交流へ発展。隔年で訪問と受入を行う。	大西初等学校を訪問する年だったが、韓国情勢を考えて、児童の訪問を取りやめた。鹿島市の交流団に校長が参加し、児童の作品等(おみやげ)を持って行った。

(オ) 幼稚園

学校名	提携先・提携日	提携の経緯	H29年度の交流状況
エミール幼稚園	1995(H7)年4月2日 ビッグクロス幼稚園 (アメリカ)	佐賀市とグレンズフォールズ市を含むウォーリン郡との姉妹都市交流の一環として。	

(カ) その他の交流状況

○ロータリークラブ・ライオンズクラブ・青年会議所・商工会議所

団 体 名	相 手 団 体 名	国 名	提携年月日
佐 賀ロータリークラブ	南釜山ロータリークラブ	韓 国	S48. 3.24
佐賀西 "	岡 山 "	台 湾	S54. 2.27
佐賀北 "	豊原西北 "	"	H 4. 6. 9
唐 津 "	麗 水 "	韓 国	S45.11. 6
	大 甲 "	台 湾	S51.11.28
唐津中央 "	麗水閑麗 "	韓 国	H11.11.11
唐津西 "	浦 頂 "	"	S49. 6.13
	麗水左水營 "	"	S52. 3.16
	唐津 "	"	S59. 4. 2
唐津東 "	員林 "	台 湾	S50. 2.20
鹿 島 "	北斗 "	"	S55. 3.13
佐賀ライオンズクラブ	晋州ライオンズクラブ	韓 国	S48.10.17
佐賀葉がくれ "	台北市第一(中央)国際獅子會	台 湾	S46. 2. 9
佐賀若楠 "	ソウル平和ライオンズクラブ	韓 国	S58. 8. ~
鳥栖養基 "	新馬山 "	"	S55. 1.19
嬉 野 "	鎮 海 "	"	S54. 3.17
佐賀青年会議所	新營青年会議所	台 湾	S60. 5.24
唐津 "	麗水 "	韓 国	S46. 5. 5
唐津商工会議所	麗水商工会議所	韓 国	S52. 5.10

○社会福祉法人めぐみ厚生センター・韓国社会福祉法人「手と手」(韓国)

・提携年月日 平成3年7月8日

(H21以降の交流はなし)

松浦文化連盟・麗水文化団体(韓国芸術文化総連号会麗水支部)

・提携年月日 昭和56年12月13日

(2) 世界の諸地域との交流

佐賀県からの海外移住は、明治20年代から始まり、当初はハワイ、アメリカ合衆国が主であったが、次第にブラジルへの移住が増加し、大正から昭和にかけてブラジルをはじめ、メキシコ、ペルー、ボリビア等、南米各地に多くの県民が渡航した。

ア 市町別移住者数

(単位：人)

移住先 市町名	アメリカ	カナダ	メキシコ	ブラジル	ペルー	アルゼンチン	パラグアイ	ボリビア	フィリピン	ニュージーランド	ウルグアイ	不明	合計
佐賀市	145	17	15	275	70	22	39	22		2			607
唐津市	15	6	8	457	4	3	4	1					498
鳥栖市	37	6	8	32	10	2	6						101
多久市	17		2	136	5	14		1					175
伊万里市	10	3		200	7	2	15	4					241
武雄市	16	6	4	116	9	8	4	11					174
鹿島市	10	4	2	145	6	26				2			195
小城市	20	2	2	49	15	8	4	11	2				113
嬉野市	11	1	1	202	1	6		2	3	4			231
神埼市	25	1	5	104	6	2		2	5	1			151
吉野ヶ里町	1		1	73	9	1							85
基山町	6		3	9	6	2							26
上峰町	27			18	6		5						56
みやき町	71	8	8	80	23	2		1	6			1	200
玄海町													0
有田町				76		1							77
大町町	1		1	110	6	34	11						163
江北町	2	1		27									30
白石町	17	4	7	191	5	7	5		1				237
太良町	1			64									65
小計	432	59	67	2,364	188	140	93	55	17	9	0	1	3,425
出身地不明	325	1	1	48	7	3	2		70		1	1	459
合計	757	60	68	2,412	195	143	95	55	87	9	1	2	3,884

農業振興課「佐賀県海外移住史」

イ 在外県人会

海外移住者及びその子孫、本県出身海外駐在員等により17ヶ所(12ヶ国)に県人会があり、各種活動を行っている。

H29.5月現在

地域	国名	団体名(日本語)	団体名(現地名称)	創立年	会員数
南米	ブラジル	ブラジル佐賀県文化協会	SOCIEDADE CULTURAL SAGAKEN BRASILEIRA	1955 (S.30)	230名
	アルゼンチン	アルゼンチン佐賀県人会	ASOCIACION SAGA EN LA ARGENTINA	1976 (S.51)	70名
	パラグアイ	パラグアイ佐賀県人会	PARAGUAY SAGA KENJINKAI	1957 (S.32)	9家族
	ペルー	ペルー佐賀県人会	Asociacion Peru Saga Kenjinkai	1980 (S.55)	95名
	ボリビア	ボリビア佐賀県人会	ASOCIACION.DE.PRIV,SAGAKEN BOLIVIA	1960 (S.35)	39名
北米	アメリカ	南加佐賀県人会	Southern California Saga Kenjin Kai	1905 (M.38)	120名
		ハワイ佐賀県人会	Hawaii Saga-Kenjinkai	1979 (S.54)	9名
		NYばってん会	NY Batten Kai	1999 (H.11)	約76名 (佐賀出身者16名)
		北加佐賀県人会	Saga Kenjin Kai of Northern California	2009 (H.21)	27名
アジア	タイ王国	泰国佐賀県人会	SAGA ASSOCIATION OF THAILAND	1990 (H.2)	30名
	中国	大連佐賀県人会	大連がばい会	2013 (H.25)	16名
		北京佐賀県人会		2015 (H.27)	6名
		上海佐賀県人会	上海佐賀県人会	2002 (H.14)	50名
	シンガポール	佐賀県人会	葉隠会	1984 (S.59)	15名
	マレーシア	佐賀県人会		2013 (H.25)	22名
	インドネシア	ジャカルタ県人会		2005 (H.17)	15名
ヨーロッパ	フランス	パリ佐賀県人会		2013 (H.25)	22名

4. 国際化推進のための環境づくり

(1) 人材育成

ア 語学指導等を行う外国青年招致事業

(JET プログラム : The Japan Exchange and Teaching Programme)

地方公共団体が総務省、文部科学省、外務省及び一般財団法人自治団体国際化協会(CLAIR)の協力の下、外国青年を招致し、中・高校等における外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を推進することを目的としている。

この事業は職種により、国際交流員(CIR)、外国語指導助手(ALT)及びスポーツ国際交流員(SEA)に分けられ、CIRは国際交流活動に従事し、地方公共団体の行政部門に配置される。ALTは語学指導に従事し、主に教育委員会、または公立中・高等学校、あるいは私立中・高等学校に配置される。

SEAはスポーツを通じた国際交流活動に従事し、主に地方公共団体に配置される。

(ア) 年度別招致状況

JET青年招致人数推移

	県				市 町 等				合 計			
	CIR	ALT	SEA	計	CIR	ALT	SEA	計	CIR	ALT	SEA	計
7年度	2	24		26	2	52		54	4	76		80
8年度	2	25		27	2	55		57	4	80		84
9年度	2	26		28	1	56		57	3	82		85
10年度	2	28		30	2	57		59	4	85		89
11年度	3	29		32	2	60		62	5	89		94
12年度	3	29		32	2	62		64	5	91		96
13年度	3	30		33	2	63		65	5	93		98
14年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
15年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
16年度	3	30		33	3	64		67	6	94		100
17年度	3	29		32	3	64		67	6	93		99
18年度	3	28		31	3	60		63	6	88		94
19年度	3	27		30	3	50		53	6	77		83
20年度	3	14		17	2	41		43	5	55		60
21年度	3	9		12	2	35		37	5	44		49
22年度	3	6		9	2	33		35	5	39		44
23年度	3	16		19	2	31		33	5	47		52
24年度	3	16		19	2	30		32	5	46		51
25年度	4	16		20	2	26		28	6	42		48
26年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
27年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
28年度	4	16		20	2	25		27	6	41		47
29年度	4	16	1	21	2	24	0	26	6	40	1	47

「市町等」欄には市町教育委員会の他、私立学校(2~18年度、各年度ALT 1名を配置)を含む。

(イ) 外国青年招致事業による招致青年の配置状況(平成 29 年度)

国際交流員 (C I R)

配 置 先		H29 人数(名)
県	佐賀県国際課	4
市 町 等	佐賀市国際交流室	1
	有田町商工観光課	1
合 計		6

外国語指導助手 (A L T)

配 置 先		H29 人数(名)	
県	佐賀県教育委員会学校教育課	16	
市 町 等	唐津市教育委員会	11	
	武雄市教育委員会	5	
	鹿島市教育委員会	2	
	吉野ヶ里町教育委員会	1	
	玄海町教育委員会	1	
	嬉野市教育委員会	1	
	有田町教育委員会	1	
	大町町教育委員会	1	
	江北町教育委員会	1	
合 計		40	

スポーツ国際交流員 (S E A)

配 置 先		H29 人数(名)
県	佐賀県教育委員会保健体育課	1
市 町 等	-	0
	合 計	1

(国際課調)

イ 外国語教育

(ア) 県立高校における留学生受入校及び受入人数(1ヶ月以上)

	学 校 名	H27	H28	H29		学 校 名	H27	H28	H29
1	鳥 栖	1		1	20	唐 津 南			
2	三 養 基				21	伊 万 里 農 林			1
3	神 埼				22	佐 賀 農 業			
4	佐 賀 東				23	鳥 栖 工 業			
5	佐 賀 西	2			24	佐 賀 工 業			
6	佐 賀 北		1		25	唐 津 工 業			
7	致 遠 館				26	有 田 工 業	1		1
8	小 城		1	2	27	塩 田 工 業			
9	唐 津 東				28	鳥 栖 商 業			
10	唐 津 西				29	佐 賀 商 業	1		
11	巖 木				30	唐 津 商 業			
12	唐 津 青 翔				31	伊 万 里 商 業			
13	伊 万 里	1			32	杵 島 商 業			
14	武 雄	2			33	鹿 島 実 業			
15	白 石			1	34	神 埼 清 明			
16	鹿 島				35	多 久		1	
17	太 良				36	嬉 野			
18	牛 津	1	1		受け入れ校数		8校	4校	5校
19	高 志 館	1			留学者数		10人	4人	6人

(県教育庁教育振興課)

(イ) 県立高校における国際交流関係学科・コースの設置状況(平成29年度)

	学 校 名	学科・コース名	ク ラ ス 数	生徒数(定員)	コースの 設置年
	該当なし				

(県教育庁教育総務課)

(ウ) 県立高校における英語以外の外国語の取組状況 (平成 29 年度)

学 校 名	科 目	開始年度
佐 賀 商 業	中国語入門 (3 年生選択 / 2 単位) ハングル入門 (3 年生選択 / 2 単位)	1992 年 2005 年
唐 津 商 業	ハングル入門 (3 年生選択 / 3 単位)	1992 年
三 養 基	中国語 (2・3 年生選択 / 2 単位)	1996 年
佐 賀 北	中国語入門 (3 年生選択 / 4 単位) ハングル入門 (3 年生選択 / 4 単位)	1996 年 2001 年
嬉 野	中国語入門 (1・2 年生選択 / 2 単位) 中国語 (2 年生選択 / 2 単位) 中国語 (3 年生選択 / 2 単位)	2001 年 2016 年 2016 年
唐 津 青 翔	韓国文化 (3 年生選択 / 4 単位) 韓国語 (1・2 年生選択 / 4 単位) 韓国語 (3 年生選択 / 2 単位)	2005 年
佐 賀 農 業	韓国語入門 (3 年生選択 / 2 単位)	2014 年

(県教育庁学校教育課)

(エ) 県立高校における海外修学旅行の実施状況 (平成 29 年度)

学 校 名	渡 航 先	内 容	人 数
佐 賀 商 業	シンガポール	ホームステイ 企業訪問 等	5 1

(県教育庁学校教育課)

(オ) 海外との交流状況(姉妹友好等提携交流を除く)

学校名	相手校	交流の経緯	H29の交流内容
佐賀県立鹿島実業高等学校	マレーシアの高校生	鹿島ライオンズクラブより申し出があり、受入	受入期間：12月6日～12月8日 受入人数：1名 交流内容：1年生のクラスに在籍し、書道や情報処理などの授業への参加、部活動への自由見学、参加等
佐賀県立高志館高等学校	湖南園芸高等学校(韓国全羅南道)	2013年度より「世界とつながる佐賀県青少年交流事業」に参加	【受入】 交流日：11月8日 受入人数：生徒15名、教職員4名 交流内容：授業実習、茶道体験、ランチ交流、校外合同施設見学
佐賀県立武雄高等学校	國立政治大學附属高級中學(台湾)	2014年度より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加	渡航期間：10月29日～11月1日 交流日：10月31日 交流人数：生徒8名、教職員2名 交流内容：授業参加、文化紹介プレゼンテーション、ランチ交流
佐賀龍谷学園龍谷高等学校	瀋陽市芸術幼児師範学校(中国 遼寧省)	2014年度より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加	
佐賀県立神埼清明高等学校	①新北市立鶯歌高級工商職業学校(台湾)	2015年度より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加	渡航期間：12月12日～12月14日 交流日：12月13日 渡航人数：生徒8名、引率2名 交流内容：歓迎セレモニー(日本クイズ、合唱)、陶芸、写真撮影、昼食交流
佐賀県立鳥栖商業高等学校	国立中壢高級商業職業学校(台湾台北市)	2016年度より「世界とつながる佐賀県青少年交流推進事業」に参加	渡航期間：平成29年11月14日(火)～16日(木) 交流日：平成29年11月15日 渡航人数：生徒10名、引率3名 交流内容：授業体験、両校による出し物の披露、ゲーム、プレゼント交換等で交流を深め、名所や旧跡などの訪問や市内散歩も行った。将来的な姉妹校提携を背景に、学校として受け入れをお願いすることになった。
佐賀県立鳥栖高等学校	プリティッシュコロンビア大学	語学研修プログラム	渡航日程：3月20日～4月2日 渡航人数：11名 交流内容：カナダ・バンクーバー市郊外でホームステイ プリティッシュコロンビア大学訪問や英語語学研修など
	フィジーの青少年	フィジー青少年交流プログラム	渡航日程：8月6日～11日(4泊6日) 渡航人数：生徒2名 交流内容：2020年東京オリンピック、パラリンピックで、フィジーのホストタウンとなる本県の交流事業の一環。ホームステイや学校訪問、環境保護プログラムに参加。
	ドイツ・ツァイツ市の青少年	鳥栖・ツァイツども交流事業	渡航日程：7月23日～8月7日 渡航人数：3名(香桶中：1名、鳥栖校：2名) 鳥栖市の姉妹交流都市であるドイツのツァイツ市と平成16年から相互派遣事業を行っており、今年は3名の生徒が希望し、派遣され交流を行った。
佐賀県立鳥栖工業高等学校	新北市立瑞芳高級工業職業学校(台湾)	未来のスペシャリスト海外研修	渡航日程：2017年10月17日～20日 渡航人数：本校生徒2名他、他校より7名、他校職員3名 3回目の訪問。授業や実習施設の見学、生徒同士の交流。記念品の贈呈等を行った。
佐賀県立牛津高等学校	チュラーロンコーン大学附属高等学校及び泰日工業大学(タイ)	未来のスペシャリスト海外派遣事業	渡航期間：11月8日～11月13日 渡航人数：4人 内容：施設見学、訪問相手校との交流、タイシルク織り体験
	総連安養中心及び台湾自閉症協会	未来の福祉スペシャリスト海外派遣事業	渡航期間：11月14日～11月17日 渡航人数：1人 内容：施設見学
佐賀県立伊万里農林高等学校	マレーシアの高校生	伊万里ライオンズクラブの「ライオンズ2017年冬期来日生の体験交流」の一環として受入	受入期間：12月6日 受入人数：1名 交流内容：食品化学科でのクッキー製造の実習、書道の授業への参加、レオクラブの生徒との昼食会
佐賀県立鹿島高等学校	アメリカの高校生	ロータリークラブより依頼	受入期間：9月1日～平成30年7月20日(11カ月) 交流内容：全学校行事
致遠館高等学校	カリフォルニア州立大学サンマルコス校	語学研修プログラム	渡航期間：3月21日(水)～4月3日(火) 交流日：3月22日～30日 渡航人数：中学生8名、高校生18名、教職員1名 交流内容：大学付属の語学学校のプログラムと専門スタッフによる英語習得及び大学での授業の受講と学生との異文化交流を行った。
致遠館高等学校	Saipan Southern High School グアム大学	SSH海外研修	渡航期間：1月7日(日)～1月10日(水) 交流日：1月8日 1月9日 渡航人数：生徒10名、教職員2名 交流内容：自然科学分野についての課題研究の成果について互いに英語でプレゼンテーションやディスカッションを行った。シェルトン研究室によるグアムにおけるサンゴ礁の保全活動についての説明を受け、佐賀県の有明海沿岸における水質環境について英語で説明した。また、現地のフィールドワークを行った。

学校名	相手校	交流の経緯	H29の交流内容
佐賀県立白石高等学校	アメリカ合衆国の高校生	YFUより受け入れ依頼	受入期間：6月23日～7月20日 受入人数：1名 交流内容：1年生のクラスに在籍し、授業に参加
弘学館高等学校	佐賀大学教育学部	日本語教室に在籍する留学生との交流	アメリカからの留学生6名を招き、高校1年生を対象に、前半は留学生による出身国紹介のプレゼンテーション。後半は教室にて座談会形式の交流会。
佐賀県高等学校教育研究会家庭部会	チュラーロンコーン大学 附属高等学校及び泰日工業大学(タイ)	未来のスペシャリスト海外研修	渡航期間：11月8日～11月13日 渡航人数：7名、校長1名、職員1名 交流内容：施設見学、訪問相手校生徒との交流、タイシルク織り体験等
佐賀県高等学校教育研究会商業部会	開南高級商工職業学校(台湾)	未来のスペシャリスト海外研修	渡航日程：12月12日～12月15日 渡航人数：13名、校長1名、職員1名 交流内容：日系企業訪問、現地駐在日本人訪問等
佐賀県高等学校教育研究会工業部会	新北市立瑞芳高級工業職業学校(台湾)	未来のスペシャリスト海外研修	渡航日程：10月17日～20日 渡航人数：生徒10名、校長1名、職員2名 交流内容：訪問相手校生徒との交流、授業・実習・施設視察、現地企業の工場見学等
佐賀県高等学校教育研究会農業部会	Corinda State High School(オーストラリア)	未来のスペシャリスト海外研修	渡航日程：10月16日～10月21日 渡航人数：10名、校長1名、職員1名 交流内容：大規模農場の視察、ファームステイ、現地農業高校との交流等
佐賀県高等学校教育研究会福祉部会	台湾自閉症協会、浩然敬老院(台湾)	未来のスペシャリスト海外研修	渡航日程：11月14日～11月17日 渡航人数：7名、校長1名、職員1名 交流内容：現地の高齢者施設や障がい者施設等の視察
佐賀県立唐津東中学校	LAB School(ラブスクール)(インドネシア)	インドネシアNPO団体からの依頼	受入日：4月19日 受入人数：生徒21名、職員4名 交流内容：書道部によるパフォーマンス披露、剣道体験、LAB School生徒による楽器演奏、グループ交流(日本文化の紹介、体験)
佐賀県立致遠館中学校	カリフォルニア州立大学サンマルコス校	語学研修プログラム	渡航期間：3月21日(水)～4月3日(火) 交流日：3月22日～30日 渡航人数：中学生8名、高校生18名、教職員1名 交流内容：大学付属の語学学校のプログラムと専門スタッフによる英語習得及び大学での授業の受講と学生との異文化交流を行った。
佐賀県立致遠館中学校	佐賀大学留学生	キャリア教育(異文化交流体験)	交流日：1月24日(水) 交流人数：2年生118名、佐賀大学留学生30名程度 交流内容：中学生が日本文化について紹介するPPを準備し、留学生に紹介した。中学生5人のグループと1～3名の留学生とが交流を行った。中学生が留学生に質問する時間も設け、異文化交流を行った。
佐賀市立小中一貫校北山校中学部	シェパトン校(オーストラリア)	H27.8から、シスコシステムズの紹介で豪州シェパトン校との交流が可能となった。800人規模の学校であるが、シェパトン校勤務の日本人の先生に、北山校との交流日程に関し、人数や内容について協力してもらい、交流を進めている。	【テレビ会議システムによる交流】H29.4～H30.3 ・学期に1度の交流を行っている。単元の最終ゴールに設定し、授業で学んだことを生かしてコミュニケーションをとり、学習内容が発揮されるような交流を目指している。 ・相手校の交流対象生徒は、シェパトン校で日本語を学ぶ7～10年生である。 ・互いの学校に関することや行事について、クイズやプレゼンテーションを行い、それぞれの国や地域の文化について理解し合えるようにしている。また、ある「トピック」について互いの意見を交わすこともある。
佐賀市立小中一貫校思斉中学部	第8回ASIAN WETLAND SYMPOSIUM 2017 佐賀大会(アジア湿地シンポジウム)	佐賀県民環境部有明海再生・自然環境課より紹介	【ポスター発表】 発表日：2017年11月8日 発表生徒：6名(職員1名) 発表内容：Best Poster Award受賞 The activities of Shisei junior high school biology club -Our hometown builds on the beautiful tidal lands, levees and canals -
佐賀市立城西中学校	楊梅紅教育国際集団 東莞長安実験中学校	県庁からの修学旅行団の受け入れによる交流	7月に2回・1月に2回 歓迎セレモニー、学校紹介、レクリエーションなどを行った。
佐賀市立川副中学校	ドイツの中学生	保護者からの受入依頼による。	受入期間：7月10日(月)～14日(金)受入人数：1名 交流内容：1年生のクラスに在籍し、授業や行事等に参加。(給食・体育大会激励式・総合における体験的な活動等に興味や関心をもって参加した。)
唐津市立海青中学校	三聖女子高等学校 武陵中学校 西帰浦女子中学校 西帰浦女子高等学校 大静高等学校 西帰大新中学校 他	西帰浦市と唐津市の学生の交流事業を目的とし、九州オルレ唐津コースを通じて交流をはかるものである。	7月25日(火) 8:30 波戸岬海水浴場で 唐津市立海青中学校の学生たち(30人)と交流 各代表者の挨拶 10:00 九州オルレ唐津コース一緒に歩き(波戸岬海水浴場～波戸岬キャンプ場/約2km) mission1グループに分けて自分の名前を漢字で書いて漢字の意味について話し合う mission2西帰浦と唐津の共通点を探す 11:30 波戸岬キャンプ場でミッションの結果発表 12:00 閉会挨拶

学校名	相手校	交流の経緯	H29の交流内容
小城市立小城中学校	中国海塩県実験中学校	H28海塩県より小城市へ訪問し、市内中学校2校を視察。今後の交流について協議する。 H29小城市より海塩県へ訪問し、中学校等を視察する。今後は生徒同士の交流も進めることとする。	・1月に海塩県実験中学校生徒より学校の様子を記載した写真や英文がメールで小城中に送付される。交流対象の1年生に紹介し関心を高めた。2月に小城中の1年生より小城中を紹介した写真や英文をメールで実験中学校に送付する。
太良町立大浦中学校	スペインの中学生1名	夏休みを利用し、6月中旬から親戚の住む太良町に滞在、大浦中学校で1ヶ月過ごす。	体験学習 1年生の学級で1ヶ月間学校生活を送る。
	ハワイの家族3名	太良町出身の母親の帰省に伴い、子供を含めた家族との交流	音楽や体育の授業に参加したり、英語の授業に参加してプレゼン等を行う。
太良町立多良中学校	Strathmore Secondary College (オーストラリア)	メルボルン日本人学校勤務経験者の仲介による交流	【E-メール交流】 交流日：6月1日～3回程度 交流内容：オーストラリアの現地校の日本語を学ぶ生徒たちと、英語、日本語の両言語をお互いに使用し、習慣や考え方など、文化の違いを体感した。
玄海町立玄海みらい学園 後期課程	県立学校に勤務するALT及び有田町在住外国人5名	県教育振興課が主催する「イングリッシュ・デー」に参加	交流日：12月7日 交流人数：8年生75名、教職員5名 計80名 / 県立学校に勤務するALT及び有田町在住外国人5名（アメリカ、カナダ、オーストラリア、オランダ出身） 交流内容：英語の歌、ゲストの自己紹介、学園生によるプレゼンテーション、小グループでクリスマスに関するアクティビティ（オーナメント作り、メーブルシロップを使ったお菓子作り、クリスマスカード作り、クリスマスビンゴ、クリスマスのパーティーフード試食など）
弘学館中学校	佐賀大学教育学部	日本語教室に在籍する留学生との交流	アジア・アフリカ・ヨーロッパからの留学生12名を招き、中学1年生を対象に、前半は留学生による出身国紹介のプレゼンテーション。後半は教室にて座談会形式の交流会。
龍谷中学校	イラワラ・スクール (オーストラリア)	オーストラリア語学研修における学校訪問(中3)	オーストラリア語学研修における学校訪問(中3) 交流日 2018.3.6 内容 学校案内 日本語クラスでのコミュニケーション活動 日本文化紹介
	ケイラ・ハイスクール (オーストラリア)	オーストラリア語学研修における学校訪問(中3)	交流日 2018.3.8 内容 自己紹介 学校案内英語によるコミュニケーション活動 日本文化紹介
	ベガ・スクール (オーストラリア)	テレビ会議システムを活用した国際交流授業(全学年)	交流日 2017.6~12 (1年4回、2年4回、3年4回) 内容 前半 日本語パート 後半 英語パートで英語によるプレゼン等の交流
学校法人佐賀学園 成瀬中学校	公益財団法人 ローターリー米山記念奨学生 (アジア諸国、中国・台湾・韓国・モンゴル・カザフスタン・ベトナム・フィリピン・バングラデシュからの留学生)	国際ロータリー第2740地区 ガバナー 米山記念奨学委員会よりの受入依頼	交流日：11月17日(金) 受入人数：奨学生13名、奨学生学友会長1名 米山記念奨学委員会の方7名 交流内容：本校1年生82名との交流会(奨学生の出身国の紹介など)
学校法人佐賀学園 成瀬中学校	英国 CLEEVE SCHOOL(公立の中高一貫校)、CHELTENHAM COLLEGE JUNIOR SCHOOL この2校の生徒が中心(この他の数校の生徒も数名参加)	2年生の語学研修旅行のなかのプログラムの1つとして毎年実施している。	交流日：2月16日(金)(語学研修旅行3日目) 参加人数：本校2年生73名、現地英国の学生(中高生)約40名 交流内容：英国人学生とのディスカッション及びスポーツ交流
佐賀市立 新栄小学校	兎嶋(トヒョン)小学校 (韓国 釜山)	2002年の本校創立30周年記念行事の一環として、新栄校区教育文化振興会が主催。佐賀市と姉妹都市の提携をしている蓮堤区から兎嶋小学校の代表児童を招待して交流が開始。翌年より、隔年でお互いの学校を訪問している。 2017年3月、15年の交流の成果が認められ、西日本国際財団のアジアKids大賞を受賞した。	2017年度は新栄小学校の交流団をトヒョン小に受け入れてもらった。 受入期間：9月16日(土)～18日(祝) 受入人数：交流団児童13名、引率8名 交流内容： 16日 - プサン港での出迎え、観劇鑑賞(国立国学院)、学校主催歓迎会、ホームステイ 17日 - 韓国の昔遊び体験(トヒョン小にて) ホームステイ、 18日 - トヒョン小にて授業体験及び引率団による授業参観、全校による歓迎式典、ソーラン節の披露、学校給食の試食、お別れ会、プサン港までのお見送り
佐賀市立兵庫小学校	ツリートップモンテッソーリスクール(オーストラリア パース)	本校グローバルキッズクラブGTの西九州大学ニコル園部先生からの依頼	交流人数：クラブ活動として4～6年生7名 交流内容：自己紹介のe-book交流、学校紹介のe-book交流、パートナー交流(日本の児童は英語でクリスマスカードを、オーストラリアの児童は日本語の年賀状を書いて交換)、スカイプを使っての会話

学校名	相手校	交流の経緯	H29の交流内容
佐賀市立小中一貫校北山校小学部	リズモア校 (オーストラリア)	H25.8から、テレビ会議システム取り扱い業者であるシスコシステムズの紹介により、豪州リズモア校との交流が始まった。全校生徒が30人ほどの小さな学校であり、小学部職員が、相手校の日本人の先生と交流日程、内容を検討し、進めている。	【テレビ会議システムによる交流】H29.4～H30.3 ・年間1、2年生は2回、3～6年生は3回の割合で交流を図った。 ・互いにペア・グループを作り、交流を深めた。内容は互いの国に関すること、学校行事に関するクイズやプレゼンテーション、ゲームなどを取り入れ、親交を深めている。クリスマスや正月には互いにカードを郵送した。
唐津市立名護屋小学校	萬徳初等学校 (韓国)	名護屋城博物館特別企画展「日韓ふれあい伝統芸能」の団員であった萬徳初等学校校長より相互訪問・ホームステイ交流の要請があり、翌年2000年より相互訪問の交流が始まった。名護屋小学校PTAの事業として交流を行っている。隔年で相互訪問を行っている。	平成29年度は、訪韓の年ではなかったため、5年生が韓国萬徳初等学校の5年生と手紙のやり取りをして友好を深めた。名護屋城博物館国際交流員の李敬賢先生にハングル文字の指導をしていただき、上手に手紙を書くことができた。今年度(H30)は、7月に韓国萬徳初等学校より来日されるので、交流会を計画している。
玄海町立玄海みらい学園 前期課程	佐賀大学留学生2名	校内研究のテーマである海洋教育の一環として、(公財)佐賀県国際交流協会の国際理解講座を活用	交流日：11月8日 交流人数：1、2年生107名、教職員8名 計115名 / 留学生2名(タイ、マレーシア出身) 交流内容：タイとマレーシア出身の講師から、出身国の紹介(国旗や位置、食べ物や動物、祭り)をしていただいた後、各国の遊びを体験し、異文化理解を深めた。
	西南学院大学 留学生20名	校内研究のテーマである海洋教育の一環として、大学を訪問している。	交流日：11月30日 交流人数：3、4年生95名、教職員10名 計105名 / 留学生20名(アメリカ、チェコ、デンマーク、フランス、マレーシア、カナダ、イタリア、韓国、台湾、中国出身) 交流内容：英語を使った自己紹介、町の紹介、合奏の出し物、小グループでのインタビュー、フリートーク、ランチ交流など
	九州産業大学 留学生10名	校内研究のテーマである海洋教育の一環として、大学を訪問している。	交流日：11月28日 交流人数：5、6年生108名、教職員11名 計119名 / 留学生10名(中国、韓国、ネパール、インドネシア、ベトナム、タイ出身) 交流内容：両校によるプレゼンテーション、海洋学習の発表(町の紹介、海の生き物、海に纏わる伝統的な祭りや伝統芸能の継承など)、ランチ交流、小グループでのインタビューやフリートークなど
	佐賀県CIR 名護屋城博物館国際交流員	青翔高校が選択授業で韓国講座を開催していることをきっかけに、小高連携として合同国際理解体験「韓国デー」を行った。	交流日：12月8日 交流人数：1年生56名、教職員4名、青翔高校3年生13名、教職員1名/名護屋城博物館国際交流員1名(韓国出身) 交流内容：青翔高校生による韓国紹介、国際交流員による韓国文化紹介(韓国の学校行事や給食、歌や手遊び)、韓国の遊び、民族衣装の試着等
鳥栖市立旭小学校	弘堂国際学園	弘堂国際学園からの受入依頼	交流日：2月13日 交流人数：弘堂国際学園生徒41名、6年生児童127名 交流内容：自己紹介、出身国の紹介、日本文化の紹介(お茶、書道、折り紙、けん玉など) 日本食試食(梅干し、納豆)
神崎市立脊振小学校	フランス ボーケール市 サントル・アー小学校	冒険飛行家アンドレ・ジャビー氏の遭難救出60周年を記念し、1996年に旧脊振村(現神崎市)とボーケール市が友好姉妹都市提携。その一環として2014年頃から交流。	交流日：11月 交流内容：サントル・アー小学校児童を中心に現地で開催された劇「アンドレ・ジャビーの旅」のDVDをボーケール市から送付 交流日：2月 交流内容：DVDのお礼として、脊振小児童による作品(自己紹介や地元紹介など)を神崎市を通じて送付
吉野ヶ里町立三田川小学校	韓国明倫初等学校	佐賀県子どもクラブ連合会からの依頼	交流日：12月1日 交流人数：教員等3名、児童5年生20名 交流内容：本校6年生児童による歓迎セレモニー 各クラスでの交流(給食・掃除・授業)全体で、両校の出し物
太良町立大浦小学校	H29年度 6月、9月、2月 アシュバートン校 (オーストラリア)	本校から現地校へ交流を打診した。	【スカイプによる交流】 外国語活動の学習事項を活用して交流した。話題は総合的な学習で学習した内容(地域自慢の特産物や特色)、学校の紹介について、お互いにクイズ形式等にして交流した。
太良町立多良小学校	小城高校(2名) 鳥栖高校(2名) 武雄高校(1名)	A F S(公益財団法人A F S日本協会)を通じて高校生留学生5名が来校した。	10月18日～19日に男性3名が来校。全校児童に紹介した後、全クラスの授業に入って、外国語活動、特別活動、体育、道徳、図画工作などの学習や読み聞かせなどの活動を行った。 2月15日～16日に女性3名が来校。交流内容は男性の場合とほぼ同じ。

5. 国際協力

(1) 国際協力の推進

ア 佐賀県海外技術研修員受入状況

年度	中国	ブラジル	アルゼンチン	ペルー	韓国	マレーシア	インドネシア	フィリピン	タイ	インドネシア	バングラデシュ	モンゴル	パラオ	計	主な研修機関
55～5	110	25	6	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	147	各種県機関、チャーム洋装店、白石地区農協、衛生専門学院、溝田工業、ビューティク二葉、唐津市農協、アルセッド建築研究所、真生幼稚園、西九州大学、日祐、石橋建築事務所、大和看護学校、テク佐賀、久米製菓、鹿島市農協、佐賀新聞、フェイユ
6	12	3	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	21	佐賀銀行、歯科医師会（佐賀医大）、JA武雄市、佐賀玉屋、県情報システム課、環境センター、窯業センター、工業センター、農試センター、上場センター、果試、畜試、県立病院
7	9	4	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	17	農試センター、畜試、果試、窯業大学、窯業センター、タカタ九州、佐医大、佐賀広告センター、石橋建築事務所、JA神埼、佐賀大低平地防災研究センター
8	9	5	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	18	農試センター、畜試、果試、窯業センター、ジムコ、教育センター、産業技術学院、広告センター、佐賀玉屋、佐賀銀行、石橋建築事務所、JA小城郡、松尾建設、増田羊羹本舗
9	9	2	0	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	16	農試センター、畜試、果試、窯業センター、産業技術学院、環境センター、けやき荘、オサダ、鳥栖基山農協、佐大低平地防災研究センター
10	8	4	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	17	諸井税理士事務所、佐賀県歯科医師会、緒方整骨院、産業技術学院、窯業センター、農試センター、畜試、果試、JA白石、ジムコ、家畜保健衛生所
11	6	4	1	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	16	佐賀医大、ガコホレーション、佐賀玉屋、鶴田整形外科、ジムコ、産業技術学院、佐賀大学、農試、果試、畜試、JA鹿島、栽培漁業センター
12	7	4	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	16	永原学園、はがくれ荘、電算センター、工技センター、農試センター、畜試、佐賀医大、環境センター、窯業センター、中部保健所、教育センター
13	9	2	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	17	佐賀大学、レミゼーション、工技センター、県立博物館、農試センター、佐城農協、ジャパノアシステム、戸上電機製作所、佐賀医大、佐大海洋台地生物生産研究センター、窯業センター、昭和自動車、佐賀保育園
14	8	3	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	1	16	佐賀広告センター、重永デザイン事務所、果試、佐賀銀行、はがくれ荘、農試センター、佐賀みどり農協、総合看護学院、佐賀医大、佐賀大学、窯業センター、ビューティク二葉
15	7	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	13	佐賀電算センター、佐賀玉屋、ホテルニューオータニ佐賀、佐賀整肢学園、佐賀環境科学検査協会、佐賀大学、農試センター、窯業センター、果試、環境センター
16	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	真生幼稚園、佐賀大学、農試センター、窯業センター、果試、環境センター
17	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	(財)環境科学検査協会、窯業センター、農試センター、林業試験場、サガシキ印刷
18	3	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	環境センター、佐賀工業センター、佐賀食肉衛生研究所、音成印刷、窯業センター、玄海水産振興センター
19	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	環境センター、農試センター、窯業センター
20	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター、佐賀電算センター
21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	農試センター
23	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	農試センター
24～29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	211	63	13	13	4	17	11	3	1	2	1	2	341		

昭和58年度までは、県単独事業。

59年度以降平成15年度までは国庫補助事業。平成16年度は、再び県単事業として実施。

平成21年度から23年度まではJICAの補助事業

(国際課調)

イ 独立行政法人国際協力機構(JICA) 研修員受入状況

年 度	人 員	国 籍	受 入 先
S60	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
S61	2	タ イ	〃
		アルゼンチン	佐賀技能開発センター
S62	1	タ イ	佐賀大学農学部
S63	2	ケ ニ ア	〃
		中央アフリカ	吉田鉄工所
H1	2	バングラデシュ	佐賀大学農学部
	1	ペ ル ー	〃
	1	ド ミ ニ カ	佐賀県農業試験場
	2	ケ ニ ア	(株)吉田鉄工所
H2	1	タ イ	伊万里技能開発センター
	1	インドネシア	佐賀大学農学部
	5	マレーシア	(有)伊万里色鍋島
H3	1	ケ ニ ア	(株)吉田鉄工所
H4	1	ケ ニ ア	〃
	1	バングラデシュ	佐賀大学農学部
H5	1	ミャンマー	佐賀大学理工学部
	1	大韓民国	佐賀医科大学耳鼻咽喉科学講座
	1	チ リ	佐賀県農業試験場
H6	1	フィリピン	佐賀県窯業技術センター
H8	1	スワジランド	(株)ワイ・ビー・エム
H9	1	バングラデシュ	佐賀県産業技術学院
H10	1	フィリピン	中部家畜保健衛生所
H11	1	フィリピン	佐賀県産業技術学院
H13	1	パ ラ オ	(財)佐賀保育園
	1	モンゴル	昭和自動車(株)
H14	1	モンゴル	(有)ビューティック二葉
H16	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
H17	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
H18	1	マレーシア	佐賀県窯業技術センター
	1	ブ ー タ ン	佐賀大学農学部
H19	1	ブ ー タ ン	〃
H20	1	ブ ー タ ン	〃
	13	インドネシア	佐賀大学理工学部
H21	14	インドネシア	佐賀大学理工学部
H26	1	ケ ニ ア	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学大学院工学系研究科
H27	1	エジプト	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	モザンビーク	佐賀大学大学院農学研究科
	1	モ ロ ッ コ	佐賀大学大学院工学系研究科

H28	1	モザンビーク	佐賀大学大学院農学研究科
	1	南スーダン	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	ナイジェリア	佐賀大学大学院工学系研究科
	1	サントメ・プリンシペ	佐賀大学大学院工学系研究科
H29	4	カメルーン	佐賀大学農学部
	1	モザンビーク	佐賀大学農学研究科
	1	エチオピア	佐賀大学農学研究科
	1	ガーナ	佐賀大学農学研究科
	1	エジプト	佐賀大学工学系研究科
	1	ルワンダ	佐賀大学工学系研究科

*H22 ～ H25の受入はなし

独立行政法人国際協力機構 九州国際センター 調

ウ 独立行政法人国際協力機構 海外技術専門家派遣状況(派遣時佐賀県在住者)(平成30年3月末現在)

国・地域	派遣人数	指 導 科 目
ア ジ ア	91	
シンガポール	1	第三国(電力供給・送配電)
インドネシア	20	昆虫、海員学校実習、経済開発、救急医療、救急看護(産科)、モデリングとシミュレーション、人間工学(コンピュータ)、コンピュータネットワーク、情報システム、マルチメディア信号処理、地理情報システム(GIS)、技術移転計画、人口知能2、コンピュータ映像、中小企業海外展開支援
タイ	22	マンゴウ蒸熱処理、医昆虫学、水管理、廃水処理技術、通信ケーブル、地域高等教育振興計画、チーフアドバイザー、石膏型成形、生産性運動の普及、CAD、石膏型、原料分析、機器分析、機関、CAD/CAM/CNC、感染症研究(媒介節足動物研究)
ベトナム	9	土壌物理学、農産物流通学、消化器内科、園芸学/バイオテクノロジー、実験室維持管理、法・司法改革2
バングラデシュ	12	園芸学、植物病理学、園芸、遺伝育種学、農学、雑草学、業務調整(母子保健サービス強化)
パキスタン	3	手術室看護、NICU看護、新生児集中治療室看護
マレーシア	5	技術移転計画、チーフアドバイザー、高速液体クロマトグラフによる特定化学物質の尿中代謝物の分析法、化学テロへの対処と課題、MJIT支援アドバイザー
サウジアラビア	3	自動制御、電気通信、電気・電子
中国	6	野菜育種、切断、実験動物技術および管理、種子検定、チームリーダー/水稻育種・栽培、チーフアドバイザー
インド	1	鉄道線路ガス圧接
カザフスタン	2	甲状腺・乳腺診断指導
フィリピン	1	総合治水
スリランカ	5	農業経営、口唇口蓋裂の総合的診断治療システム、顎顔面補綴治療システム、顎顔面補綴技工システム、口唇口蓋裂治療システムの向上
モンゴル	1	建設分野における労働安全管理能力強化プロジェクト
オセアニア	3	
ソロモン諸島	1	昆虫学
パプアニューギニア	2	業務調整/教材作成支援
中南米	28	
ホンジュラス	1	灌漑リハビリ計画レビュー
グアテマラ	3	脳神経外科、人類生態学、心臓病
パナマ	1	自動車整備
パラグアイ	8	寄生虫学、内科学、訓練管理、保健医療セクター調査、保険セクターサーベイ、ボランティア調整員、チーフアドバイザー/広域アドバイザー、農業・農村開発政策
ボリビア	3	病院管理、アースダムの設計・施工、ボランティア支援
チリ	5	直物組織培養、エアコン据付、第三国(光ファイバー伝送システム)、鉱山保安
メキシコ	5	ミニプロ(小規模米作近代化技術)、セラミック生産技術アドバイザー、マングローブ植林技術
ニカラグア	1	ボランティア支援
ブラジル	1	マングローブ生態系の回復と管理
アフリカ	14	
エジプト	1	染織物
カメルーン	1	品種純化選定技術
ケニア	3	地下水開発(堀削機運転・堀削機維持)、育種
シエラレオネ	1	企画調整員
タンザニア	1	灌漑/農民研修
マリ	2	村落開発アドバイザー(農業一般)
ウガンダ	3	業務調整/稲作普及、経済インフラ(運輸・交通、電力)、経済インフラ
ブルキナファソ	1	税関業務能力向上
マラウイ	1	船舶機関士養成
計	136	

工 青年海外協力隊等派遣状況

(平成30年3月末現在)

(シニア海外ボランティア、日系社会青年ボランティア、日系社会シニア・ボランティア、短期ボランティアを含む)

(ア) 年度別派遣者数

年度	派遣者数	男	女	派遣中	帰国
昭和44～平成19	243	150	93	0	243
20	15	7	8	0	15
21	20	12	8	0	20
22	22	9	13	0	22
23	8	5	3	0	8
24	10	6	4	0	10
25	10	6	4	0	10
26	9	4	5	0	9
27	9	5	4	0	9
28	13	6	7	10	3
29	5	4	1	5	0
計	364	214	150	15	349

(イ) 国別・地域別派遣者数

国・地域	派遣者数	派遣中	帰国
ア ジ ア	103	2	101
インドネシア	5	0	5
タイ	5	0	5
フィリピン	10	1	9
マレーシア	11	0	11
ベトナム	10	1	9
バングラデシュ	5	0	5
ネパール	8	0	8
スリランカ	10	0	10
ラオス	5	0	5
インド	1	0	1
ブータン	8	0	8
ヨルダン	3	0	3
カンボジア	5	0	5
モンゴル	7	0	7
シリア	3	0	3
パキスタン	1	0	1
ウズベキスタン	1	0	1
オセアニア	30	1	29
バブアニューギニア	7	0	7
ソロモン	5	0	5
トンガ	4	0	4
サモア	1	0	1
バヌアツ	5	0	5
ミクロネシア	1	0	1
フィジー	4	0	4
キリバス	1	0	1
パラオ	1	1	0
マーシャル諸島	1	0	1
中 南 米	98	4	94
ウルグアイ	1	0	1
ホンジュラス	10	1	9
ベネズエラ	10	1	9
ボリビア	12	0	12
コロンビア	3	0	3
パラグアイ	12	0	12
グアテマラ	8	0	8
ニカラグア	3	0	3
エルサルバドル	3	0	3
ペルー	2	0	2
エクアドル	4	0	4
パナマ	3	0	3
ジャマイカ	1	0	1
ドミニカ共和国	8	1	7
コスタリカ	1	0	1
メキシコ	4	0	4
セントルシア	2	1	1
ブラジル	10	0	10
チリ	1	0	1
ア フ リ カ	125	8	117
チュニジア	3	0	3
モロッコ	8	0	8
ケニア	18	0	18
タンザニア	13	1	12
ガナ	8	1	7
リベリア	2	0	2
ザンビア	14	2	12
セネガル	7	0	7
マラウイ	14	1	13
ニジェール	4	0	4
コートジボアール	3	0	3
ボツワナ	4	0	4
マダガスカル	1	0	1
ジンバブエ	2	0	2
エチオピア	6	1	5
ウガンダ	7	0	7
ベナン	3	1	2
カメルーン	1	0	1
モザンビーク	2	0	2
エジプト	2	1	1
ブルキナファソ	3	0	3
ヨロツバ	8	0	8
ブルガリア	5	0	5
ハンガリー	3	0	3
佐賀県計	364	15	349

(ウ) 青年海外協力隊員派遣状況(佐賀県出發者)

№	性別	派遣国	業種名	期間
1	女	マラウイ	看護師	平成28年10月 - 派遣中
2	女	ベトナム	作業療法士	平成28年10月 - 派遣中
3	女	フィリピン	看護師	平成28年11月 - 派遣中
4	男	ペルー	環境教育	平成28年10月 - 派遣中
5	女	ザンビア	PCインストラクター	平成29年1月 - 派遣中
6	女	タンザニア	看護師	平成29年1月 - 派遣中
7	女	ザンビア	コミュニティ開発	平成29年3月 - 派遣中
8	女	ホンジュラス	数学教育	平成29年6月 - 派遣中
9	男	ベナン	小学校教育	平成29年7月 - 派遣中
10	男	ガーナ	理学療法士	平成29年9月 - 派遣中
11	男	ドミニカ共和国	環境教育	平成29年10月 - 派遣中
12				-
13				-
14				-
15				-
16				-
17				-
18				-

オ シニア海外ボランティア派遣状況(佐賀県出發者)

(平成30年3月末現在)

№	性別	派遣国	業種名	期間
1	男	セントルシア	コミュニティ開発	平成28年10月 - 派遣中
2	女	パラオ	栄養士	平成28年10月 - 派遣中
3	女	エチオピア	幼児教育	平成29年1月 - 派遣中
4	男	エジプト	教育行政・学校運営	平成29年10月 - 派遣中
5				-

カ 日系社会青年ボランティア派遣状況(佐賀県出發者)

(平成30年3月末現在)

№	性別	派遣国	業種名	期間
				-

キ 日系社会シニア・ボランティア派遣状況(佐賀県出發者)

(平成30年3月末現在)

№	性別	派遣国	業種名	期間
				-

ク 短期ボランティア派遣状況(佐賀県出發者)

(平成30年3月末現在)

№	性別	派遣国	業種名	期間
				-

ケ アセアン青年・青年研修等受入状況

年度	受 入 グ ル ー プ	人数	受 入 機 関
60	マレーシア青年指導者	25	青少年育成県民会議
62	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	シンガポール勤労青年	24	青少年育成県民会議
63	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	フィリピン青年指導者	26	佐賀県連合青年団
元	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
	パプアニューギニア青年指導者	14	佐賀県連合青年団
2	アセアン青年混成チーム（公務員）	30	県国際交流室
	タイ農村青年	25	佐賀県農業青年クラブ連絡協議会
3	フィリピン社会福祉青年	20	県国際交流室
4	アセアン青年混成チーム（教員）	25	県教育委員会総務課
	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流室
5	アセアン青年混成チーム（学生）	30	佐賀県ユースホステル協会
	アセアン青年混成チーム（公務員）	6	県国際交流課
6	アセアン青年混成チーム	6	県国際交流課
	アセアン青年混成チーム（教員）	18	佐賀ユネスコ協会
8	南西アジア教育	10	佐賀ユネスコ協会
9	スリランカ教育	10	佐賀ユネスコ協会
10	アセアン青年混成チーム（行政）	24	(社)九州・山口経済連合会
	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
11	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
12	ネパール	10	佐賀ユネスコ協会
13	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
14	ブータン・モルディブ教育	10	佐賀ユネスコ協会
16	インド教員（障害児教育）	19	佐賀ユネスコ協会
17	マレーシア 教育（初等）	20	佐賀ユネスコ協会
18	中央アジア（保健医療）	25	みやき町国際交流会
20	大洋州混成 行政（地方行政）	12	みやき町国際交流会

*H21～H29の受入はなし

独立行政法人国際協力機構 九州国際センター 調

国際交流関係諸機関

1. 市町国際交流担当課（室）

市町村名	担当課（室）名	電話番号	F A X	メールアドレス
佐賀市	総務法制課 国際交流室	0952-40-7023	0952-40-2050	somu@city.saga.lg.jp
唐津市	国際交流課	0955-53-7102	0955-72-9182	kokusai@city.karatsu.lg.jp
鳥栖市	市民協働推進課	0942-85-3508	0942-83-3310	kvoidou@city.tosu.lg.jp
多久市	総務課	0952-75-2112	0952-75-2110	somu@city.taku.lg.jp
伊万里市	国際戦略室	0955-22-7046	0955-22-7213	kokusai@city.imari.lg.jp
武雄市	企画政策課	0954-23-9325	0954-23-9115	kikaku@city.takeo.lg.jp
鹿島市	企画財政課	0954-63-2101	0954-63-2129	kikaku@city.saga-kashima.lg.jp
小城市	企画政策課	0952-37-6115	0952-37-6163	shiminkyoudou@city.ogi.lg.jp
嬉野市	うれしの温泉観光課	0954-42-3310	0954-42-2960	kankou@city.ureshino.lg.jp
神埼市	企画課	0952-37-0102	0952-52-1120	soumu-02@city.kanzaki.lg.jp
吉野ヶ里町	企画課	0952-37-0332	0952-52-6189	kikaku@town.yoshinogari.lg.jp
基山町	まちづくり課	0942-92-7935	0942-92-0741	kyodosuishin-2@town.kiyama.lg.jp
上峰町	まち・ひと・しごと 創生室	0952-52-2182	0952-52-4935	sousei@town.kamimine.lg.jp
みやき町	事業部まちづくり課	0942-96-5526	0942-96-5530	k-nagata@town.miyaki.lg.jp
玄海町	財政企画課	0955-52-2112	0955-52-3041	zaiseikikaku@town.genkai.lg.jp
有田町	商工観光課	0955-46-2500	0955-46-2100	syoko@town.arita.lg.jp
大町町	企画政策課	0952-82-3112	0952-82-3117	machidukuri@town.omachi.lg.jp
江北町	政策課	0952-86-5612	0952-86-2130	bikkie@town.kouhoku.lg.jp
白石町	企画財政課	0952-84-7112	0952-84-6611	kikakuzaisei@town.shiroishi.lg.jp
太良町	企画商工課	0954-67-0312	0954-67-2425	kikaku-joho@town.tara.lg.jp

2. 佐賀県庁の機関

所在地：（本庁）〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号 電話(代表)：0952-24-2111
 （佐賀商工ビル1階）〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 電話：0952-25-7004

機関名	事業内容	電話番号	F A X
国際課 （本庁）	○国際交流に係る施策の総合調整・推進、国際協力に関すること	0952-25-7328	0952-25-7084
国際交流プラザ （佐賀商工ビル1階）	○多文化共生の推進に関すること	0952-25-7004	0952-25-7664
パスポートデスク（本庁）	○旅券に関すること	0952-25-7005	0952-25-7417

機関名	事業内容	電話番号	F A X
佐賀県香港代表事務所 (香港セントラル地区ペダース トリート1-3 セントラルビル ディング10階)	○県内企業と中国企業の取引促進、佐賀牛等 県産品の販促・販路拡大支援、香港や華南地 域からの観光客誘致支援、学校間での交流促 進支援	+ 852-3975-2846	+ 852-3975-2800
観光課（本庁）	○観光施策の総合調整及び推進、観光宣伝及 び観光客の誘致、旅行業及び通訳案内業に関 すること	観光企画担当 0952-25-7386 国内・インバウンド担当 0952-25-7098	0952-25-7304
流通・通商課 国際経済担当 (佐賀商工ビル4階)	国際経済に係る背景の企画及び調整並びに 推進、県内企業の海外展開の支援、海外との 経済交流に関する事。	0952-25-7146	0952-25-5905
経営支援課（本庁）	○商工施策の企画・調整、地場産業の振興等	0952-25-7093,7095	0952-25-7270
空港課（本庁）	○佐賀空港の管理運営、整備、利活用に関す ること	0952-25-7104	0952-25-7318
港湾課（本庁）	○港湾区域内における港湾・海岸の管理	0952-25-7163	0952-25-7315
教育庁 教育振興課 (グローバル人材育成担当)	○グローバル化に対応した教育の推進	0952-25-7411	0952-25-7409

3. その他関係機関

機関名	住所	電話番号	F A X
(公財)佐賀県国際交流協会	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 佐賀商工ビル1階	0952-25-7921	0952-26-2055
(公財)佐賀県地域産業支援セン ター さが県産品流通デザイン公社	〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号 佐賀県庁新行政棟9階	0952-20-5601	0952-20-5600
(社)佐賀県貿易協会	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 佐賀商工ビル4階佐賀県国際ビジネスサポ ートオフィス内	0952-26-1474	0952-26-1479
(社)佐賀県観光連盟	〒840-8570 佐賀市城内1丁目1番59号 佐賀県庁新行政棟6階	0952-26-6754	0952-26-7528
福岡入国管理局 佐賀出張所	〒840-0801 佐賀市駅前中央3-3-20 佐賀第2合同庁舎6階	0952-36-6262	
独立行政法人 国際協力機構 JICA九州	〒805-0062 北九州市八幡東区平野2-2-1	093-671-6311	093-671-0979
経済産業省 九州経済産業局 国際部	〒812-8546 福岡市博多区博多駅東2丁目11番 1号 福岡合同庁舎本館	(国際課) 092-482-5423～25	092-482-5321
日本貿易振興機構(JETRO) 佐賀	〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 佐賀商工ビル4階	0952-28-9220	0952-28-9230
佐賀市国際交流協会	〒840-0801 佐賀市駅前中央1丁目8-32 アイスクエアビル1F	0952-29-0322	0952-40-2050
伊万里市国際交流協会	〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355-1	0955-22-7046	0955-22-7213
陶都有田国際交流協会	〒849-4153 佐賀県西松浦郡有田町立部乙2202番地 有田町役場 商工観光課内	0955-46-2500	0955-46-2100
肥前国際交流協会	〒847-1516 佐賀県唐津市肥前町瓜ヶ坂434	0955-54-1581	